



福島県立美術館
年報
平成22年度
2010



福島県立美術館 年報

平成22年度

2010

目 次

設置の目的と立地	2
沿 革	3
2010 年度主要記事	4
展示事業	5
◦ 常設展	5
・ 常設展示	5
・ 特集展示	16
・ 移動美術館	18
◦ 企画展	20
・ 美のふるさと 秋田県立近代美術館名品展	20
・ アンドレ・ ボーシャン展	24
・ 胸さわぎの夏休み展	28
・ 古代エジプト 神秘のミイラ展	34
・ スタジオジブリ・レイアウト展	41
普及事業	43
広報・出版	51
調査研究	53
収 集	56
保 存	63
管 理	65
運営・組織	68
◦ 観覧者数一覧	68
◦ 2010 年度予算内訳	69
◦ 関係法規	70
◦ 施設／設備	75
◦ 福島県立美術館友の会活動報告	77
◦ 福島県立美術館協力会活動報告	79
◦ 委員会等、組織図	80
◦ 利用案内	82

設置の目的と立地



福島県立美術館は、すぐれた美術作品にふれることで人々の感受性が高まり、情操が養われ、憩いと喜びのなかに創造の手がかりが得られる場として、1984（昭和59）年7月に、隣接する福島県立図書館とともに設けられました。

この目的のために、収蔵作品の充実をはかり、貴重な文化財である美術品の保存につとめ、継続的な調査研究にもとづく展示・普及事業を積極的に展開するとともに、美術に関するさまざまな情報を提供します。

美術館は、福島市のシンボルであり、憩いの場として親しまれている信夫山のふもとにあります。福島駅からも近く、交通の便もよい場所にありながら、野鳥の声もきこえる静かで落ち着いた環境にあります。60,000m²もの広大な敷地には、樹木や花々、広い芝生や日本庭園があり、散策や休息の場として親しまれています。

美術館と図書館は、多面的な機能と豊富な情報にもとづく、さまざまなサービスを提供することによって、見る・聴く・語る・作る・考える空間として活用していただくことをめざしています。

沿革

1977 年	5 月	文化を考える県民会議を設置
	6-8 月	文化に関する県民意識調査を実施
1978 年	1 月	文化を考える県民会議より「県の文化振興について」を県知事に報告
	7 月	文化振興会議を設置
1979 年	2 月	文化振興会議より「文化振興策の具体策について」を県知事に報告
	3 月	文化施設等整備基金条例制定
	4 月	県教育庁文化課内に文化施設班を置く
	6 月	福島県立美術館基本構想検討委員会を設置（委員 10 人を委嘱）
	12 月	美術品等取得基金条例制定
1980 年	1 月	「福島県立美術館建設基本構想について」を同委員会より知事に報告
	2 月	美術館・図書館の建設地を福島市に決定
		版画家斎藤清氏より県に自作 227 点が寄贈される
	4 月	福島県立美術館収集評価委員会を設置（委員 7 人を委嘱）
		美術館・図書館の建設地を福島大学経済学部跡地に決定
	5 月	第 1 回収集評価委員会開催、ワイエス「松ぼっくり男爵」他の購入を決定
	12 月	美術館基本設計を委託（大高建築設計事務所）
1981 年	7 月	美術館実施設計を委託（大高建築設計事務所）
1982 年	7 月	美術館設計工事着工
1984 年	3 月	美術館本体工事完了 福島県立美術館条例を議決
	4 月	福島県立美術館設置
	6 月	福島県立美術博物館所管の県有美術品 365 点を移管
	7 月	開館（22 日） 初代館長に原田實が就任（-1989 年 3 月）
		開館記念展第 1 部「戦後の名作に見る人間像」展開催 『所蔵品図録抄』を発行
	10 月	第 1 回運営協議会開催
1986 年	3 月	『研究紀要第 1 号』発行
1989 年	4 月	第二代館長に佐藤昌志が就任（-1990 年 3 月）
1990 年	3 月	『収蔵作品図録 1984-1989』発行
	4 月	館長事務代行を教育長兼務とする（-1992 年 3 月）
1992 年	4 月	第三代館長に長谷部満彦が就任（-2000 年 3 月）
1994 年	7 月	開館 10 周年記念展「ルネサンスの絵画」「日本画の風景」開催
1995 年	6 月	入館者通算 100 万人を記録する
1998 年	4 月	「ピカソ回顧展」開催、67,125 人の観覧者を記録する
1999 年	3 月	屋根改修工事着工
	8 月	屋根改修工事のため 23 日以降常設展を休止（-2000 年 7 月 19 日）
	9 月	通算 100 本目の企画展「生誕 100 年関根正二展」を開催
	10 月	18 日以降臨時休館となる（-2000 年 7 月 19 日）空調機械改修工事（第一期）着工
		「移動美術館」開始（第 1 回は喜多方市美術館）
2000 年	3 月	『福島県立美術館所蔵作品選 ポケット・ミュージアム』発行
	4 月	第四代館長に酒井哲朗が就任
	7 月	空調機械工事（第一期）竣工、再開館（20 日）
2001 年	11 月	19 日以降臨時休館となる（-2002 年 4 月 26 日）空調機械工事（第二期）等着工
2002 年	3 月	空調機械工事（第二期）、展示室改修工事竣工（県立図書館空調工事も竣工）
	4 月	再開館（27 日） レストラン「カフェ・ドゥ・ミュゼ ムスターシュ」開店（-2008 年 3 月 23 日）
	10 月	「美術館友の会（仮称）設立に向けて県民の意見を聴く会」を設置
2003 年	4 月	高校生以下の常設展観覧料金を無料化
		「福島県立美術館友の会設立発起人会」を開催、友の会発足
2004 年	6 月	「特定非営利活動法人 福島県立美術館協力会」発足
	7 月	「アート オブ スター・ウォーズ展」開催、77,601 人の観覧者を記録する
	10 月	開館 20 周年記念展「田園の夢」開催
2005 年	3 月	『収蔵作品図録 1990-2005』発行
2006 年	5 月	入館者通算 200 万人を記録する
	8 月	初の県立美術館・図書館連携事業として「アートな おはなしかい」を開催
2008 年	10 月	レストラン「ミュゼ・ドゥ・カナール」新装開店
2009 年	7 月	開館 25 周年記念展「福島県立美術館のすべて」「文化の力」「アルバム」展開催
2011 年	3 月	12 日以降東日本大震災の被害により臨時休館となる（-4 月 25 日）

2010 年度主要記事 (2010.4 - 2011.3)

2010 (平成 22) 年

- | | |
|-----------|---|
| 4 月 1 日 | 臨時休館 (- 16 日) |
| 4 月 16 日 | 【常設展】「25 年目の贈りもの」展 開会式 |
| 4 月 17 日 | 【常設展】「25 年目の贈りもの」展 開幕 (- 7 月 4 日) |
| | 【企画展】「美のふるさと 秋田県立近代美術館名品展」展 開幕 (- 5 月 16 日) |
| 5 月 5 日 | 常設展無料観覧日 (こどもの日) |
| 5 月 26 日 | 【協力会】理事会、総会 |
| 5 月 27 日 | 全国美術館会議総会出席 (大阪市、- 28 日) |
| 5 月 28 日 | 【企画展】「アンドレ・ボーシャン展」オープニング・コンサート |
| 5 月 29 日 | 【企画展】「アンドレ・ボーシャン展」開幕 (- 7 月 4 日) |
| 5 月 30 日 | 【友の会】通常総会 |
| 6 月 26 日 | 秋田県立近代美術館にて「洋画のキラキラ 福島県立美術館名品展」開幕 (- 8 月 1 日) |
| 7 月 5 日 | 全館展示替による臨時休館 (- 9 日) |
| 7 月 10 日 | 【常設展】「コレクション展Ⅰ」開幕 (- 10 月 3 日) |
| 7 月 17 日 | 【企画展】「胸さわぎの夏休み」展 開幕 (- 8 月 28 日) |
| 7 月 27 日 | 博物館実習 (- 8 月 1 日) |
| 7 月 31 日 | 美術館・図書館連携事業「アートな おはなしかい」開催 |
| 8 月 6 日 | 「胸さわぎの夏休み」展開連事業として「ラッキードラゴン・デー」開催 |
| 8 月 21 日 | 常設展無料観覧日 (県民の日) |
| 9 月 2 日 | 美術館・図書館合同消防訓練 |
| 9 月 17 日 | 【企画展】「古代エジプト 神秘のミイラ展」開会式 |
| 9 月 18 日 | 【企画展】「古代エジプト 神秘のミイラ展」開幕 (- 12 月 5 日) |
| 9 月 20 日 | 常設展無料観覧日 (敬老の日) |
| 10 月 5 日 | 【常設展】「コレクション展Ⅱ」開幕 (- 12 月 26 日) |
| 11 月 3 日 | 常設展無料観覧日 (文化の日) |
| | 【移動美術館】「日本と世界の名作展」天栄村で開幕 (- 28 日) |
| 11 月 20 日 | 「県立美術館・図書館にアクアマリンがやってくる！」開幕 (- 12 月 5 日) |
| 11 月 23 日 | 【友の会】第 2 回アート・チャリティー・バザー開催 (於：福島大学如春荘) |
| 12 月 27 日 | 臨時休館及び年末年始休館 (- 1 月 4 日) |

2011 (平成 23) 年

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 1 月 5 日 | 【常設展】「コレクション展Ⅲ」開幕 (- 3 月 11 日) |
| 1 月 10 日 | 「美術館への年賀状展」開幕 (- 1 月 31 日) |
| 1 月 15 日 | 【特集展示】「追悼・伊砂利彦回顧展」開幕 (- 2 月 13 日) |
| 2 月 1 日 | 平成 22 年度収集評価委員会 |
| 2 月 16 日 | 平成 22 年度運営協議会 |
| 2 月 25 日 | 【企画展】「スタジオジブリ・レイアウト展」開会式 |
| 2 月 26 日 | 【企画展】「スタジオジブリ・レイアウト展」開幕 |
| 3 月 11 日 | 14 時 46 分、東日本大震災発生 |
| 3 月 12 日 | 震災被害による臨時休館 (- 4 月 25 日) |
| 3 月 31 日 | 菅野知行総務課長、佐藤香里学芸員退職 |

常設展

□常設展示

当館所蔵の美術作品を常時公開するもので、通常は年4回（版画は8回）の展示替を行っている。2010年度は新収蔵品公開の特集展示を含め、以下の4期による開催となった。

4月17日～7月4日までの第1期展示は「25年目の贈りもの～コロー、ルノワールから郷土の美術家まで～」と題して、2009年度の新収蔵作品115点全てを一挙公開する特集展示として常設展示室全室を用いて開催、大きな反響があった。また第4期展示となる「コレクション展Ⅲ」は、当初2011年5月22日までの会期を予定していたが、東日本大震災の被害による臨時休館にともない、会期中で終了となった。

展 示	会 期	内 容
25年目の贈りもの	2010年4月17日～7月4日 (*5月16日より一部作品を展示替)	＜2009年度新収蔵作品を一挙公開＞ 海外作品：コロー、ルノワール、ルオーほか 日本画：室井東志生、齋藤隆 彫刻：橋本堅太郎、北郷悟、川島清ほか 洋画：西村榮悟、佐藤幸代、高橋幸彦ほか 版画：長谷川雄一、山中現、安部直人ほか 工芸／写真：宗像利浩、瀬戸正人
コレクション展Ⅰ	2010年7月10日～10月3日 (*8月27日より一部作品を展示替)	速水御舟「女二題」、安田靉彦「茶室」ほか 戦後の具象絵画：須田国太郎、吉井忠ほか ルノワール「帽子を被る女」、コロー「ヴィル・ダヴレー」 近代の銅版画：長谷川潔、駒井哲郎
コレクション展Ⅱ	2010年10月5日～12月26日 (*11月18日より一部作品を展示替)	酒井三良と近代の日本画 関根正二と近代の洋画 フランス印象派の絵画：コロー、ピサロほか 木口木版画の表現：日和崎尊夫、柄澤齊
コレクション展Ⅲ	2011年1月5日～3月11日 (*2月10日より一部作品を展示替)	現代日本の陶芸：加守田章二、清水卯一、鈴木治 郷土の彫刻家：佐藤朝山、赤堀信平 20世紀アメリカの絵画 近代の創作版画：恩地孝四郎、平塚運一ほか

□ギャラリートーク

常設展示の解説プログラムとしてギャラリートークを開催した。

2010年度は4月17日～7月4日開催の「25年目の贈りもの」会期中、当館学芸員の解説により計3回を実施した。

開催日	担当	参加人数
4月18日	伊藤 匡	25名
5月16日	伊藤 匡	12名
6月20日	増渕鏡子	8名
計3回		45名



4/18



5/16



6/20

□出品リスト

「25 年目の贈りもの ～コロー、ルノワールから郷土の美術家まで～」展 2010 年 4 月 17 日～7 月 4 日

*印は 2009 年度新収蔵作品

展示室 A

作家名	作品名	制作年	材質・技法	備考
【海外作品】				
*カミーユ・コロー	ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロー家へ向かう池沿いの道	1873	カンヴァス・油彩	
*ピエール＝オギュスト・ルノワール	帽子を被る女	不詳	カンヴァス・油彩	
*ジョルジュ・ルオー	超人	1916	紙・油彩	
ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ	1922-27	紙・銅版混合技法	
	(1) 神よ、我を憐れみたまえ、御身の大きい慈悲によりて			
	(3) 我らは苦役囚ではないのか			
	(7) 我ら自らを王と思ひ			
	(37) 人は人にとって狼			
	(40) 顔つき合わせ			
	(49) 心意気高ければ、首筋強張らず			
*ベン・シャーン	詩篇 133	1963	紙・リトグラフ	
ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…	1968	紙・リトグラフ	
	(5) 多くの事物を			
	(13) 心を悲しませてしまった両親を			
	(19) 愛に満ちた多くの夜の回想			
ベン・シャーン	創造のアルファベット	1963	紙・グアッシュ	展示期間：4/17-6/2
*国吉 康雄	綱渡りの女	1938	紙・リトグラフ	
*国吉 康雄	仮面	1948	紙・リトグラフ	
国吉 康雄	婦人と子供	1920	カンヴァス・油彩	展示期間：4/17-6/2
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 6 デュフォー	1848	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 8 ビエール・ルルー	1848	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 12 バスティード	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 15 オディロン・パロ	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 23 セナール	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 24 プレイ（ド・ラ・ムルト）	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 25 フェルディナン・フロコン	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 28 アルタロッシュ	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 33 シャンガルニエ	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 38 デュケー	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 41 ダンジョワ	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 立法議会 3 ルブルドン	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 立法議会 6 グランダン	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 立法議会 7 モンタランベール	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 立法議会 11 プーバン	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 立法議会 14 ララビット	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 立法議会 17 ド・サン＝プリエス	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 立法議会 19 ルシアン・ミュラ	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	当世代議士鑑 立法議会 24 コルヌ	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	平和会議みやげ話 1	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	平和会議みやげ話 3	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	できごと 81	1850	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	議会百面相 12	1849	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	議会百面相 28	1850	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	議員たちのいる風景 3	1843	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	日々の出来事（アクチュアリテ）	1851	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	日々の出来事（アクチュアリテ）	1851	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	日々の出来事（アクチュアリテ）	1851	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	日々の出来事（アクチュアリテ）	1858	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	日々の出来事（アクチュアリテ）	1859	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	古典悲劇の表情 1	1841	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	古代史 14 オデュッセウスとペネロペイア	1842	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	古代史 18 時代の名言	1842	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	古代史 40 カリュプソの嘆き	1842	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	悲劇 3	1848	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	人生のうろわしき日々 12 公演初日	1844	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	教師と悪童	1845	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	そんじょそこらで、てんやわんや 9	1841	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	解釈の問題	1843	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドームエ	解釈の問題 5	1843	紙・リトグラフ	

*オノレ・ドーミエ	中国を旅すれば 1 上陸	1843	紙・リトグラフ	
*オノレ・ドーミエ	中国を旅すれば 12 中国の競馬	1844	紙・リトグラフ	

展示室 B

【郷土の美術：絵画／立体／工芸】

*佐藤朝山（玄々）	冬眠	1928	木	横井美恵子コレクション
*佐藤朝山（玄々）	鹿	1931	木	横井美恵子コレクション
*齋藤 隆	貌 I	2003	紙本墨画	
*齋藤 隆	貌 II	2003	紙本墨画	
*齋藤 隆	貌 III	2003	紙本墨画	
*齋藤 隆	貌 IV	2003	紙本墨画	
*齋藤 隆	貌 V	2003	紙本墨画	
*齋藤 隆	貌 VI	2005	紙本墨画	
*齋藤 隆	貌 VII	2005	紙本墨画	
*佐藤 幸代	東方から	2007	紙・顔料、墨、アクリル	
*宗像 利浩	瑠璃天目茶碗	2008	陶器	
*宗像 利浩	禾目利鉢	2009	陶器	
*室井東志生	儼	1984	紙本着色	
*橋本堅太郎	慈光	2006	木（カツラ）	
*西村 榮悟	仮面	2004	カンヴァス・油彩	
*小林 浩	星辰軌道	2010	カンヴァス・アクリル	
*高橋 幸彦	一如	2004	板、紙、有色石膏地・油彩	
*宇田 義久	FLAG	2002	パネル、木綿布・アクリル（2点組）	
高橋 克之	門の木 1	2009	混合技法	寄託作品
高橋 克之	門の木 2	2009	混合技法	寄託作品
*高橋 克之	門の木 3	2009	混合技法	
高橋 克之	門の木 4	2009	混合技法	寄託作品
*高橋 克之	門の木 5	2009	混合技法	
高橋 克之	門の木 6	2009	混合技法	寄託作品
加藤 学	無題	1996	麻カンヴァス・アクリル	寄託作品
*加藤 学	無題	1997-98	麻カンヴァス・アクリル	
*加藤 学	トノガヤト 02	1997-98	麻カンヴァス・アクリル	
*石田 智子	松老雲閑	2009	和紙、ステンレス	
*安藤 栄作	約束のつばさ	1996	木（ベイスギ）	

展示室 C

【郷土の美術：版画／立体】

*長谷川雄一	凍河	1990	紙・木版	
*長谷川雄一	OCEAN	1990	紙・木版	
*長谷川雄一	大地への接近（7）	1991	紙・木版	
*長谷川雄一	大地 949	1994	紙・木版	
*長谷川雄一	新雪（2）	1994	紙・木版	
*長谷川雄一	瑞天	1997	紙・木版	
*長谷川雄一	風速記 '06	2006	紙・木版	
*山中 現	第一夜	1984	紙・木版	
*山中 現	第二夜	1984	紙・木版	
*山中 現	第三夜	1984	紙・木版	
*山中 現	第四夜	1984	紙・木版	
*山中 現	第五夜	1984	紙・木版	
*山中 現	第六夜	1985	紙・木版	
*山中 現	第七夜	1985	紙・木版	
*山中 現	第八夜	1985	紙・木版	
*山中 現	第九夜	1985	紙・木版	
*山中 現	第十夜	1985	紙・木版	
*山中 現	第十一夜	1985	紙・木版	
*山中 現	銅版画集「睡郷」	1998	紙・ドライポイント	8点組のうち4点（6/3展示替）
*山中 現	木版画集「時の器」	2007	紙・木版	11点組のうち6点（6/3展示替）
*山中 現	詩画集「星火」	1986	紙・木版	
*山中 現	詩画集「水の庭」	2003	紙・木版	
*北郷 悟	空から — rain	2008	テラコッタ、木	
北郷 悟	空から — 風	2008	テラコッタ、木	寄託作品

展示室 D

【郷土の美術：版画／写真】

*安部 直人	まなざし	1990	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	還元	1990	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	卵型二熊Ⅲ	1990	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	黎明	1990	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	崩壊の過程	1994	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	放散する球態	1994	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	孤球 [TAMA]	1995	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	転生	1995	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	Anonymous I	1995	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	内なる領土より〔隆起Ⅰ〕	1998	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	内なる領土より〔隆起Ⅱ〕	1998	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*安部 直人	水の鏡・銅の鑑Ⅲ	2005	紙・ディープエッチング、メゾチント	
*丸山 浩司	shape of the heart 07-a	2007	紙・木版、油性絵具	
*丸山 浩司	shape of the heart 08	2008	紙・木版、油性絵具	
*丸山 浩司	shape of the heart 08-b	2008	紙・木版、油性絵具	
丸山 浩司	field of the dark 09-c	2009	紙・モノプリント	寄託作品
*瀬戸 正人	《バンコク、ハノイ》1982-1987	1982-87	ゼラチン・シルバー・プリント	
	(1) バンコク中央駅の裏通り。早朝。			展示期間：4/17-6/2
	(2) 王宮広場。祭の後。			展示期間：4/17-6/2
	(3) チャオプラヤー川の渡し船。朝夕は通勤の人々で混み合う。			展示期間：4/17-6/2
	(6) ラマ1世通りとパヤタイ通りの交差点付近。			展示期間：4/17-6/2
	(8) トンブリ地区（チャオプラヤー川の西側）のウォンウェンヤイ駅のバス停。			展示期間：4/17-6/2
	(16) 船着き場の大道芸人。トンブリ地区。			展示期間：4/17-6/2
	(18) 中華街ヤワラートの近く。			展示期間：4/17-6/2
	(20) 若者が集まるサヤム・スクウェア。流行の先端をゆく街である。			展示期間：4/17-6/2
	(27) チェンマイのプレイボーイ・クラブの女。			展示期間：4/17-6/2
	(31) 夕方のラッシュ時。パトナム市場近くの踏み切り。			展示期間：4/17-6/2
	(32) 浮草をとる少女。ハノイ市のはずれにある西湖のほとり。			展示期間：6/3-7/4
	(35) ナムディンのファンティさん。祖父の親友で、このとき91歳。			展示期間：6/3-7/4
	(38) 従姉妹のラーンとその夫。ハノイ。			展示期間：6/3-7/4
	(41) 叔母のミエンさんとその夫のキエムさん。自宅の居間。額の中が祖父。			展示期間：6/3-7/4
	(43) ファンティ家の一族と母。			展示期間：6/3-7/4
	(45) キエム、ティエン、カイン、ジャン、ルーイの5人兄弟。			展示期間：6/3-7/4
	(51) トアンの子供たち。			展示期間：6/3-7/4
	(52) キエム家の向かいの家の娘。井戸まで水をくみに行くのが日課。			展示期間：6/3-7/4
	(54) ハノイのホアンキエン地区。ドンスアン市場に通じるメインストリート。			展示期間：6/3-7/4
	(55) 裏の林でつかまえたフクロウ。			展示期間：6/3-7/4

ホール、屋外展示

*川島 清	Observation 42 ― 地下の落下物	1990-2000	鉄、鉛、木、鑑	
マリノ・マリーニ	騎手	1956-57	ブロンズ	
ヘンリー・ムーア	母と子：腕	1980	ブロンズ	
マリソール	ママと私	1968	ステンレス、ブロンズ	寄託作品
佐藤 忠良	若い女・シャツ	1982	ブロンズ	
エミリオ・グレコ	スケートをする女	1951	ブロンズ	
林 範親	路地裏	1994	ナラ、ヒバ、古材・アクリル	
フェルナン・レジェ	歩く花	1952-53 原型制作	ブロンズ・エナメル塗装	寄託作品
井上 武吉	my sky hole 89-2	1989	ステンレス・鏡面磨き	



「25年目の贈りもの展」開会式（4/16）



「25年目の贈りもの展」内覧会（4/16）

コレクション展 I 2010年7月10日～10月3日

展示室 A

作家名	作品名	制作年	材質・技法	備考
【近代の日本画】				
小杉 放庵	水荘訪客	大正末期	絹本着色	
小茂田青樹	農婦	1914頃	絹本着色	
山口 華楊	畑	1925	絹本着色 屏風二曲一隻	
須田善二（珙中）	溪の葉月	1936	絹本着色 屏風四曲一隻	寄託作品
池田 遙邨	大漁	1932	絹に紙・着色 屏風二曲一隻	
勝田 蕉琴	煙る小雨	1922	絹本着色	
中島 清之	胡瓜	1923	絹本着色	
速水 御舟	女二題 其一	1931	絹本着色	
速水 御舟	女二題 其二	1931	絹本着色	
安田 靱彦	茶室	1962	紙本着色	
猪巻 清明	はさみ将棋	1934	紙本着色	
酒井 三良	沖縄風俗	1955	紙本墨画淡彩	
酒井 三良	松籟	1964	紙本墨画淡彩	
室井東志生	儼	1984	紙本着色	
松本 栄	志摩	1968	紙本着色	
大山 忠作	爽涼	1980	紙本着色	
佐藤 閑夫	少年と馬	1980	紙本着色	
星 茂	三神像	1986	紙本着色	
福王寺法林	ヒマラヤの花	1983	紙本着色	

【彫刻】

橋本堅太郎	慈光	2006	木（カツラ）	
-------	----	------	--------	--

展示室 B

【関根正二と近代洋画】

山本 鼎・青木 繁	鏽斧	1905	紙・木口木版	
岸田 劉生	天地創造 欲望	1914	紙・銅版	
岸田 劉生	天地創造 怒れるアダム	1914	紙・銅版	
岸田 劉生	天地創造 石を囓む人	1914	紙・銅版	
岸田 劉生	地	1915	紙・水彩、インク、鉛筆	
木村 荘八	自画像	1915	紙・インク、墨	
木村 荘八	於東京帝大構内	1927	カンヴァス・油彩	
恩地孝四郎	静物（レモン）	1920	カンヴァス・油彩	
宮川 教助	逍遙	1922	カンヴァス・油彩	
石井 柏亭	果樹園の午後	1928	カンヴァス・油彩	
関根 正二	菊川橋辺り	1915	カンヴァス・油彩	寄託作品
関根 正二	砂村石渡牧場	1915頃	カンヴァス・油彩	寄託作品
関根 正二	死を思う日	1918	カンヴァス・油彩	寄託作品
関根 正二	真田吉之助夫妻像	1918	カンヴァス・油彩	
関根 正二	自画像	1918	カンヴァス・油彩	
関根 正二	信仰	1918	紙・インク、着色	
関根 正二	祈り	1919	紙・鉛筆	

【戦後の具象絵画】

須田国太郎	白浜風景習作	1955	カンヴァス・油彩	
須田国太郎	棚上静物	1952	カンヴァス・油彩	
吉井 忠	とかげとふくろう	1958	カンヴァス・油彩	
吉井 忠	地の跡	1963	カンヴァス・油彩	
寺田 政明	対話	1963	カンヴァス・油彩	
中谷 泰	炭鉱町	1963	カンヴァス・油彩	
鈴木 新夫	働く人（A）	1969	カンヴァス・油彩	
鈴木 新夫	夏の家族	1979	カンヴァス・油彩	

【生誕100年・土橋醇の絵画】

土橋 醇	星空	1961	カンヴァス・油彩	
土橋 醇	夢幻	1969	カンヴァス・油彩、コラージュ	
土橋 醇	誕生	1970	カンヴァス・油彩	
土橋 醇	スペインの幻想	1973	板・油彩、コラージュ	

【立体造形】

石田 智子

松老雲閑

2009

和紙、ステンレス

展示室 C

【ヨーロッパの美術】

ジョルジュ・ルオー	流れる星のサーカス	1934-38	紙・銅版 (17 点組のうち 9 点)
ジョルジュ・ルオー	超人	1916	紙・油彩
ジャコモ・マンズー	車に乗った子供	1982	ブロンズ
ビエル＝オギュスト・ルノワール	帽子を被る女	不詳	カンヴァス・油彩
カミーユ・コロー	ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロー家へ向かう池沿いの道	1926	カンヴァス・油彩

【20 世紀のアメリカ絵画】

ジョン・スローン	ジェファーソン・マーケット、ナイト	1909	カンヴァス・油彩
レジナルド・マーシュ	回転ブランコ	1931	板・テンペラ
ベン・シャーン	トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・ウォーカー	1932-33	紙・グアッシュ
ベン・シャーン	創造のアルファベット	1963	紙・グアッシュ
アンドリュー・ワイエス	ガニング・ロックス	1966	紙・水彩
アンドリュー・ワイエス	ドイツ人の住むところ	1973	紙・水彩
アンドリュー・ワイエス	農場にて	1988	紙・水彩

展示室 D

【斎藤清の版画：古寺シリーズ】

斎藤 清	門、唐招提寺	1979	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	唐招提寺、奈良（C）	1959	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	門、法隆寺、奈良（B）	1970	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	仙洞御所、京都	1958	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	孤篷庵、大徳寺、京都	1961	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	庭、天竜寺、京都	1963	紙・コラグラフ	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	金閣寺、京都	1967	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	桂、京都	1974	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	六月、鎌倉（G）	1976	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	杜、鎌倉	1972	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	門、円覚寺	1983	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	門、鎌倉（I）	1979	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	門、英勝寺、鎌倉	1985	紙・木版	展示期間：7/10-8/26
斎藤 清	慈愛	1959	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	唐招提寺、奈良（A）	1955	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	仏陀、阿修羅、奈良（D）	1959	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	庭、天竜寺、京都（B）	1957	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	石庭、京都（C）	1965	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	庭、修学院、京都	1963	紙・コラグラフ	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	金閣寺、京都	1963	紙・コラグラフ	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	桂、京都（H）	1962	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	円覚寺、鎌倉（A）	1971	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	門、鎌倉（E）	1972	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	建長寺、鎌倉	1972	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	妙法寺、鎌倉（A）	1972	紙・木版	展示期間：8/27-10/3
斎藤 清	夕焼、鎌倉	1979	紙・木版	展示期間：8/27-10/3

【近代の銅版画】

長谷川 潔	アレキサンドル三世橋とフランス飛行船	1930	紙・メゾチント	展示期間：7/10-8/26
長谷川 潔	サン＝ポール＝ド＝ヴァンスの風景	1936	紙・ドライポイント	展示期間：7/10-8/26
長谷川 潔	コップのダリア	1935	紙・メゾチント	展示期間：8/27-10/3
長谷川 潔	玻璃球のある静物	1959	紙・メゾチント	展示期間：8/27-10/3
長谷川 潔	メキシコの種子草 静物画	1967	紙・メゾチント	展示期間：8/27-10/3
駒井 哲郎	海底の祭	1951	紙・メゾチント、ソフトグランドエッチング	展示期間：7/10-8/26
駒井 哲郎	調理場	1958	紙・アクアチント、エッチング	展示期間：7/10-8/26
駒井 哲郎	墓（マルドロオルの歌）	1956	紙・エッチング	展示期間：8/27-10/3
駒井 哲郎	調理場	1960	紙・アクアチント	展示期間：8/27-10/3
秀島由己男	わらべ唄	1972	紙・エッチング、メゾチント（6点組）	展示期間：7/10-8/26
秀島由己男	ベトナム	1974	紙・メゾチント	展示期間：8/27-10/3
秀島由己男	霊歌 A	1989	紙・エッチング、アクアチント	展示期間：8/27-10/3
秀島由己男	鳥（影の飛来）	1991	紙・フォトグラヴィール、エッチング	展示期間：8/27-10/3
秀島由己男	鳥（聖堂の鳥影）	1991	紙・エッチング	展示期間：8/27-10/3
大宮 政郎	ミリオンカラットの友人たちⅢ	1987	綿・エッチング	展示期間：8/27-10/3

大宮 政郎 ミリオンカラットの友人たちⅣ 1987 綿・エッチング 展示期間：8/27-10/3

ホール、屋外展示

マリノ・マリーニ	騎手	1956-57	ブロンズ	
マリソール	ママと私	1968	ブロンズ、ステンレス	寄託作品
林 範親	路地裏	1994	ナラ、ヒバ、古材・アクリル	
エミリオ・グレコ	スケートをする女	1951	ブロンズ	
佐藤 忠良	若い女・シャツ	1982	ブロンズ	
フェルナン・レジェ	歩く花	1952-53 原型制作	ブロンズ・エナメル塗装	寄託作品
井上 武吉	my sky hole 89-2	1989	ステンレス・鏡面磨き	

コレクション展Ⅱ 2010年10月5日～12月26日

展示室 A

作家名	作品名	制作年	材質・技法	備考
【近代の日本画】				
松岡 映丘	沼川	1917頃	絹本着色	
松岡 映丘	入江	1917頃	絹本着色	
松岡 映丘	薄野	1917頃	絹本着色	
松岡 映丘	雪路	1917頃	絹本着色	
薦谷 龍岬	山荘の夕	1919	絹本着色	屏風六曲一双 寄託作品
荻生 天泉	石山寺	不詳	紙本着色	屏風二曲一隻 寄託作品
酒井 三良	帰樵	1930	紙本着色	寄託作品
酒井 三良	雨はれ	1930	紙本着色	寄託作品
酒井 三良	そばの秋	1930	紙本着色	寄託作品
酒井 三良	雪暮	1930	紙本着色	寄託作品
酒井 三良	水牛（一）	1956	紙本着色	寄託作品
酒井 三良	水牛（二）	1956	紙本着色	寄託作品
酒井 三良	渡頭新雪	1950	紙本墨画淡彩	寄託作品
酒井 三良	雪路	1960	紙本墨画淡彩	寄託作品
【戦後の日本画】				
太平 華泉	晩山幽趣	1965	紙本着色	
須田 珙中	枯山水石組	1956	紙本着色	
太田 正弘	遠い驟雨	1970	紙本着色	
上野 泰郎	人間讃美	1977	紙本着色	
渡辺 学	遺された人	1981	紙本着色	
横山 操	建設	1960	紙本着色	
横山 操	黒い工場	1961	紙本着色	

展示室 B

【大正・昭和期の洋画】				
万 鉄五郎	庫	1918	カンヴァス・油彩	
岸田 劉生	静物（白き花瓶と台皿と林檎四個）	1918	カンヴァス・油彩	
恩地孝四郎	自画像D（白和服）	1919	カンヴァス・油彩	
木村 莊八	樹の下に遊んでいる子供	1915	カンヴァス・油彩	
須田国太郎	ダロカ古城（城外）	1922	カンヴァス・油彩	寄託作品
長谷川利行	浅草の女	1935	カンヴァス・油彩	
松本 竣介	赤い建物	1936	紙・油彩	
三岸好太郎	婦人像	1931頃	紙・グアッシュ	寄託作品
吉井 忠	赤い風景	1939	カンヴァス・油彩	
寺田 政明	樹木と街	1980	板・油彩	
【関根正二の作品】				
関根 正二	風景	1915頃	カンヴァス・油彩	寄託作品
関根 正二	菊川橋	1916	紙・インク	
関根 正二	真田吉之助夫妻像	1918	カンヴァス・油彩	
関根 正二	一本杉の風景	1918	カンヴァス・油彩	
関根 正二	姉弟	1918	カンヴァス・油彩	
関根 正二	自画像	1918	カンヴァス・油彩	
関根 正二	チューリップ	1918	紙・インク	

【津田一江の日本画】

津田 一江	鬱 2	1973	紙本着色
津田 一江	大地	1982	紙本着色
津田 一江	地 (physical)	1984	紙本着色
津田 一江	巴里帽子を被れる一江	1995	紙本着色
津田 一江	一江と白の花 (其の一)	1996	紙本着色
津田 一江	連鎖と残影の自画像	2000	紙本着色
津田 一江	朝音	2008	紙本着色

【立体造形】

石田 智子	松老雲閑	2009	和紙、ステンレス
-------	------	------	----------

展示室 C

【印象派とその周辺の画家】

カミーユ・コロー	ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロー家へ向かう池沿いの道	1873	カンヴァス・油彩
ビエル＝オーギュスト・ルノワール	帽子を被る女	不詳	カンヴァス・油彩
カミーユ・ピサロ	エラニーの菜園	1899	カンヴァス・油彩

【20 世紀アメリカの絵画とアメリカに学んだ日本人画家たち】

国吉 康雄	婦人と子供	1920	カンヴァス・油彩
国吉 康雄	綱渡りの女	1938	紙・リトグラフ
国吉 康雄	仮面	1948	紙・リトグラフ
清水 登之	十四番街の地下鉄駅	1918	カンヴァス・油彩
野田 英夫	牛乳ワゴン	1936	カンヴァス・油彩
ベン・シャーン	これがナチの残虐だ	1942	紙・オフセット
ベン・シャーン	我々は平和を望んでいる	1945	紙・リトグラフ
ベン・シャーン	スイミングプール	1945	ボード・テンペラ
ベン・シャーン	恐怖の夜の町	1951	ボード・グアッシュ、テンペラ
アンドリュー・ワイエス	ドイツ人の住むところ	1973	紙・水彩
アンドリュー・ワイエス	松ぼっくり男爵	1976	ボード・テンペラ
アンドリュー・ワイエス	冬の水車小屋	1978	紙・水彩

展示室 D

【木口木版技法の作品】

柄澤 齋	肖像画 IV アルチュール・ランボー	1982	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	肖像画 VI マルセル・ブルースト	1983	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	肖像画 VII シャルル・ボードレー	1983	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	肖像画 VIII エドガー・アラン・ポー	1983	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	肖像画 XVI マティアス・グリューネバルト	1983	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	肖像画 XXVII オディロン・ルドン	1985	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	肖像画 XXIX 亜欧堂田善	1985	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	肖像画 XXX ミケランジェロ・ブオナローティ	1985	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	肖像画 XXXV 泉鏡花	1985	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	肖像画 XXXVI ジュゼッペ・アルチンボルト	1985	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
柄澤 齋	迷宮の潭	1980-81	紙・木口木版 (10 点組)	展示期間：11/18-12/26
日和崎尊夫	KALPA X	1969	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
日和崎尊夫	KALPA 夜	1972	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
日和崎尊夫	メルヘン	1982	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
日和崎尊夫	海花	1983	紙・木口木版	展示期間：10/5-11/17
日和崎尊夫	詩画集「卵」	1970	紙・木口木版 (10 点組)	展示期間：11/18-12/26

【斎藤清の『会津の冬』】

斎藤 清	会津の冬 (56)	1982	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (59)	1982	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (61) 高田町・戦場	1986	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (64) 坂下町・宇内	1986	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (66) 喜多方・南町	1986	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (69) 坂下町・南裏通り	1987	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (73) 坂下・青木	1987	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (74) 喜多方	1987	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (84) 西平	1989	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (87) 野沢 (1)	1991	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (95) 高田町・高橋	1992	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (100) 三島町・大石田	1992	紙・木版	展示期間：10/5-11/17
斎藤 清	会津の冬 (58)	1982	紙・木版	展示期間：11/18-12/26

斎藤 清	会津の冬 (60)	1982	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (62) 三島町大石田	1986	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (63) 麻生	1986	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (65) 宮下	1986	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (68) 猪苗代湖	1987	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (70) 若松	1987	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (75) 喜多方	1987	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (83) 坂下・朝立	1989	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (86) 大石田	1990	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (96) 三島町・間方	1992	紙・木版	展示期間：11/18-12/26
斎藤 清	会津の冬 (98) 本郷町・馬越	1992	紙・木版	展示期間：11/18-12/26

ホール、屋外展示

マリノ・マリーニ	騎手	1956-57	ブロンズ	
ヘンリー・ムーア	母と子：腕	1980	ブロンズ	
マリソール	ママと私	1968	ステンレス、ブロンズ	寄託作品
林 範親	路地裏	1994	ナラ、ヒバ、古材・アクリル	
佐藤 忠良	若い女・シャツ	1982	ブロンズ	
エミリオ・グレコ	スケートをする女	1951	ブロンズ	
フェルナン・レジェ	歩く花	1952-53 原型制作	ブロンズ・エナメル塗装	寄託作品
井上 武吉	my sky hole 89-2	1989	ステンレス・鏡面磨き	

コレクション展Ⅲ 2011年1月5日～3月11日

展示室 A

作家名	作品名	制作年	材質・技法	備考
【現代日本の陶芸】				
清水 卯一	柿釉壺	1963	陶器	
清水 卯一	柿釉大鉢	1965	陶器	
清水 卯一	青瓷大鉢	1973	陶器	
清水 卯一	萌黄瓷輪花鉢	1975	陶器	
鈴木 治	数の土面	1963	陶器	
鈴木 治	泥像	1965	陶器	
鈴木 治	馬形	1982	陶器	
鈴木 治	連歌	1982	陶器	
鈴木 治	掌上泥象三十八景	1987 原型制作 / 2000 焼成	陶器 (38 点組)	
加守田章二	灰釉壺	1964	陶器	
加守田章二	炆器皿	1960年代	炆器	
加守田章二	灰釉大皿	1960年代	陶器	
加守田章二	灰釉花瓶	1960年代	陶器	
加守田章二	灰釉花瓶	1960年代	陶器	
加守田章二	灰釉茶碗	1960年代後半	陶器	
加守田章二	灰釉茶碗	1960年代後半	陶器	
加守田章二	灰釉大皿	1966頃	陶器	

【斎藤清の墨画】

斎藤 清	会津の冬 (1) 西会津・上安座	1982	紙本墨画	
斎藤 清	会津の冬 (2) 西会津・上安座	1982	紙本墨画	
斎藤 清	会津の冬 (3) 西会津・関根	1982	紙本墨画	
斎藤 清	会津の冬 (4) 西会津・下安座	1982	紙本墨画	
斎藤 清	会津の冬 (5) 西会津・牧	1982	紙本墨画	

【近代の日本画】

速水 御舟	晩冬の桜	1931	絹本着色	
勝田 蕉琴	喬松蒼鷹	1928	絹本着色	
大山 忠作	〇先生	1946	紙本着色	
福田豊四郎	春を待つ	1930	絹本着色	
山本 丘人	月夜の噴煙	1962	絹本着色	
小泉 淳作	磬梯山	1991	紙本墨画淡彩	寄託作品

展示室 B

【関根正二と近代洋画】

高橋 由一	栗子山昔時景	1881頃	カンヴァス・油彩	
安井曾太郎	ターブルの上	1912	カンヴァス・油彩	
岸田 劉生	自画像	1914	カンヴァス・油彩	
木村 莊八	樹の下に遊んでいる子供	1915	カンヴァス・油彩	
恩地孝四郎	静物（レモン）	1920	カンヴァス・油彩	
関根 正二	牛舎	1915頃	カンヴァス・油彩	
関根 正二	風景	1915頃	カンヴァス・油彩	寄託作品
関根 正二	一本杉の風景	1918	カンヴァス・油彩	
長谷川利行	浅草の女	1935	カンヴァス・油彩	
松本 竣介	駅	1942	カンヴァス・油彩	

【近代の彫刻】

佐藤朝山（玄々）	南洋人物	大正初期	木彫彩色	寄託作品（横井美恵子コレクション）
佐藤朝山（玄々）	牛	1926	木彫	寄託作品（横井美恵子コレクション）
佐藤朝山（玄々）	鳩	1931頃	木彫	寄託作品（横井美恵子コレクション）
佐藤朝山（玄々）	陶仏頭	1945	白磁	寄託作品（横井美恵子コレクション）
佐藤朝山（玄々）	山嵐	昭和20-30年代	木彫彩色	寄託作品（横井美恵子コレクション）
赤堀 信平	U子	1964	ブロンズ	
三坂耿一郎	フォルム I	1972	ブロンズ	
佐野 文夫	2 D K	1971	ブロンズ	

【野田哲也『日記』シリーズ】

野田 哲也	日記 1973年10月25日	1973	紙・木版、シルクスクリーン	
野田 哲也	日記 1974年9月1日	1974	紙・リトグラフ	
野田 哲也	日記 1975年11月12日（c）	1975	紙・木版、シルクスクリーン	
野田 哲也	日記 1976年8月19日	1976	紙・木版、シルクスクリーン	
野田 哲也	日記 1976年11月18日（c）	1976	紙・木版、シルクスクリーン	
野田 哲也	日記 1977年3月3日（b）	1977	紙・木版、シルクスクリーン	
野田 哲也	日記 1977年8月10日	1977	紙・木版、シルクスクリーン	
野田 哲也	日記 1980年6月25日	1980	紙・木版、シルクスクリーン	
野田 哲也	日記 1987年5月30日、柏市亀甲台 2-12-4	1987	紙・木版、シルクスクリーン	
野田 哲也	日記 1992年2月17日	1992	紙・木版、シルクスクリーン	
野田 哲也	日記 1994年3月10日	1994	紙・木版、シルクスクリーン	

展示室 C

【ヨーロッパの美術】

カミーユ・ピサロ	エラニーの菜園	1899	カンヴァス・油彩	
ビュル＝オーギュスト・ルノワール	帽子を被る女	不詳	カンヴァス・油彩	
ヘンリー・ムーア	母と子：腕	1980	ブロンズ	

【20世紀のアメリカ絵画】

トマス・ハート・ベントン	日曜日の朝	1939	紙・リトグラフ	
トマス・ハート・ベントン	サワウッド・マウンテンで彼女ができたよ	1938	紙・リトグラフ	
ジョン・スローン	ジェファーソン・マーケット、ナイト	1938	カンヴァス・油彩	
ジョン・スローン	サンタフェからの二人の女	1921	カンヴァス・油彩	
ジョン・スローン	五番街の批評家たち	1940	カンヴァス・油彩	
ベン・シャーン	トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・ウォーカー	1932-33	紙・グアッシュ	
ベン・シャーン	W.P.A. サンデー	1939	紙・グアッシュ	
ベン・シャーン	農民にたずねよ	1941	ボード・グアッシュ	
ベン・シャーン	労働者より農民へ…感謝をこめて	1944	紙・オフセット	
ベン・シャーン	警告！…インフレーションは不況を意味する	1946	紙・オフセット	
ベン・シャーン	反動の魔手を打ち砕け	1946	紙・オフセット	
アンドリュー・ワイエス	ガニング・ロックス	1966	紙・水彩	
アンドリュー・ワイエス	そよ風	1978	紙・水彩	
アンドリュー・ワイエス	農場にて	1988	紙・水彩	

展示室 D

【創作版画の歩み】

谷中 安規	少年時代	1933	紙・木版、手彩色	展示期間：1/5-2/9
谷中 安規	泥と雪	1933	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
恩地孝四郎	人体考察（衣をつけたる）	1929	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
恩地孝四郎	人体考察（頸）	1929	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
恩地孝四郎	人体考察（肩）	1929	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
恩地孝四郎	人体考察（胸）	1929	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
恩地孝四郎	人体考察（顔）	1929	紙・木版	展示期間：1/5-2/9

藤森 静雄	飯塚風景	1928	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
藤森 静雄	裸婦	1929	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
平川 清蔵	失題	1924	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
平川 清蔵	或る彫刻家のアトリエ	1926	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
平川 清蔵	をんな	1923	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
平塚 運一	きつつき	1929	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
平塚 運一	のげし	1933	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
寺崎 武男	カ・ドーロ	1923	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
逸見 享	街角	1930	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
諏訪 兼紀	鉄橋のある風景	1929	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
奥田輝一郎	ダリヤ	1930	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
平川 清蔵	山（風景）	1925	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
平川 清蔵	六甲付近	1927	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
深沢 索一	蕪	1929	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
深沢 索一	灘スケッチ	1924	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
平塚 運一	机上小禽	1933	紙・木口木版	展示期間：2/10-3/11
平塚 運一	赤蕪	1923	紙・木口木版	展示期間：2/10-3/11
平塚 運一	牡丹	1933	紙・木口木版	展示期間：2/10-3/11
平塚 運一	木崎湖	1933	紙・木口木版	展示期間：2/10-3/11
前川 千帆	野外小品	1933	紙・木版（計 10 点）	展示期間：2/10-3/11

【斎藤清の版画：霊峰～会津の冬】

斎藤 清	霊峰 (2)	1980	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	霊峰 (3), 牧場 (A)	1980	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	霊峰 (4), 牧場 (B)	1980	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	霊峰 (5)	1980	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	霊峰 (12), 秋 (C)	1980	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	霊峰 (13)	1980	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	会津の冬 (4)	1970	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	会津の冬 (5)	1970	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	会津の冬 (6)	1970	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	会津の冬 (7)	1970	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	会津の冬 (8)	1970	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	会津の冬 (9)	1970	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	会津の冬 (10)	1970	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	会津の冬 (11)	1970	紙・木版	展示期間：1/5-2/9
斎藤 清	霊峰 (7)	1980	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	霊峰 (8)	1980	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	霊峰 (11)	1980	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	霊峰 (14), 唐松	1980	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	霊峰 (16), 牧場 (C)	1980	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	霊峰 (19), 野の仏	1980	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	会津の冬 (22)	1976	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	会津の冬 (23)	1976	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	会津の冬 (24)	1976	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	会津の冬 (25)	1976	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	会津の冬 (27)	1977	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	会津の冬 (28)	1977	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	会津の冬 (29)	1977	紙・木版	展示期間：2/10-3/11
斎藤 清	会津の冬 (30)	1978	紙・木版	展示期間：2/10-3/11

ホール、屋外展示

マリノ・マリーニ	騎手	1956-57	ブロンズ	
マリソール	ママと私	1968	ブロンズ、ステンレス	寄託作品
エミリオ・グレコ	スケートをする女	1951	ブロンズ	
佐藤 忠良	若い女・シャツ	1982	ブロンズ	
林 範親	路地裏	1994	ナラ、ヒバ、古材・アクリル	
井上 武吉	my sky hole 89-2	1989	ステンレス・鏡面磨き	
フェルナン・レジェ	歩く花	1952-53 原型制作	ブロンズ・エナメル塗装	寄託作品

特集展示

追悼・伊砂利彦回顧展

【概要】

2010年3月に亡くなった伊砂利彦の一周忌にあたり、当館が所蔵する45点によって、伊砂利彦の芸術と生涯を回顧した。

1924（大正13）年、京都に生まれた伊砂利彦は、京都市立絵画専門学校で学び、家業の染色業を継いだ。その一方で、工芸作家として型絵染めの作品を、個展や新匠工芸会などの場で発表した。

伊砂は、陶芸家富本憲吉の言葉「模様から模様を創らず」に触発され、「自然を熟視し、心に感じたものを描き写し、それから模様を創る」ことを信条としていた。

この言葉どおり、伊砂は自然の中から斬新なかたちを見いだした。松の枝葉を再構築した＜松＞の連作、波紋がみせる一瞬のかたちを追求した＜水＞の連作、さらにはドビュッシーやムソルグスキーらの音楽から受けるイメージを造形化した＜音＞の連作などは、伊砂の独創的な視点と、確かな表現力の成果である。また、染織家・志村ふくみとの合作は、一家を成した作家同士による、友好的でありながら緊張感みなぎる共同制作から生まれたものである。

さらに、会期中、青柳いづみこ氏による追悼コンサート「音とかたちの出会い 青柳いづみこのドビュッシー」を開催した。音楽をテーマにした伊砂の作品を、音楽家が再び音の世界をとおして表現するという意欲的な試みであった。

所蔵品を中心としながらも、各時期の代表作によって、伊砂利彦の創作の軌跡を回顧することができる展覧会となった。

会 期：2011年1月15日(土)～2月13日(日)

会 場：企画展示室B

休館日：毎週月曜日

観覧者数：5,174名

担 当：佐治ゆかり、伊藤 匡

□印刷物

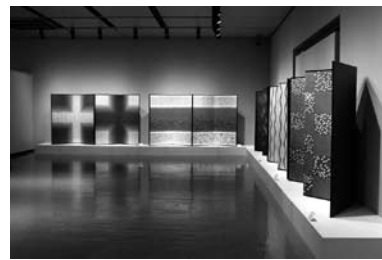
- ・チラシ（A4判）
- ・出品リスト（A4判）

□関連事業

- ・記念コンサート「音とかたちの出会い 青柳いづみこのドビュッシー」200名参加
主催：福島県立美術館、NPO法人福島県立美術館協力会、
福島県立美術館友の会
日時：2月6日(日) 14:00-
演奏：青柳いづみこ氏（ピアニスト）
会場：企画展示室内（要観覧券）



チラシ



展示風景



コンサート（2/6）



ギャラリートーク（1/15）

- ・ギャラリートーク 各回とも 14:00-
 - ① 1月15日(土) 10名参加
 - ② 1月29日(土) 10名参加 *友の会会員対象
- 講師：佐治ゆかり（当館主任学芸員）
- 会場：企画展示室内（要観覧券）

□関連記事

- ・「『音』の連作など並ぶ 型絵染作家 伊砂さんの回顧展」『福島民報』
2011年1月16日
- ・「和紙に名工の染技 福島で伊砂利彦回顧展」『福島民友』1月17日
- ・「伊砂さんの足跡 41点で振り返る 福島県立美術館 一周忌で回顧展」
『河北新報』1月24日
- ・「追悼・伊砂利彦回顧展 青柳さん美しい調べ 県立美術館でコンサート」
『福島民友』2月7日

出品リスト

No.	作品名	制作年	材質・技法	形状／寸法 (cm)	出品歴
1	松-月待ち-	1965	紙・型絵染	二曲屏風一隻／162.0×179.0	第20回新匠会
2	松-集約-	1968	紙・型絵染	二曲屏風一隻／185.0×190.0	第23回新匠会
3	ムソルグスキー作曲「展覧会の絵」のイメージより	1972	紙・型絵染	六曲屏風一双／各160.0×240.0	第27回新匠会
- 1	こびとの踊り	- 2	吟遊詩人	- 3	遊んだあとの子供のけんか（チュイルリー公園にて）
- 4	ポーランドの牛車	- 5	卵の殻をつけたひよこの踊り	- 6	富裕で傲慢なユダヤ人と貧しくて卑屈なユダヤ人の会話
- 7	リモージュの市場	- 8	カタコンブの地下の会話	- 9	魔女の奇行
-10	キエフの大門				
4	河津七滝	1973	紙・型絵染	パネル／各約150×70	第28回新匠会
- 1	河津七滝 大滝	- 2	河津七滝 出合の滝	- 3	河津七滝 初景の滝
- 4	河津七滝 蛇滝	- 5	河津七滝 エビ滝	- 6	河津七滝 釜滝
5	瀬	1978	紙・型絵染	二曲屏風一隻／168.0×183.0	第33回新匠工芸会
6	ドビュッシー作曲「前奏曲集Ⅰ」のイメージより	1986-87	紙・型絵染	各62.5×41.0	
- 1	デルフィの舞姫たち	- 2	ヴェール（帆）	- 3	野を渡る風
- 5	アナカプリの丘	- 6	雪の上のあゆみ	- 7	西風の見たもの
- 9	とだえたセレナード	-10	沈める寺	-11	バックの踊り
-12	ミントレル				
7	ドビュッシー作曲「前奏曲集Ⅱ」のイメージより	1986-87	紙・型絵染	各63.5×41.5	
- 1	霧	- 2	枯葉	- 3	ピアノの門
- 5	ヒースの茂る荒地	- 6	変わり者のラヴィーナ将軍	- 7	月の光がふりそそぐテラス
- 9	ピックウィック卿をたたえて	-10	カノーブ	-11	交代する三度
-12	花火				
8-1	長唄娘道成寺より 序（花のほかに松ばかり）	1988	紙・型絵染	四曲屏風一隻／178.5×338.0	第43回新匠工芸会
-2	長唄娘道成寺より 恋（恋の手習いつい見習いて）	1988	紙・型絵染	四曲屏風一隻／178.5×338.0	第43回新匠工芸会
-3	長唄娘道成寺より 怨（うらみうらみて）	1988	紙・型絵染	四曲屏風一隻／178.5×338.0	第43回新匠工芸会
9	沖縄戦で逝きし人々にささげる鎮魂歌	1991	紙・型絵染	二曲屏風一双／各171.8×188.0	第46回新匠工芸会
10	海に逝きし人々にささげる鎮魂歌	1992	紙・型絵染	二曲屏風一双／各171.8×188.0	第47回新匠工芸会

伊砂利彦・志村ふくみ（共同制作）

11	磯なれ松	2008	絹繻・草木染、手織・紙・型絵染	着物／165.0×68.5	伊砂利彦 志村ふくみ 二人展
12	水の戯れ	2008	絹繻・草木染、手織・紙・型絵染	六曲屏風一隻／145.3×219.0	伊砂利彦 志村ふくみ 二人展

移動美術館

移動美術館「日本と世界の名作展」

移動美術館展は、広い県土を有する福島県において、多くの県民が身近な場所で県立美術館の美術品を鑑賞する機会を提供する目的で、1999年から年1回開催している。

本年は、中通り南部の人口6,000人の岩瀬郡天栄村で、ふるさと文化伝承館と生涯学習センターとの2会場による同時開催となった。

内容は、ピカソ、シャガール、ルオー、ベン・シャーンら、ヨーロッパとアメリカ20世紀の美術と、近代日本の洋画、日本画の名作を展示した。また、同町在住の画家、齋藤隆の作品を特別展示した。

会 期：2010年11月3日(水)～28日(日)

会 場：天栄村生涯学習センター

(天栄村大字下松本字原畑 66 電話 0248-82-2504)

天栄村ふるさと文化伝承館

(天栄村大字大里字八石 1-2 電話 0248-81-1030)

開館時間：生涯学習センター…9:00-17:00

ふるさと文化伝承館…9:00-16:00

休館日：生涯学習センター…無休

ふるさと文化伝承館…毎週月曜日、11月4日(水)、24日(木)

主 催：天栄村、天栄村教育委員会、福島県立美術館

観覧料：無料

観覧者数：1,850人(2会場合計)

担 当：伊藤 匡

□印刷物

・展覧会リーフレット(鑑賞のてびき)

規格／A3判二つ折り カラー 29点、無償配布

内容／作家作品解説、展示作品リスト

□関連事業

・ギャラリートーク

① 11月3日(水) 11:00- 20名参加(会場：生涯学習センター)

② 11月14日(日) 11:00- 30名参加(会場：ふるさと文化伝承館)

講師：伊藤 匡(当館学芸課長)

□関連記事

・「県立美術館移動展 名作絵画が天栄に」『福島民友』

2010年11月17日



リーフレット



展示風景(生涯学習センター)



展示風景(ふるさと文化伝承館)

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
【会場①：天栄村生涯学習センター】					
1	大山 忠作	母子像	1969 (昭和 44)	紙・着色	212.5 × 151.6
2	斎藤 清	野仏 (田代) (3)	1977 (昭和 52)	紙・墨画淡彩	97.0 × 67.0
3	斎藤 清	会津の冬、高田・下馬場	1984 (昭和 59)	紙・墨画	64.8 × 95.0
4	齋藤 隆	貌 (7 点組)	2003.05 (平成 15.17)	紙・墨	各 90.0 × 60.0
5	酒井 三良	沖縄風俗	1955 (昭和 30)	紙・墨画淡彩	78.5 × 111.9
6	室井東志生	儼	1984 (昭和 59)	紙・着色	189.4 × 148.6
7	結城 天童	阿武隈川源流	1984 (昭和 59)	紙・着色	162.0 × 130.4
8	石井 柏亭	水車場	1927 (昭和 2)	カンヴァス・油彩	60.9 × 73.1
9	斎藤 与里	裏磐梯	1953 (昭和 28)	カンヴァス・油彩	65.5 × 80.5
10	関根 正二	神の祈り	1918 (大正 7) 頃	カンヴァス・油彩	68.1 × 40.8
11	吉井 忠	麦の穂を持つ女	1941 (昭和 16)	カンヴァス・油彩	116.9 × 91.3
【会場②：天栄村ふるさと文化伝承館】					
12	ジョルジュ・ルオー	版画集《流れる星のサーカス》	1938 (昭和 13) 刊行	紙・エッチング、アクアチント	各 30.4 × 19.7
-1		第 10 図 「親代々の旅芸人」			
-2		第 14 図 「ピエロ」			
-3		第 17 図 「眠れよい子よ」			
13	パブロ・ピカソ	版画集《二人の裸婦》	1945-46 (昭和 20-21)	紙・リトグラフ	各 26.5 × 35.0
-1		第 4 図 1945 年 11 月 22 日			
-2		第 8 図 1946 年 1 月 5 日			
-3		第 10 図 1946 年 1 月 17 日			
-4		第 12 図 1946 年 1 月 24 日			
-5		第 18 図 1946 年 2 月 12 日			
14	マルク・シャガール	版画集《少年時代の思い出》	1958 (昭和 33)	紙・エッチング、アクアチント	各 37.0 × 27.3
-1		第 4 図			
-2		第 8 図			
15	トーマス・ハート・ベントン	日曜日の朝	1939 (昭和 14)	紙・リトグラフ	24.6 × 32.2
16	トーマス・ハート・ベントン	麦を収穫する	1939 (昭和 14)	紙・リトグラフ	24.4 × 30.6
17	ベン・シャーン	版画集《リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…》	1968 (昭和 43)	紙・リトグラフ	各 57.3 × 45.1
-1		飛ぶ鳥の姿			
-2		少年の日の思い出を			
18	斎藤 清	凝視 (二匹の猫)	1952 (昭和 27)	紙・木版	60.6 × 45.3
19	斎藤 清	柿の会津 (2)	1973 (昭和 48)	紙・木版	38.0 × 52.9
20	斎藤 清	赤い実 (A)	1975 (昭和 50)	紙・木版	60.8 × 45.4
21	斎藤 清	会津の冬 (26)	1977 (昭和 52)	紙・木版	37.4 × 52.6
22	斎藤 清	霊峰 (19)、野の仏	1980 (昭和 55)	紙・木版	61.3 × 45.6
23	斎藤 清	地の幸	1989 (平成元)	紙・木版	45.8 × 61.0
24	佐藤 朝山 (玄々)	麝香猫	1954 (昭和 29)	ブロンズ	H87.5 × W42.0 × D31.0
25	橋本堅太郎	慈光	2006 (平成 18)	木彫	H160.0 × W41.0 × D45.0

企画展

1. 美のふるさと 秋田県立近代美術館名品展

大観、清方、直武、百穂、豊四郎…秋田蘭画と珠玉の近代日本画

会 期：2010 年 4 月 17 日(土)～ 5 月 16 日(日)

会 場：企画展示室 A-1・2・3、B

休館日：4 月 19 日(月)、26 日(月)、5 月 10 日(月)

観覧料：一般・大学生 800(640) 円／高校生 600(480) 円／

小・中学生 400(320) 円 * () 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：3,971 名

担 当：堀 宜雄、増淵鏡子

主 催：福島県立美術館、秋田県立近代美術館

【内容】

新潟県立近代美術館、山形美術館に続く、近隣美術館との交換展第三弾。重要文化財 2 点を含む、秋田県立近代美術館所蔵の珠玉の名品を、4 部構成で展示し、秋田蘭画から戦後にいたる日本画の流れを展望した。おもな作家は、横山大観、下村観山、鐙木清方、小田野直武、平福穂庵、寺崎廣業、平福百穂、福田豊四郎など。

会期中、秋田県立近代美術館より鑑賞シートを無償提供いただいたので、アンケート回答者にプレゼントする企画を行い、観覧者の半数を超える 2,120 名より回答をえた。

なお当館の所蔵品展「洋画のキラキラ 福島県立美術館名品展」は 2010 年 6 月 26 日(土)～ 8 月 1 日(日)に開催された。

【総括】

今回の交換展は、秋田県立近代美術館所蔵の日本画名品展ということで、年齢層を高めめに設定し、広報を行った。だが、話題が常設展示「25 年目の贈りもの」展に終始し注目度が落ちてしまったこと、展覧会タイトル、ポスター画像が有機的に結びつかず、トータルな展覧会イメージを抱いてもらえなかったことが集客につながらなかった理由と思われる。

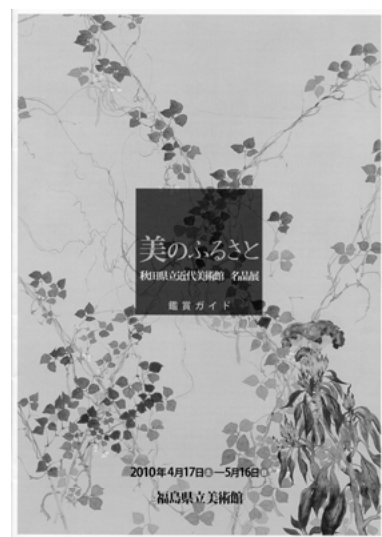
音声ガイドや無料パンフレット、テレビ CM と、2007 年度の山形美術館名品展「名画の散歩道」と同様のサービスと広報を行ったが、今後どう展覧会イメージをつくってアピールするかが課題であろう。アンケートにみる展覧会満足度が高かっただけに（「よい」の回答 90.2%）、一層工夫が必要と思われる。

□印刷物

- ・ポスター（B2）、チラシ（A4）、観覧券、案内ハガキ
- ・鑑賞ガイド（A4 判 カラー 20 頁、無償配布）



B2 ポスター



鑑賞ガイド

□関連事業

- ・講演会「知られざる大作—小田野直武『不忍池図』を追跡する」

日時：4月29日(木) 14:00- 70名参加

講師：今橋理子氏（学習院女子大学教授）

会場：美術館講堂（入場無料）

- ・ゲストトーク「秋田のキラキラをご紹介します」

日時：4月17日(土) 14:00- 50名参加

講師：山本丈志氏（秋田県立近代美術館学芸員）

会場：企画展示室（要観覧券）

- ・ギャラリートーク

日時：①4月24日(土) 14:00- 20名参加

②5月8日(土) 14:00- 20名参加

講師：堀 宜雄（当館主任学芸員）

会場：企画展示室（要観覧券）



展示風景

□関連記事

- ・「17日から収蔵品交換展～県立美術館～」『福島民報』

2010年4月10日

- ・「秋田蘭画の代表作『不忍池図』を解説」『福島民報』5月2日

- ・「秋田県立近代美術館名品展 美のふるさと」

『福島民友』堀 宜雄 5月5日

- ・「＜寄稿＞福島で見る秋田の名画 郷愁、古画秀作並ぶ」

『福島民報』増淵鏡子 5月9日



講演会（4/29）



ゲストトーク（4/17）



ギャラリートーク（4/24）

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
Ⅰ章 秋田蘭画の時代						
I-01	石川大浪・孟高	ファン・ロイエン筆花鳥図模写	1796（寛政8）	紙本着色	232.8 × 107.0	軸装
I-02	沈 南蘋	鶴	1738（乾隆3）	絹本着色	各 103.4 × 49.4	軸装・双幅
I-03	小田野直武	写生帖	1777（安永6）頃	紙本着色	42.5 × 28.3	画帖
I-04	小田野直武	鱒図	1770年代	紙本着色	17.0 × 61.0	軸装
I-05	小田野直武	不忍池図	1770年代	絹本着色	98.5 × 132.5	額装 ※重要文化財
I-06	小田野直武	唐太宗・花鳥山水	1770年代	絹本着色	各 122.0 × 44.5	軸装・三幅対 ※重要文化財
I-07	小田野直武	富嶽図	1770年代	絹本着色	43.5 × 77.0	軸装
I-08	小田野直武	芍薬花籠図	1770年代	絹本着色	94.5 × 21.5	軸装
I-09	田代忠国・佐竹義躬	紅毛玻璃器図	1700年代後半	絹本着色	37.0 × 53.0	軸装
I-10	ヤン・ヨnston	動物図譜	1660（万治3）	紙・銅版	38.0 × 23.5	冊子
I-11	森島 中良	紅毛雑話	1787（天明7）	紙・木版	22.7 × 15.9	冊子
Ⅱ章 穂庵と廣業～明治から大正へ						
II-01	川端 玉章	四時群花図	1877（明治10）頃	絹・金地彩色	43.1 × 68.3	額装
II-02	平福 穂庵	乞食図	1882（明治15）	綿布墨画淡彩	166.2 × 84.1	軸装
II-03	平福 穂庵	緑蔭清談	1886（明治19）	紙本墨画淡彩	150.0 × 79.2	軸装
II-04	平福 穂庵	乳虎	1890（明治23）	絹本墨画淡彩	82.4 × 159.5	軸装
II-05	倉田 松濤	アイヌ	不詳	紙本墨画淡彩	133.0 × 66.0	軸装
II-06	寺崎 廣業	墨堤之雪	1893（明治26）	絹本着色	65.6 × 110.4	軸装
II-07	寺崎 廣業	天の岩戸	明治期	絹本着色	147.0 × 84.0	軸装
II-08	寺崎 廣業	天平美人	1906（明治39）	絹本金地着色	各 152.5 × 172.5	屏風二曲一双
II-09	寺崎 廣業	夜聴歌者	1915（大正4）	絹本裏箔着色	各 166.6 × 370.8	屏風六曲一双
II-10	寺崎 廣業	信濃の山路	1915（大正4）	紙本墨画	43.0 × 1005.0	卷子
Ⅲ章 百穂と近代日本画						
III-01	平福 百穂	草刈女	明治期	紙本着色	147.1 × 50.5	軸装
III-02	平福 百穂	朝露	1915（大正4）頃	紙本着色	各 134.9 × 268.6	屏風六曲一双
III-03	平福 百穂	老松	1916（大正5）	紙本墨画	各 180.2 × 162.7	屏風二曲一双
III-04	平福 百穂	富貴之臺	1917（大正6）	絹本着色	141.7 × 50.3	軸装
III-05	平福 百穂	群鴉	1917（大正6）	紙本金地墨画	172.7 × 170.2	屏風二曲一双の左隻
III-06	平福 百穂	日本武尊・白鳥陵・相模の海	1918（大正7）	紙本墨画淡彩	156.0 × 47.0	軸装
III-07	平福 百穂	牛	1918（大正7）	絹本裏箔着色	各 168.5 × 373.8	屏風六曲一隻
III-08	平福 百穂	菜圃	1920（大正9）	絹本裏箔着色	各 147.8 × 162.8	屏風二曲一隻
III-09	平福 百穂	芳池育麟	1921（大正10）	紙本墨画淡彩	48.0 × 59.0	軸装
III-10	平福 百穂	古柏栗鼠	不詳	絹本着色	135.5 × 45.0	軸装
III-11	平福 百穂	富嶽図	1925（大正14）	紙本墨画淡彩	255.5 × 139.8	軸装
III-12	平福 百穂	堅田の一体	1929（昭和4）	紙本墨画淡彩	115.0 × 95.0	軸装
III-13	平福 百穂	春山	1933（昭和8）	紙本墨画淡彩	91.0 × 104.0	軸装
III-14	横山 大観	雲中富士	1915（大正4）頃	紙本金地着色	各 169.0 × 178.0	屏風二曲一双
III-15	横山 大観	春曙・秋雨	不詳	絹本着色	各 120.0 × 41.0	軸装・対幅
III-16	下村 観山	三保富士	1919（大正8）	絹本金地着色	各 167.0 × 370.0	屏風六曲一双
III-17	吉川 霊華	弁財天	1929（昭和4）	紙本墨画淡彩	129.4 × 30.5	軸装
III-18	結城 素明	春秋山水	昭和初期	絹本着色	各 126.0 × 46.0	軸装・対幅
III-19	山村 耕花	お七吉三	1910年代	絹本着色	各 126.0 × 42.0	軸装・対幅
III-20	鎭木 清方	松と梅	1918（大正7）	絹本裏箔着色	各 169.0 × 176.0	額装2面

III-21	鍋木 清方	秋の夜	1919（大正 8）	絹本着色	140.3 × 50.7	軸装
III-22	小杉 放菴	黒真珠	1935（昭和 10）	紙本着色	46.3 × 55.5	額装
IV章 福田豊四郎と昭和の日本画						
IV-01	福田豊四郎	雪のきた国	1925（大正 14）	紙本着色	71.8 × 120.9	軸装
IV-02	福田豊四郎	小坂風景	1920 年代	絹本着色	65.9 × 54.2	額装
IV-03	福田豊四郎	山湖遊行巻	1929（昭和 4）	紙本着色	66.0 × 1090.0	卷子
IV-04	福田豊四郎	山春	1930（昭和 5）	絹本着色	各 228.8 × 106.8	額装 2 面
IV-05	福田豊四郎	早苗曇り	1930（昭和 5）	絹本着色	212.0 × 181.0	額装
IV-06	福田豊四郎	水辺の夏	1931（昭和 6）	絹本着色	245.0 × 175.5	額装
IV-07	福田豊四郎	街景	1932（昭和 7）	紙本着色	97.0 × 71.1	額装
IV-08	福田豊四郎	山の秋	1931（昭和 6）	紙本着色	各 166.5 × 374.4	屏風六曲一双
IV-09	福田豊四郎	五月山湯	1933（昭和 8）	紙本着色	144.3 × 201.9	屏風二曲一隻
IV-10	福田豊四郎	六月の森	1936（昭和 11）	紙本着色	210.3 × 235.0	屏風二曲一隻
IV-11	福田豊四郎	樹氷	1937（昭和 12）	紙本銀地着色	210.5 × 371.0	屏風四曲一隻
IV-12	福田豊四郎	マレー作戦絵巻	1944（昭和 19）	紙本着色	64.0 × 181.0	卷子
IV-13	福田豊四郎	秋田のマリヤ	1948（昭和 23）	紙本着色	179.3 × 222.4	屏風三曲一隻
IV-14	福田豊四郎	雪国	1968（昭和 43）	紙本着色	168.7 × 255.6	屏風四曲一隻
IV-15	玉村方久斗	書斎	1931（昭和 6）頃	紙本着色	65.8 × 65.9	額装
IV-16	玉村方久斗	玄関にて	1931（昭和 6）頃	紙本着色	66.0 × 66.0	額装
IV-17	玉村方久斗	庭先光景	1931（昭和 6）頃	紙本着色	65.9 × 66.2	額装
IV-18	玉村方久斗	立ち話	1931（昭和 6）頃	紙本着色	65.8 × 66.1	額装
IV-19	玉村方久斗	プラットホーム	1931（昭和 6）頃	紙本着色	65.9 × 65.9	額装
IV-20	町田 曲江	太子と王妃	1936（昭和 11）	絹本着色	各 55.0 × 43.0	額装 2 面
IV-21	高橋 萬年	銀座尾張町	1928（昭和 3）	絹本着色	98.5 × 145.5	額装
IV-22	高橋 萬年	秋の田園	不詳	絹本着色	48.0 × 99.0	軸装
IV-23	谷口 深秋	姉妹	1932（昭和 7）	紙本着色	146.0 × 152.5	屏風二曲一隻
IV-24	横山 津恵	淳子	1949（昭和 24）	紙本着色	151.8 × 91.0	額装
IV-25	堀 文子	廃墟	1948（昭和 23）	紙本着色	88.1 × 70.7	額装
IV-26	堀 文子	八丈島風景	1949（昭和 24）頃	紙本着色	70.7 × 88.1	額装
IV-27	荘司 福	温室	1950（昭和 25）	紙本着色	168.0 × 150.0	額装
IV-28	荘司 福	祈り	1964（昭和 39）	紙本着色	110.0 × 125.0	額装
IV-29	岩崎 鐸	結婚式	1951（昭和 26）	紙本着色	182.7 × 211.8	額装
IV-30	工藤 甲人	連理の木の葉	1963（昭和 38）	紙本着色	73.0 × 60.3	額装
IV-31	工藤 甲人	星と鳥	1963（昭和 38）	紙本着色	49.7 × 60.5	額装
IV-32	佐々木裕久	地の華 - 凍結した夜	1972（昭和 47）	紙本着色	120.0 × 165.2	額装
IV-33	佐々木裕久	霊家族（翳）	1970 年代	紙本着色	133.5 × 178.3	額装
IV-34	小泉 淳作	春を待つ鳥海山	1995（平成 7）	紙本墨画淡彩	155.0 × 271.0	額装

2. 世界で一番美しい庭 アンドレ・ボーシャン展

会 期：2010年5月29日(土)～7月4日(日)
 会 場：企画展示室 A-1・2・3、B
 休館日：毎週月曜日
 観覧料：一般・大学生 800(640) 円／高校生 600(480) 円／
 小・中学生 400(320) 円
 ＊ () 内は 20 名以上の団体料金
 観覧者数：5,209 名
 担 当：吉村有子、久慈伸一

主催：福島県立美術館
 後援：NHK 福島放送局
 協賛：福島日仏協会
 協力：ギャラリーためなが
 企画協力：アプトインターナショナル

【概要】

アンドレ・ボーシャン（1873-1958）は、正規の美術教育を受けることなく個人的な創作活動を行った〈素朴派〉の画家として知られている。ボーシャンは、フランス中部のサントル＝ヴァル＝ド＝ロワール地方にある小村シャトー＝ルノーに園芸師の息子として生まれた。14 歳まで学校教育を受けた後、父親と同じく園芸師となったボーシャンが本格的に絵画の制作を始めたのは 40 代半ばを過ぎてからのことである。第一次世界大戦に従軍中、軍事地図の作成に携わったことがきっかけで、「描く」ことの面白さに目覚め、1919 年 46 歳の時に兵役から戻ると、ギリシャ神話・聖書・古代史の世界や、身近な花々、自然の風景などを、緻密な描写と鮮やかな色彩によって生き生きと描き出した。

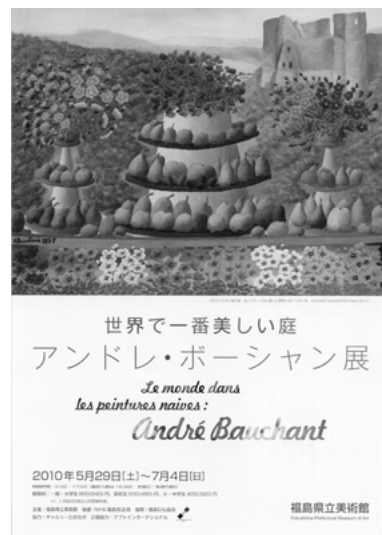
その天真爛漫な創作世界は、後に建築家として有名になるル・コルビュジェや画家オザンファン、彫刻家リプシッツらに高く評価され、サロン・ドートンヌなどの展覧会でも大きな反響を呼んだ。本展では 85 点の作品によってボーシャンの創作の魅力を紹介した。

【総括】

本展は福島日仏協会の協賛を得て開催した。内覧会の際には福島日仏協会会員でピアニストの村木洋子氏によるチェンバロ・コンサート「雅なるチェンバロの響き」が行われ、仙台日仏協会館・アリアンス・フランセーズ院長ダミアン＝ロジェ・コカー氏、福島日仏協会事務局長石川一十三氏も列席した。

ボーシャンが得意とする「花」という主題に加え、フランス語教室やフランス料理教室を開催している福島日仏協会が広報に力を入れたためもあって、女性の来場者が 70 パーセント以上を占め、10 代から 70 代以上まで幅広い年齢層に好評だった。また、NHK が後援に入ったため、県外にも広報が行き渡り、県外からの来場者が 15 パーセントを超えた。

展示室入口の看板の前には、フラワーデザイナーが「ボーシャン風の」花束をアートフラワーによって再現したフラワーアレンジメントが飾られ、雰囲気盛り上げた。



B2 ポスター



カタログ表紙

□印刷物

- ・ポスター（B2）、チラシ（A4）、観覧券、案内ハガキ
- ・出品目録（A4 判）
- ・図録（規格／22 × 20 cm、64 頁）
 図版：カラー 85 点
 本文：「日本での展覧会開催によせて」
 フランソワーズ・ボーシャン（作家遺族）
 「アンドレ・ボーシャンと素朴絵画」千足伸行（成城大学教授）
 主要出品作品解説／略年譜／主要参考文献／出品目録

□関連事業

- ・オープニング・コンサート「クラヴサンの雅なる宴」
 主催：福島県立美術館、福島県立美術館友の会、NPO 法人福島県立美術館協力会
 日時：5 月 28 日(金) 16:00- 160 名参加
 演奏：村木洋子氏（チェンバロ奏者）
 解説：林 裕希氏（チェンバロ製作者）
 会場：美術館エントランスホール（入場無料）
- ・キッズ・レクチャー「ボーシャンおじさんの庭を探検！」
 日時 6 月 6 日(日) 13:30-15:30 20 名参加
 講師：橋本淳也（当館主任学芸員）
 会場：企画展示室（入場無料）
- ・ギャラリートーク「ボーシャンの庭を散策」 各回とも 14:00-
 ① 5 月 29 日(日) 20 名参加
 ② 6 月 5 日(日) 10 名参加 *友の会、福島日仏協会会員対象
 ③ 6 月 12 日(日) 30 名参加
 講師：吉村有子（当館主任学芸員）
 会場：企画展示室（要観覧券）

□関連記事

- ・「アンドレ・ボーシャン展開幕」『福島民報』2010 年 5 月 31 日
- ・「心のなかの楽園 県立美術館ボーシャン展」『福島民報』吉村有子
 ④「理想の世界神話に託す」6 月 6 日
 ⑤「思い描いた『理想郷』表現」6 月 13 日
- ・「夢の世界に咲く花々 県立美術館でアンドレ・ボーシャン展」『福島民友』
 6 月 9 日
- ・「世界で一番美しい庭 アンドレ・ボーシャン展」『河北新報』
 6 月 10 日 吉村有子
- ・「クイズで楽しく理解 親子がボーシャン展巡る」『福島民報』6 月 10 日
- ・「世界で一番美しい庭 アンドレ・ボーシャン展」『福島民友』吉村有子
 ⑥「花々と田園 美しい対照」6 月 23 日
 ⑦「現実の情景 生き生きと」6 月 30 日



展示室入口



オープニング・コンサート（5/28）



ギャラリートーク（5/29）



キッズ・レクチャー（6/6）



ギャラリートーク（6/12）

出品リスト

No.	タイトル	制作年	材質・技法	寸法（縦×横、cm）
1	バビロンの空中庭園	1920	カンヴァス・油彩	64.0 × 100.0
2	花束を持つ少女	1922	カンヴァス・油彩	35.0 × 21.6
3	放蕩息子の帰還	1922	カンヴァス・油彩	34.5 × 61.5
4	婦人の肖像	1923	カンヴァス・油彩	24.5 × 15.5
5	雪景色	1924	カンヴァス・油彩	77.0 × 117.0
6	司祭の肖像	1924	カンヴァス・油彩	48.0 × 38.0
7	羊飼いたちの前に現れるアポロン（太陽神の二輪馬車）	1925	カンヴァス・油彩	167.0 × 146.0
8	まげを結った婦人	1925	カンヴァス・油彩	46.0 × 38.0
9	荷馬車	1925	カンヴァス・油彩	55.0 × 66.0
10	アメリカ独立宣言	1926	カンヴァス・油彩	79.0 × 100.0
11	難破船	1926	カンヴァス・油彩	96.0 × 64.0
12	ノルマンディーのワイン絞り、100 年前	1927	カンヴァス・油彩	54.0 × 65.0
13	二人の若者と老人	1927	カンヴァス・油彩	19.5 × 36.0
14	青い背景の木蓮	1927	カンヴァス・油彩	108.0 × 72.0
15	三人の男	1927	カンヴァス・油彩	22.0 × 35.0
16	アポロン	1928	カンヴァス・油彩	80.3 × 100.0
17	花束	1928	カンヴァス・油彩	82.0 × 73.0
18	乙女たち	1928	カンヴァス・油彩	27.2 × 35.0
19	バラ色の花瓶の花	1928	カンヴァス・油彩	101.5 × 73.0
20	荷車（荷馬車のある風景）	1928	カンヴァス・油彩	89.0 × 116.0
21	大木とアルゴ―船乗組員	1928	カンヴァス・油彩	114.0 × 155.0
22	川と木のある風景	1928	カンヴァス・油彩	19.0 × 33.3
23	花瓶の花（カーネーション）	1928	カンヴァス・油彩	116.0 × 73.0
24	バラ色の背景の花	1929	カンヴァス・油彩	116.0 × 73.0
25	出会い	1929	カンヴァス・油彩	65.0 × 81.0
26	ラヴァルダン城の前のスイカズラ	1929	カンヴァス・油彩	146.0 × 101.0
27	野原の子供たち	1929	カンヴァス・油彩	89.0 × 115.5
28	レース帽の農婦	1929	カンヴァス・油彩	63.5 × 48.0
29	ピクニック	1929	カンヴァス・油彩	71.2 × 115.3
30	婚約者の紹介	1929	カンヴァス・油彩	65.0 × 92.0
31	花瓶の花と蝶	1929	カンヴァス・油彩	55.0 × 38.0
32	野の花	1930	カンヴァス・油彩	45.5 × 38.0
33	ツグミとコチョウゲンボウ	1930	カンヴァス・油彩	38.0 × 45.5
34	山（風景）	1930	カンヴァス・油彩	53.0 × 65.2
35	仲買人との出会い	1930	カンヴァス・油彩	55.0 × 45.5
36	ヨモギの上の鳥（菜園）	1930	カンヴァス・油彩	146.0 × 100.0
37	高架橋のある河	1930	カンヴァス・油彩	45.5 × 33.3
38	ニンフたちのダンス	1931	カンヴァス・油彩	129.0 × 154.0
39	ダリア	1933	カンヴァス・油彩	45.5 × 27.3
40	テーブルの上のプランター（フラワーポットの花）	1933	カンヴァス・油彩	54.0 × 73.0
41	川辺の風景	1934	カンヴァス・油彩	50.0 × 65.2
42	岩壁の村	1934	カンヴァス・油彩	50.0 × 64.5
43	岩山の赤衣の女たち	1935	カンヴァス・油彩	50.0 × 61.0
44	鳥のいる叢林	1935	カンヴァス・油彩	47.0 × 64.0

45	城塞と花	1937	カンヴァス・油彩	66.0 × 92.5
46	日曜日の散歩	1937	カンヴァス・油彩	27.0 × 40.0
47	古代スコットランドの人々	1938	カンヴァス・油彩	54.2 × 65.2
48	ボタンの植え込み	1938	カンヴァス・油彩	41.0 × 57.5
49	花	1939	カンヴァス・油彩	61.0 × 46.0
50	ゼウスの誕生（田園の寓意）	1939	カンヴァス・油彩	89.0 × 116.0
51	岩礁を割る海神	1939	カンヴァス・油彩	98.0 × 130.0
52	トゥーレーヌの風景（河のある風景）	1940	カンヴァス・油彩	89.0 × 115.0
53	野の花	1941	カンヴァス・油彩	54.0 × 81.0
54	花盛りの山岳	1943	カンヴァス・油彩	65.0 × 82.0
55	キンボウゲ	1943	カンヴァス・油彩	61.0 × 45.0
56	トゥールの大道薬売り	1944	カンヴァス・油彩	51.0 × 61.0
57	遠景の城	1944	カンヴァス・油彩	18.0 × 31.0
58	テレマコスの帰還	1944	カンヴァス・油彩	36.7 × 46.0
59	理想的風景	1944	カンヴァス・油彩	54.0 × 65.0
60	パイアケスの王女に迎えられるオデュッセウス	1944	カンヴァス・油彩	65.0 × 100.3
61	花咲く茂み	1945	カンヴァス・油彩	54.0 × 63.0
62	風景の中の花束	1946	カンヴァス・油彩	29.7 × 44.8
63	川辺の花瓶の花	1946	カンヴァス・油彩	46.0 × 56.0
64	幼子らをわたしの所に来るままにせよ	1947	カンヴァス・油彩	64.0 × 100.0
65	収穫の帰り道	1947	カンヴァス・油彩	62.0 × 83.0
66	花の植え込み	1947	カンヴァス・油彩	38.0 × 45.5
67	ひなびた情景	1948	カンヴァス・油彩	61.0 × 44.5
68	芸術家たちの聖母	1948	カンヴァス・油彩	65.0 × 81.0
69	収穫する村人たち	1948	カンヴァス・油彩	81.0 × 100.0
70	アスターとダリア	1949	カンヴァス・油彩	68.0 × 50.5
71	樹下のとりどりの花	1949	カンヴァス・油彩	45.5 × 55.0
72	城	1949	カンヴァス・油彩	55.0 × 61.0
73	城の前に立つ二人の人物	1950	カンヴァス・油彩	30.0 × 49.0
74	とりどりの夏秋の花	1950	カンヴァス・油彩	84.0 × 64.0
75	日本のアネモネ	1951	カンヴァス・油彩	45.5 × 55.0
76	タルスでアントニウスと出会うクレオパトラ	1952	カンヴァス・油彩	60.0 × 77.0
77	花束	1954	カンヴァス・油彩	45.5 × 53.0
78	風景の中の花	1954	カンヴァス・油彩	60.5 × 65.0
79	バラの茂み	1955	カンヴァス・油彩	32.5 × 36.5
80	風景の中の花	1955	カンヴァス・油彩	50.0 × 65.0
81	石台の上の花入れ	1955	カンヴァス・油彩	38.0 × 46.0
82	小卓上の花瓶の花	1956	カンヴァス・油彩	62.0 × 78.0
83	ラヴァルダン城の前、丸いフルーツ皿に載った果物と花	1957	カンヴァス・油彩	78.0 × 102.0
84	パンジーの大きな植え込み	1957	カンヴァス・油彩	59.5 × 74.0
85	兄弟によって売られるヨセフ	不詳	カンヴァス・油彩	75.0 × 100.0

3. 胸さわぎの夏休み

イチハラ×やなぎ×ヤノベ×小沢=∞、美術館で熱くなれ！

会 期：2010年7月17日(土)～8月29日(日)

会 場：企画展示室 A-1・2・3、B

休館日：毎週月曜日（7月19日は開館）、7月20日(火)

＊8月6日(金)は20:00まで夜間開館

観覧料：一般・大学生 600(480) 円／高校生 300(240) 円／

小・中学生 200(160) 円 ＊ () 内は20名以上の団体料金

観覧者数：4,747 名

担 当：荒木康子、橋本淳也

主 催：福島県立美術館

共 催：NPO 法人 福島県立美術館協力会

助 成：芸術文化振興基金、株式会社資生堂

【概要】

本展では、時代を見据えながらその中で生きるということはどういうことなのか、創作活動を通じて思考を積み重ねてきた4人の作家たちの活動を紹介した。

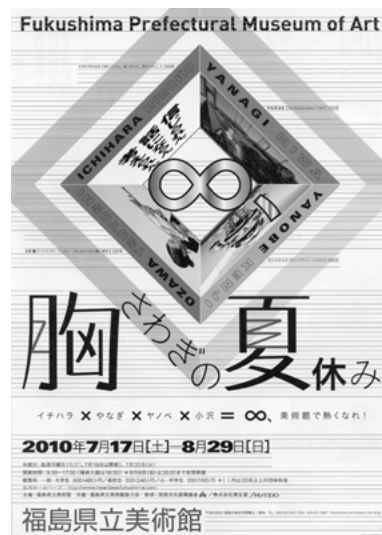
今を生きる女性の本音を、愛と笑いに満ちた言葉によって表現してきたイチハラヒロコ（1963-）。老若やジェンダーをテーマにした演劇性の強い写真や映像を制作するやなぎみわ（1967-）。核の存在を常に意識せざるを得ない終末的な現代社会を生きのびるための、奇想天外な機械彫刻を作りだしてきたヤノベケンジ（1965-）。アートによって社会を身近な視点から捉え直してみようと、ユーモアあふれるプロジェクトを実践する小沢剛（1965-）。

同世代の彼らに共通するのは、自らの率直な生活感覚から出発し、小さな発見をアートによって大きな視点へと転換していること。個を世界へとつなげ、解放していくアートのダイナミックな力への信頼が彼らの作品の根底には流れている。そうした作品を通して、今という時代や社会と関わるアートのあり方を考えた。

【総括】

本展では、10代20代の若い人たちに多く関心を持ってもらえるような関連事業等を展開した。例年開催している学校連携共同ワークショップとして、展覧会前に小沢剛氏と共に双葉郡楢葉町立楢葉中学校、福島市立福島第四中学校で「ベジタブル・ウェポン・プロジェクト」を開催。またイチハラヒロコ氏企画のことばのワークショップ「わくわくドキドキ世界一決定戦」を福島県立福島明成高等学校、福島県立福島西高等学校で開催。またこれらのワークショップのアシスタント、展示、広報活動のアシスタントとして福島大学の学生ボランティアに活躍してもらった。教育現場と展覧会との連携を積極的に行った。その他、会期中には夏休みの子供たちを対象にしたワークショップやイベントも行い、子供も大人も共にアートに親しみ、胸さわぎを感じてもらえるような工夫をした。

前年の「アンドリュー・ワイエス展」では7%だった高校生以下の観覧者数の割合は、本展では15%。イベントにも子供たちの姿は多く見られ、当初の目標は達成できたといってよいだろう。そして様々な人たちとのコミュニケーションを通して、展覧会は広がりを持てたと考えている。



B2 ポスター



カタログ表紙

□印刷物

- ・ポスター（B2）、チラシ（A4）、観覧券、案内ハガキ、広報カード（名刺大、2種）
- ・図録（24.0 × 19.2cm 102 頁）
図版：カラー 123 点
本文：「芸術の想像力」 酒井哲朗（当館館長）
「学校連携共同ワークショップ」
橋本淳也（当館主任学芸員）
「胸さわぎの熱い夏を満喫するために」
荒木康子（当館主任学芸員）
関連事業／作家略歴・展覧会歴・参考文献／作品リスト

□関連事業

- ・学校連携共同ワークショップ「ベジタブル・ウェポン・プロジェクト」
講師：小沢剛氏（出品作家）
①日時：6 月 29 日(火) 13:40-15:30 ／ 7 月 6 日(火) 13:40-15:30
対象：双葉郡楡葉町立楡葉中学校 2 年生 27 名
②日時：7 月 5 日(月) 15:30-17:30 ／ 7 月 14 日(火) 15:30-18:30
対象：福島市立福島第四中学校美術部 25 名
- ・学校連携共同ワークショップ「わくわくドキドキ世界一決定戦！」
企画：イチハラヒロコ氏（出品作家）
箭内新一氏（美術家）、武田俊彦氏（美術家）
講師：箭内新一氏、武田俊彦氏
①日時：7 月 8 日(休)
対象：福島県立福島明成高等学校 3 年生 63 名
②日時：7 月 9 日(金)
対象：福島県立福島西高等学校 1 ～ 3 年生 13 名
- ・やなぎみわ対談「婆が笑う」
日時：7 月 17 日(土) 14:00-16:00 70 名参加
講師：やなぎみわ氏（出品作家）、内藤正敏氏（写真家・民俗学者）
会場：美術館講堂（入場無料）
- ・イチハラヒロコ関連ワークショップ
「わくわくドキドキ世界一決定戦！— FINAL」
日時：8 月 1 日(日) 13:30-15:00 70 名参加
企画：イチハラヒロコ氏
講師：箭内新一氏、武田俊彦氏
司会進行：境谷のぞみ（福島大学学生ボランティアスタッフ）
会場：美術館講堂（入場無料）



展示風景（イチハラヒロコ）



展示風景（やなぎみわ）



展示風景（ヤノベケンジ）



展示風景（小沢剛）

・「ラッキードラゴン・デー」

①ワークショップ&ファイヤー・パフォーマンス

「ラッキードラゴンとトラやんの夏休み」

日時：8月6日(金) 13:30-16:00 32名参加

講師：橋本淳也（当館主任学芸員）、

福島大学学生ボランティアスタッフ

会場：美術館実習室、企画展示室ほか

②アーティストトーク「ラッキードラゴンに出会うまで」

日時：8月6日(金) 17:00-18:45 30名参加

講師：ヤノベケンジ氏（出品作家）

会場：美術館講堂

③コンサート&ファイヤー・パフォーマンス

「ラッキードラゴンのおはなし」

日時：8月6日(金) 19:00-19:45 150名参加

進行：ヤノベケンジ氏（出品作家）

映像：青木兼治氏（映像作家）

演奏：LUCKY DRAGON UNLIMITED IMAGINATION TRIO

（ヤマダタツヤ氏、ヤマダアンナ氏、成井幹子氏）

会場：美術館エントランスホール

・小沢剛アーティストトーク「アーティストの旅」

日時：8月8日(日) 13:30-15:00 40名参加

講師：小沢剛氏（出品作家）

会場：美術館講義室

・ふくしま FM 吉田慶子「一枚の写真から」公開録音

日時：8月8日(日) 15:30-17:30 200名参加

出演：吉田慶子氏（ボサノヴァ歌手）、小沢剛氏（出品作家）、

中村由利子氏（作曲家・ピアニスト）

会場：美術館講堂

□関連記事

・「現代美術の魅力紹介 きょう企画展開幕」『福島民友』

2010年7月17日

・「機械彫刻やユーモア作品 きょうから企画展」『福島民報』

7月17日

・「奇抜な機械彫刻も人気 4 美術家が個性的な作品」『福島民報』

7月18日

・「繰り返し言葉で世界一目指そう 県立美術館が作品募集」

『福島民友』7月27日

・「巨大機械彫刻 美術館に登場」『河北新報』8月3日

・「胸さわぎの夏休み 生きづらい現代に挑む」『河北新報』

8月5日 荒木康子

・「＜奥の細道＞ファイヤー・パフォーマンス」『福島民友』8月6日



学校連携協同ワークショップ（楢葉中学校）



学校連携協同ワークショップ（明成高校）



やなぎみわ対談（7/17）



ラッキードラゴン・デー（8/6）

- ・「巨大ロボット火噴く きょうパフォーマンス披露」『福島民報』8月6日
- ・「胸さわぎの夏休み ポップな4人共演」『福島民報』8月8日 荒木康子
- ・「巨大ロボ トらやん火を噴く 県立美術館企画展で披露」『福島民報』8月8日
- ・「作品の魅力 ラジオでトーク 作家が公開収録」『福島民報』8月14日
- ・「胸さわぎの夏休み 今を生きる4作家競演」『福島民報』8月18日 橋本淳也

出品リスト

番号	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)	所蔵
イチハラヒロコ					
1	あのときはやすぎて、いまではおそすぎる。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	160 × 160	鎌倉画廊
2	いつも、気にしていた。ずっと、探していた。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	160 × 160	鎌倉画廊
3	イヤでも生きる。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	160 × 160	
4	心配だから連絡くらい入れなさい。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	160 × 160	
5	あなたにあわす、顔がない。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	20 × 20	
6	いつでもどこでも誰とでも。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	20 × 20	
7	体が目的ならなおうれしい。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	20 × 20	
8	自分のことは棚にあげよう。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	20 × 20	鎌倉画廊
9	好きなら好きと言えよ。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	20 × 20	
10	そんなひとなら、別れたら。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	20 × 20	
11	どたんばせとぎわ崖つぶち。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	20 × 20	
12	わたしはあなたと違います。	2006	カンヴァス・シルクスクリーン	20 × 20	
13	愛はまだか。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
14	明日は掃除だ。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
15	あなたをすっかり忘れてしまった。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
16	生き方がジャージ同然。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
17	エブリタイムケンカ腰。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
18	おかげ様で天下無敵。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
19	人生思い通り。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
20	チャンスを何度もあげたのに。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
21	ハッピー、ハッピー、ハッピー、と思い込む。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
22	よそはよそ。うちのうち。	2007	和紙・活版印刷	15 × 10.5	
23	君のことは君に聞け。俺のことは俺に言え。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	140 × 140	
24	心は込めていませんが、いつもお世話になっております。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	140 × 140	鎌倉画廊
25	信じられん。話にならん。考えられん。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	140 × 140	
26	ひとりで決められない。ひとりで決められない。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	140 × 140	
27	やさしさが減りました。なぜですか。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	140 × 140	鎌倉画廊
28	期待して当たり前なんだし。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	30 × 30	鎌倉画廊
29	こんなのはじめてですから。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	30 × 30	
30	全力で、短く、正確に。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	30 × 30	
31	つないだこの手は離さない。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	30 × 30	
32	なんだかしつれいしちゃう。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	30 × 30	
33	もう一度最初からやり直し。	2009	カンヴァス・シルクスクリーン	30 × 30	
34	大学行って一人前。就職したら一人前。仕事できて一人前。結婚したら一人前。子供ができて一人前。二人目できて一人前。どこまでいけば一人前。何まですれば一人前。そもそもお前は何人前。	2007-10	カットティングシート	762 × 767	

やなぎみわ

35	My Grandmothers/ SACHIKO	2000	発色現像方式印画	86.7 × 120
36	My Grandmothers/ MIE	2000	発色現像方式印画	120 × 160
37	My Grandmothers/ MINAMI	2000	発色現像方式印画	133 × 160
38	My Grandmothers/ YUKA	2000	発色現像方式印画	160 × 160
39	My Grandmothers/ ERIKO	2001	発色現像方式印画	120 × 180
40	My Grandmothers/ MIKA	2001	発色現像方式印画	150 × 180
41	My Grandmothers/ MIKIKO	2001	発色現像方式印画	100 × 75
42	My Grandmothers/ YOSHIE	2001	発色現像方式印画	83.3 × 100
43	My Grandmothers/ REGINE + YOKO	2001	発色現像方式印画	128 × 160
44	My Grandmothers/ GEISHA (AKIYO/ MAI/ HITOMI/ NORIKO)			
		2002	発色現像方式印画	180 × 240
45	My Grandmothers/ MISAKO	2002	発色現像方式印画	120 × 80
46	My Grandmothers/ MINEKO	2002	発色現像方式印画	87.5 × 120
47	My Grandmothers/ RYUEN	2002	発色現像方式印画	76.5 × 90
48	My Grandmothers/ KAHORI	2004	発色現像方式印画	64 × 80
49	My Grandmothers/ SHIZUKA	2004	発色現像方式印画	140 × 100
50	My Grandmothers/ MITSUE	2009	発色現像方式印画	130 × 130

ヤノベケンジ

51	ラディエーションスーツ・アトム	1996	ガイガー・カウンター、PVC、ストロボライト他	185 × 110 × 70
52	アトムスーツ	1997	ガイガー・カウンター、PVC、ストロボライト他	60 × 56 × 38
53	アトムスーツプロジェクト・観覧者1・チェルノブイリ			
		1997	ライトボックス	45 × 45 × 5
54	アトムスーツプロジェクト・保育園4・チェルノブイリ			
		1997	ライトボックス	45 × 45 × 5
55	ラディエーションスーツ・ウラン2	1999	ガイガー・カウンター、鉄、ストロボライト他	180 × 90 × 85 高橋コレクション
56	ミニ・アトムスーツ	2003-05	ガイガー・カウンター、PVC、ストロボライト他	96 × 45 × 33
57	とらやん (1/1)	2004-05	ガイガー・カウンター、FRP 他	96 × 45 × 33 (10 体)
58	ジャイアント・とらやん	2005	アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発泡スチロール他	720 × 460 × 310
59	青い森の映画館	2006	鉄、アルミニウム、ガイガー・カウンター他	237 × 184 × 160
60	ミニ・とらやん	2007	ガイガー・カウンター、プラスチック	34 × 19 × 14 (104 体)
61	ミニ・ザ・ナイト	2007	ガスマスク、鉄、真鍮他	97 × 63 × 47
62	Ferris Wheel	2007	鉄、FRP、ネオン、モーター他	325 × 280 × 183
63	「とらやんの大冒険」絵本原画	2007	鉛筆、紙	71.5 × 50.5 (3 点)、35 × 50.5 (3 点)、34 × 25 (2 点)
64	ミニミニ・とらやん	2008	プラスチック	10 × 5 × 5 (8 体)
65	ラッキードラゴン構想模型	2008	アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発泡スチロール他	185 × 110 × 290
66	Thievish Mouse Lamp	2008	FRP、真鍮他	240 × 52 × 35 個人
67	「森の映画館」ネオン看板	2009	鉄、ネオン	62 × 292 × 16
68	ラッキードラゴン	2009	アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発泡スチロール他	252 × 820 × 365

69	「トラやんの世界 ラッキードラゴンのおはなし」絵本原画	2009	ペン・色鉛筆・水彩、紙	25 × 71.5 (1点)、23.5 × 71.5 (1点)、17.5 × 50.5 (5点)	
70	幻燈夜会 有隣荘	2010	アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発泡スチロール他	150 × 83 × 84	大原美術館
参考出品 ベン・シャーン作 ラッキードラゴン 1960 綿布・テンペラ 214.5 × 122 福島県立美術館					
小沢 剛					
71	ベジタブル・ウェポン—キムチチゲ／ソウル	2001	タイプC プリント	113 × 156	UBS アート・コレクション
72	ベジタブル・ウェポン—さんまのつみれ鍋／東京	2001	タイプC プリント	113 × 156	オオタファインアーツ
73	ベジタブル・ウェポン—チャプスイ／バギオ、フィリピン	2001	タイプC プリント	156 × 113	クィーンズランド・アート・ギャラリー
74	ベジタブル・ウェポン—部隊鍋／ソウル	2001	タイプC プリント	156 × 113	オオタファインアーツ
75	ベジタブル・ウェポン—アイスランドのグラフラックス（生鮭の岩塩・ハーブ漬け）／ニューヨーク	2002	タイプC プリント	113 × 156	高橋コレクション
76	ベジタブル・ウェポン—アルバニア料理／ニューヨーク	2002	タイプC プリント	113 × 156	オオタファインアーツ
77	ベジタブル・ウェポン—石狩鍋／東京	2002	タイプC プリント	156 × 113	クィーンズランド・アート・ギャラリー
78	ベジタブル・ウェポン—海鮮火鍋／北京	2002	タイプC プリント	156 × 113	クィーンズランド・アート・ギャラリー
79	ベジタブル・ウェポン—スリランカのバリッパ（レンズ豆のカレー）／ニューヨーク	2002	タイプC プリント	113 × 156	クィーンズランド・アート・ギャラリー
80	ベジタブル・ウェポン—モツ鍋／福岡	2002	タイプC プリント	113 × 156	クィーンズランド・アート・ギャラリー
81	ベジタブル・ウェポン—羊肉火鍋／北京	2002	タイプC プリント	113 × 156	個人
82	ベジタブル・ウェポン—ナスとトマトの煮込み／イスタンブール	2003	タイプC プリント	113 × 156	高橋コレクション
83	ベジタブル・ウェポン—フェイジョン・フラディーニョ／リオデジャネイロ	2003	タイプC プリント	113 × 156	オオタファインアーツ
84	ベジタブル・ウェポン—ナン・プリ／チェンマイ、タイ	2004	タイプC プリント	113 × 156	高橋コレクション
85	ベジタブル・ウェポン—ワートルゾーイ（鶏肉のクリーム煮）／リール、フランス	2004	タイプC プリント	113 × 156	高橋コレクション
86	ベジタブル・ウェポン—ゴーヤチャンプルー／沖縄	2005	タイプC プリント	156 × 113	UBS アート・コレクション
87	ベジタブル・ウェポン—サラダ パリジェンヌ／パリ	2005	タイプC プリント	113 × 156	UBS アート・コレクション
88	ベジタブル・ウェポン—ソンロブ／ラサ、中国	2006	タイプC プリント	156 × 113	UBS アート・コレクション
89	ベジタブル・ウェポン—リゾット・アラ・トレヴィザナーナ／ベルガモ、イタリア	2006	タイプC プリント	156 × 113	UBS アート・コレクション
90	ベジタブル・ウェポン—カトゴ（野菜とバナナの煮物）-1／ホイマ、ウガンダ	2008	タイプC プリント	156 × 113	

4. 古代エジプト 神秘のミイラ展 ～オランダ国立古代博物館コレクション～

会 期：2010年9月18日(土)～12月5日(日)

会 場：企画展示室 A-1・2・3、B

休館日：毎週月曜日（9月20日、10月11日は開館）

観覧料：一般 1,200(1,000) 円／高校・大学生 800(600) 円／

小・中学生 600(400) 円 ＊（ ）内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：64,700 名

担 当：佐治ゆかり、宮武 弘

主 催：福島県立美術館、福島民報社、福島テレビ

企画・監修：オランダ国立古代博物館

協賛：東邦銀行

【概要】

オランダ国立古代博物館は 1818 年に設立されたヨーロッパ有数の博物館で、特に古代エジプトのコレクションは大英博物館やルーブル美術館と並ぶ充実した内容で知られている。

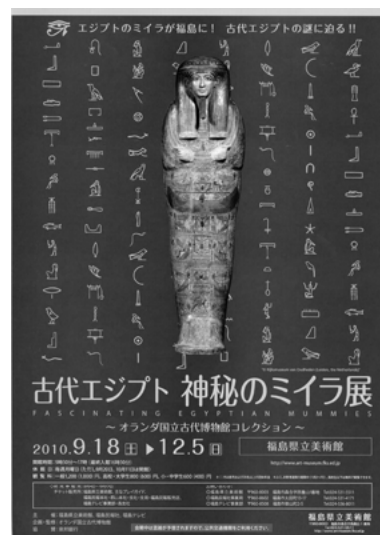
本展示会の出品物は約 200 点である。極めて変化に富んだそれらのほとんどは、古代エジプトの墳墓からの出土品であり、そこには、人間の死後の世界に関して、古代エジプトの人々が数千年をかけて作り上げてきた豊かな精神と物質の世界が反映されている。そうした出土品のうち、本展では特にミイラに焦点をあてて展示した。

2,650 年前のエジプト王国時代の神官アネクホルのミイラと三重の棺。ミイラを作るための道具や装飾品、護符。さらには来世に復活するための呪文と美しい挿図が施された『死者の書』など、「ミイラ」に象徴される古代エジプトの死生観を紹介した。また、こうした古代エジプトの豊かな文化を解明する基礎となったヒエログリフの解読者であるエジプト学者・シャンポリオンのノートも初公開となった。

さらに古代エジプト研究の最前線についての講演会や、文字の解読、また古代エジプトを体感するための講座など、多方面から古代エジプトについての理解を深めるための事業を行った。

【総括】

ミイラを展示の中心にして、古代エジプト人の死生観や暮らしを「モノ」に即してわかりやすく探る展示を行った。さらに、展示品をより深く理解したり、古代エジプト社会の暮らしを体感できるように、多彩な関連事業を提供することで、幼児から高齢者まで、それぞれの年代で感じたり楽しむことができる展覧会となった。



B2 ポスター



カタログ表紙

□印刷物

- ・ポスター（B2）、チラシ（A4）、観覧券、案内ハガキ

- ・図録（21.0 × 29.5cm 78 頁）

図版：カラー 143 点、モノクロ 223 点

本文：ごあいさつ／オランダ国立古代博物館のエジプト・コレクション／
古代エジプト地図／古代エジプトの神々／古代エジプト史年表／
全作品リスト

□関連事業

- ・記念講演「古代エジプト研究最前線」

日時：10 月 2 日(土) 14:00-16:00 100 名参加

講師：近藤二郎氏（早稲田大学文学学術院教授）

会場：美術館講堂（要観覧券）

- ・特別講義①「ビールとパンの国～古代エジプトを味わう」

日時：9 月 25 日(土) 14:00-16:00 30 名参加

講師：中野智章氏（中部大学准教授）

会場：美術館講義室、レストラン（参加費 1,500 円）

- ・特別講義②「古代エジプトの言葉と文字～展示品のヒエログリフを読んでみよう」

日時：11 月 13 日(土) 14:00-16:00 100 名参加

講師：永井正勝氏（筑波大学准研究員）

会場：美術館講堂（要観覧券）

- ・鑑賞講座「日本人とミイラ+展覧会見所紹介」 各回とも 10:30-12:00

① 9 月 30 日(木)祝 40 名参加 *友の会会員限定

② 10 月 23 日(土) 40 名参加

③ 11 月 27 日(土) 40 名参加

講師：佐治ゆかり（当館主任学芸員）

会場：美術館講義室（聴講無料）

□関連記事

- ・「開催概要を確認 9 月から古代エジプトミイラ展」『福島民報』

2010 年 6 月 10 日

- ・「18 日から古代エジプト展 慎重に展示作業 県立美術館」『福島民報』

9 月 14 日

- ・「エジプト展あす開幕 県立美術館」『福島民報』9 月 17 日

- ・「エジプトの神秘 今に ミイラや遺物展示 きょう福島で開幕」

『福島民報』9 月 18 日

- ・「よみがえる古代エジプト 『神秘のミイラ展』開幕 県立美術館」

「県立図書館に関連書籍 100 冊」『福島民報』9 月 19 日

- ・「エジプトのミイラ展示 12 月 5 日まで」『福島民報』9 月 21 日



展示風景



開会式（9/17）

- ・「ミイラに迫力 県立美術館エジプト展」『毎日新聞（福島県版）』9月25日
- ・「象形文字読み 暮らし探る 県立美術館 エジプト展特別講座」『福島民報』9月26日
- ・「ミイラ展 1万人突破 県立美術館」「きょう記念講演」『福島民報』10月2日
- ・「県立美術館ミイラ展 古代エジプト解説 早稲田大の近藤教授講演」『福島民報』10月3日
- ・「県立美術館で開催中 『神秘のミイラ展』 最新の研究成果を解説」『福島民報』10月11日
- ・「『みつろう画』 技法学ぶ 県立美術館エジプト展ちなみ講座」『福島民報』10月11日
- ・「エジプト展 2万人に 県立美術館」『福島民報』10月16日
- ・「古代エジプト 学芸員が解説 県立美術館」『福島民報』10月24日
- ・「県立美術館のエジプト展 7日と25日に特別講座」『福島民報』10月29日
- ・「古代エジプト神秘のミイラ展 入場者3万人達成 県立美術館」『福島民報』11月3日
- ・「エジプトの魅力を理解 旅のプロ招き講座 県立美術館」『福島民報』11月8日
- ・「尚志高生ら訪れ鑑賞 県立美術館『神秘のミイラ展』」『福島民報』11月9日
- ・「古代エジプトの文化学ぶ 県立美術館 伝次郎クラブ鑑賞講座」『福島民報』11月12日
- ・「エジプト展 4万人に 県立美術館」「きょう展示品の象形文字を解説」『福島民報』11月13日
- ・「スフィンクスを守った土塀？ エジプトで発見 エジプト展で展示」『福島民報』11月14日
- ・「聖刻文字の特徴 説明 福島の県立美術館 ミイラ展で講座」『福島民報』11月22日
- ・「神秘のミイラ展入場 5万人達成 県立美術館“歴代3位”」『福島民報』11月27日
- ・「ミイラ展にぎわう 5日まで県立美術館」『福島民報』11月28日
- ・「ミイラ展大詰め 県立美術館5日に閉幕」『福島民報』12月3日
- ・「<みんなのひろば>感動のミイラ展 次女は再度見学」『福島民報』12月3日
- ・「ミイラ展 きょう閉幕 県立美術館」『福島民報』12月5日
- ・「神秘のミイラ展 閉幕 県立美術館過去3位 6万人入場」『福島民報』12月6日
- ・「ミイラ展閉幕 あいさつで来社 糠沢福島テレビ社長」『福島民報』12月8日
- ・「入館者が大幅増 22年度の県立美術館『ミイラ展』 人気が反映」『福島民報』2011年2月17日
- ・「入場者6万4700人 県立美術館ミイラ展」『福島民報』2月24日



特別講義①（9/25）



鑑賞講座（9/30）



講演会（10/2）



特別講義②（11/13）



入場5万人表彰（11/26）

出品リスト

No	資料名	年代	材質	寸法 (cm)
1	アंकホルのミイラ	末期王朝時代、第 26 王朝 (紀元前 625 年頃)	リネン、ファイアンス、金	長 167.5 × 幅 42.5 × 高 27.5
2	アंकホルのミイラ内棺	末期王朝時代、第 26 王朝 (紀元前 625 年頃)	木、彩色	長 175 × 幅 45 × 高 28
3	アंकホルのミイラ中棺	末期王朝時代、第 26 王朝 (紀元前 625 年頃)	木、彩色	長 204 × 幅 47 × 高 65
4	アंकホルのミイラ外棺	末期王朝時代、第 26 王朝 (紀元前 625 年頃)	木、彩色	長 210 × 幅 79 × 高 86
5	筆記用パレット	新王国時代 (紀元前 1550-1070 年)	木	長 37.2 × 幅 5.2
6	インク容器	新王国時代 (紀元前 1550-1070 年)	石	3.4 × 5.5
7	磨石	紀元前 1500-400 年	アラバスター (方解石)	長 8
8	神官書体のオストラコン	新王国時代、第 20 王朝 (紀元前 1196-1070 年)	石灰岩	長 22 × 幅 12 × 高 4
9	門の一部	末期王朝時代、第 26 王朝 (紀元前 664-525 年)	ブロンズ	長 6.8 × 幅 6.8 × 高 16.8
10	モンチュ神の小像	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年)	ブロンズ	高 14.8
11	ネフェルテムまたはモンチュ神の奉納像	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年)	ブロンズ	長 11.3 × 幅 7.4 × 高 36.5
12	シトゥラ (小壺)	新王国時代 (紀元前 1550-1070 年)	ブロンズ	長 12.3
13	香具	ギリシア時代 (2-3 世紀)	ブロンズ	長 40
14	オシリス神小像	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年)	ブロンズ	高 17.7
15	オシリス神像	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年)	ブロンズ	高 92
16	オシリス神の三神群像	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年)	ブロンズ	奥行 3.8 × 幅 7 × 高 10.6
17	イシス神小像	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年) (推定)	ブロンズ	高 19
18	ウジャト眼形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 3.5 × 幅 4.3
19	ジェド柱形護符 (小)	紀元前 1500-400 年	ラピスラズリ	長 3.3
20	ティト形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 4
21	ネスナナクトウの『死者の書』	プトレマイオス王朝時代 (紀元前 304-30 年)	パピルス	縦 29.8 × 横 48.3
22	バー	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年)	木、彩色、金箔	幅 4.8 × 高 15.5
23	アムデュアトの書	第 3 中間期 (紀元前 1070-712 年)	パピルス	縦 23.5 × 横 59
24	アヌビス神小像	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年)	ブロンズ (青銅)	高 12.4
25	樹脂	初期王朝時代 (紀元前 2920-2649 年)	樹脂、石灰岩	長 4 × 幅 4 × 厚 2 (最大)
26	センサオスのミイラ	ローマ時代 (109 年)	リネン	長 46 × 幅 10
27	センサオスのミイラリネン包布	末期王朝時代、第 30 王朝 (紀元前 380-343 年)	リネン	長 281 × 幅 2.3
28	フック	紀元前 1500-400 年	ブロンズ	長 27.8
29	ナイフ	新石器時代	フリント	長 13.5 × 幅 3
30	双把手付き軟膏壺	新王国時代 (紀元前 1550-1070 年)	アラバスター (方解石)	高 32.5
31	イビィのカノボス壺	新王国時代、第 18 王朝 (紀元前 1330 年頃)	アラバスター (方解石)	径 24 × 高 50
32	アメンワフスのカノボス壺	新王国時代、第 19 王朝 (紀元前 1307-1196 年)	ファイアンス (彩色陶器)	径 14.5 × 高 34
33-1	ジェドコンスエファンクのカノボス壺 (ジャッカル)	第 3 中間期 (紀元前 1070-712 年)	石灰岩	各径 14.5 × 高 34
33-2	ジェドコンスエファンクのカノボス壺 (猿)			
33-3	ジェドコンスエファンクのカノボス壺 (ファルコン)			
33-4	ジェドコンスエファンクのカノボス壺 (人)			
34	アメンヘテブのカノボス壺	新王国時代 (紀元前 1550-1070 年)	テラコッタ	高 37
35	アメンヘテブのカノボス箱	第 3 中間期 (紀元前 1070-712 年)	木、彩色	幅 43 × 奥行 40 × 高 45
36	バー	紀元前 1500-400 年	ラピスラズリ	長 1.5
37	二本指形護符	紀元前 1500-400 年	ブラックストーン	長 6.5
38	フェニックス模様の心臓 (壺) 形護符	紀元前 1500-400 年	ブラックストーン、金箔	長 6.8
39	オシリス神模様の心臓 (壺) 形護符	紀元前 1500-400 年	石	長 5.2
40	セブの心臓スカラベ	新王国時代、第 18 王朝 (紀元前 1475 年頃)	グリーンジャスパー (緑色碧玉)、金	長 6.8
41	ライオン付き襟飾り形護符	第 3 中間期 / 末期王朝時代 (紀元前 1070-525 年)	金	長 4.9 × 幅 5.3
42	ジェド柱形護符ライオン付き襟飾り形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 10.8
43	ジェド柱形護符 (小)	紀元前 1500-400 年	紅玉髓	長 3.1
44	供養卓 (ミニチュア)	プトレマイオス王朝時代 (紀元前 304-30 年)	ブロンズ (青銅)	長 3.8 × 幅 2.8 × 高 5.2
45	パピルス柱形護符	新王国時代 (紀元前 1550-1070 年)	ファイアンス (彩色陶器)	長 6.3
46	枕形護符	紀元前 1500-400 年	ヘマタイト (赤鉄鉱)	長 1.6 × 幅 2.8
47	階段形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2.5

48	アメネムアンのメンケビット形護符	紀元前 1500-400 年	紅玉髓	長 4.1
49	ラー=ホルアクティ 神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 3.5
50	トト神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 3.4
51	アヌビス神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 4.2
52	マアヘス神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 4.2
53	プタハ神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2
54	ハルボクラテス神形護符	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年)	ファイアンス (彩色陶器)	長 4.5
55	パタイコス形護符	末期王朝時代 (紀元前 712-332 年)	ステアタイト (凍石)	長 4.7 × 幅 2.2
56	三神像形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2.4
57	イシス女神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 7.5 × 幅 2.2
58	イシス女神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 3.4
59	ネフティス女神形護符	紀元前 1500-400 年	ラピスラズリ (青金石)	長 5
60	マアト女神形護符	紀元前 1500-400 年	ラピスラズリ (青金石)	長 2.1
61	ハトホル女神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 3
62	雌豚形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2.6
63	縛られた雌牛形護符	紀元前 1500-400 年	レッドジャスパー (紅色碧玉)	長 2.1
64	兎形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2.2
65	休息のライオン形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 3.1
66	ライオン=雄牛形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2.8
67	蛙形護符	紀元前 1500-400 年	グリーンストーン (緑石)	長 2
68	雄羊頭形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2.1
69	ワニ形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2.2
70	ハヤブサ形護符	紀元前 1500-400 年	ラピスラズリ (青金石)	長 2.6
71	聖蛇ウラエウス形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2 × 幅 2.9
72	猿形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 4.5
73	ネコ形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 1.4
74	セマ形護符	紀元前 1500-400 年	黒曜石	長 2.5
75	羽の王冠形護符	紀元前 1500-400 年	黒曜石	長 4.1
76	メナトのペンダント形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 2.2
77	アクヘト形護符	紀元前 1500-400 年	石	長 1.8
78	アベル形護符	紀元前 1500-400 年	グレーストーン (灰色石)	長 2.7
79	コヤス貝形護符	新王国時代 (紀元前 1550-1070 年)	金、レッドジャスパー (紅色碧玉)	長 1.8 × 幅 1
80	アंक形護符	新王国時代 (紀元前 1550-1070 年)	ファイアンス (彩色陶器)	長 2.9
81	パウィアメンのミイラ	末期王朝時代、第 25-26 王朝 (紀元前 700-650 年)	ミイラ、リネン (亜麻布)、ファイアンス (彩色陶器)、有機物	長 167 × 幅 43 × 高 27.5
82	心臓スカラベ	紀元前 1500-400 年	グリーンストーン (緑石)	長 6.7
83	イムセティ神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 4.5
84	ドゥアムテフ神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 3.8
85	ハピ神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 4.5
86	ケベフセヌエフ神形護符	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 4.2
87	タレウェントとタムトアンの名入りカルトナージュ・パネル	紀元前 1500-400 年	カルトナージュ	長 48.8 × 幅 7.5
88	有翼スカラベ	紀元前 1500-400 年	ファイアンス (彩色陶器)	長 4.9 × 幅 15.2
89	ミイラのマスク	プトレマイオス王朝時代 (紀元前 304-30 年)	カルトナージュ、金彩	長 48.5 × 幅 28 × 厚 14
90	アメンヘテブの棺 (パート 1)	第 3 中間期、第 21 王朝 (紀元前 1000 年頃)	カルトナージュ、石膏	長 185 × 幅 50 × 高 61
91	アメンヘテブの棺 (パート 2)	第 3 中間期、第 21 王朝 (紀元前 1000 年頃)	カルトナージュ、石膏	長 185 × 幅 50 × 高 61
92	アメンヘテブの棺 (パート 3)	第 3 中間期、第 21 王朝 (紀元前 1000 年頃)	カルトナージュ、石膏	長 174 × 高 44
93	ジェフティミンの像	末期王朝時代/プトレマイオス王朝時代 (紀元前 350-300 年)	石灰岩、金箔	高 22.8
94	死者の花嫁	中王国時代 (紀元前 2040-1640 年)	テラコッタ (素焼きの焼き物)	長 16.5
95	鏡	紀元前 1500-400 年	ブロンズ、アラバスター (方解石)	長 21 × 幅 17
96	コホル・ポット	中王国時代 (紀元前 2040-1640 年)	アラバスター (方解石)	径 7.3
97	コホル容器	紀元前 1500-400 年	木材	長 8
98	コホル・スティック	紀元前 1500-400 年	ブロンズ (青銅)	長 11.8

99	櫛	紀元前 1500-400 年	木材	長 5.4
100	ヘアピン	末期王朝時代（紀元前 712-332 年）	象牙、骨	長 9.5
101	タツツアのカップと蓋	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	アラバスター（方解石）	径 5.5
102	ネックレス		ファイアンス（彩色陶器）、金、宝石、ガラス	長 35
103	ネックレス		ファイアンス（彩色陶器）、宝石、金、ガラス	長 50.2
104	ネックレス		ファイアンス（彩色陶器）、紅玉髓、金	長 31
105	ネックレス		金、紅玉髓	長 53.5
106	ビーズ付ネックレス		金、宝石	長 36
107	金のペンダント付ネックレス	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	金、ファイアンス（彩色陶器）	長 23
108	ハヤブサ頭形の宝飾品	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	金、銀、粘土	長 3.5 × 幅 6.3
109	イヤリング	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	金	径 3.3
110	イヤリング	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	金	径 3.3
111	イヤリング	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	レッドジャスパー（紅色碧玉）	
112	イヤリング	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	レッドジャスパー（紅色碧玉）	
113	イヤリング		紅玉髓	径 1.5 × 厚 0.8
114	イヤリング	新王国時代、第 18 王朝（紀元前 1550-1307 年）	金	径 1.2
115	スカラベ形指輪	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	金、ステアタイト（凍石）	長 2.4 × 径 1.4 × 奥行 2.2
116	金製指輪	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	金	
117	円筒型容器	初期王朝時代（紀元前 2920-2649 年）	アラバスター（方解石）	径 14.1 × 高 22.4
118	碗	初期王朝時代（紀元前 2920-2649 年）	アラバスター（方解石）	径 24.7 × 高 7.4
119	皿	初期王朝時代（紀元前 2920-2649 年）	粘板岩	径 29 × 高 6.5
120	皿	初期王朝時代（紀元前 2920-2649 年）	テラコッタ（素焼きの焼き物）	径 22.7 × 高 3.9
121	円筒型容器	初期王朝時代、第 1 王朝（紀元前 2920-2770 年）	アラバスター（方解石）	径 19.5 × 高 44.5
122	蓮型カップ	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	アラバスター（方解石）	高 8
123	碗	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	石灰岩	径 9 × 高 4
124	枕	新王国時代、第 18 王朝（紀元前 1550-1307 年）	木	幅 29 × 高 8
125	三男性の立像模型	中王国時代（紀元前 2040-1640 年）	木、漆喰、彩色	長 39 × 奥行 10 × 高 45.5
126	ボートの模型	中王国時代（紀元前 2040-1640 年）	木	長 87 × 高 45
127	ネシタネプタウィ夫人のシャブティ箱	第 3 中間期、第 21 王朝（紀元前 1070-945 年）	木、石膏	長 57.5 × 高 41.5 × 奥行 29.5
128	メリタモンのシャブティ	第 3 中間期、第 21 王朝（紀元前 1070-945 年）	ファイアンス（彩色陶器）	幅 3.8 × 高 12.9
129	ネシパネフェルのシャブティ	第 3 中間期、第 21 王朝（紀元前 1070-945 年）	ファイアンス（彩色陶器）	幅 3.9 × 高 11.3
130	シャブティ	新王国時代、第 20 王朝（紀元前 1196-1070 年）	石灰岩	幅 5.2 × 高 15
131	フィのシャブティ	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	アラバスター（方解石）	幅 7.7 × 高 25
132	フィネフェルのシャブティ	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	ファイアンス（彩色陶器）	幅 4.4 × 高 11.5
133	パネフシのシャブティ	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	ファイアンス（彩色陶器）	幅 4.4 × 高 11.5
134	ラーのシャブティ	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	ファイアンス（彩色陶器）	幅 4 × 高 15.7
135	イムヘテプのシャブティ	末期王朝時代、第 30 王朝（紀元前 380-343 年）	ファイアンス（彩色陶器）	幅 5.6 × 高 20.5
136	レイのシャブティ	新王国時代、第 18 王朝（紀元前 1550-1307 年）	黒花崗岩	幅 7.2 × 高 30
137	ラメスヘシのシャブティ	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	トラバーチン（大理石）	幅 9.1 × 高 26.5
138	シャブティ	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	赤砂岩	10.3 × 高 27.5
139	ホリアアのシャブティ	末期王朝時代、第 26 王朝（紀元前 664-525 年）	砂岩	幅 5 × 高 18
140	セネロのシャブティ	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	ファイアンス（彩色陶器）、ガラス	幅 6.2 × 高 17
141	ヘシエフシエムスのシャブティ	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	ファイアンス（彩色陶器）	幅 4.6 × 高 15.9
142	ケベニのシャブティ	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	ファイアンス（彩色陶器）	幅 15.5 × 奥行 12.5 × 高 58.5
143	アセトウェレトの『死者の書』	プトレマイオス王朝時代（紀元前 304-30 年）	パピルス	縦 30.5 × 横 38
144	パケレルの『死者の書』	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1307-1196 年）	パピルス	縦 39 × 横 40
145	「パセルの神話」パピルス	第 3 中間期（紀元前 1070-712 年）	パピルス	縦 39 × 横 81
146	パクハルのパピルスホルダー	第 3 中間期、第 21 王朝（紀元前 1070-945 年）	木	幅 25 × 高 51.5
147	パディヌブのパピルスホルダー	末期王朝時代、第 26 王朝（紀元前 664-525 年）	木	幅 9 × 奥行 26 × 高 40
148	パディクヌムの供養碑	末期王朝時代、第 26 王朝（紀元前 580-530 年）	木、漆喰、彩色	幅 28 × 高 40.5
149	プタヘメスの偽扉	新王国時代、第 18 王朝（紀元前 1479-1425 年）	赤花崗岩	幅 80 × 高 166

150	家の模型	中王国時代（紀元前 1975-1640 年頃）	粘土	幅 25.5 × 奥行 29 × 高 13.5
151	夫婦の像	新王国時代、第 18 王朝（紀元前 1333-1323 年）	石灰岩	幅 66 × 奥行 77.5 × 高 115
152	高官三人の供養碑	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	石灰岩、彩色	幅 56 × 奥行 12 × 高 72
153	ペンレンヌの供養碑	新王国時代、第 19-20 王朝（紀元前 1250-1100 年）	石灰岩	幅 34 × 奥行 7.5 × 高 52
154	ホリの供養碑	新王国時代、第 19 王朝（紀元前 1250-1200 年）	石灰岩	幅 95 × 奥行 19 × 高 145
155	アメンエムハトの石碑	中王国時代（紀元前 2040-1640 年）	石灰岩	幅 50 × 高 79
156	プタハエムウィアのピラミディオン	中王国時代（紀元前 2040-1640 年）	石灰岩	幅 28 × 奥行 28 × 高 42
157	供物卓	初期王朝時代（紀元前 2920-2649 年）	石灰岩	径 34.5 × 厚 4.5
158	供物卓	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	石灰岩	長 37.5 × 幅 27
159	アメンエムカの葬祭コーン	新王国時代（紀元前 1550-1070 年）	テラコッタ（素焼きの焼き物）	長 20
160	ベルツォーニの肖像画	1820 年	紙	長 24 × 幅 29.3 × 厚 4
161	リトグラフ アンクホルと棺	1892 年	紙	縦 54 × 横 37.5
162	シャンポリオンのノート		紙	縦 18.4 × 横 13.3 × 厚 0.9
163	ロゼッタ・ストーン（レプリカ）			
164	ツタンカーメンの棺のミニチュア（※不出品）			
165	ツタンカーメンの棺のミニチュア（※不出品）			
166	ツタンカーメンの棺のミニチュア（※不出品）			
167	アンクホルのミイラの X 線写真			
168	宮殿護符アメンベトのセウエレットピース		紅玉髄	長 7
169	マウスプレート	末期王朝時代（紀元前 712-332 年）	金	長 1.8 × 幅 1.1
170	心臓形護符		ファイアンス（彩色陶器）、石	長 2.8-3.6 × 幅 2.2-2.8
171	ウジャト眼形護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 1.7
172	ウジャト眼形護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 2
173	ウジャト眼形護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 2
174	パピルス柱形護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 3.7
175	ティト形護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 2.2
176	上エジプトの王冠形護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 2.3
177	枕形護符		ヘマタイト（赤鉄鉱）	長 2
178	トト神形護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 3.6
179	ホルス神形護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 3.2
180	ハヤブサ形護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 2.2
181	三神群像護符		ファイアンス（彩色陶器）	長 2
182	スカラベ		石	長 2.4
183	ネジェムの心臓スカラベ		石	長 6
184	アブドミナルのスカラベ		石	長 3.8
185	サイドプレート		鉛	長 7.5 × 幅 5.1
186	指輪（14 個）		金	径 2.2-2.7
187	動物のミイラ	ローマ時代（1-2 世紀）	ミイラ、リネン（亜麻布）	幅 4.5 × 奥行 3.6 × 高 19
188	ハヤブサのミイラ	ローマ時代（1-2 世紀）	ミイラ、リネン（亜麻布）、砂、石膏	幅 8.6 × 奥行 5.1 × 高 35.8
189	ハヤブサのミイラ	ローマ時代（1-2 世紀）	ミイラ、リネン（亜麻布）、砂、石膏	幅 10.2 × 奥行 6.5 × 高 35.8
190	蛇のミイラの包み	ギリシア・ローマ時代（紀元前 332-紀元 200 年）	ミイラ、リネン（亜麻布）	幅 15.8 × 奥行 8.7 × 厚 6.3
191	ワニのミイラ	ギリシア・ローマ時代（紀元前 332-紀元 200 年）	ミイラ、リネン（亜麻布）	幅 28.5 × 奥行 3.6 × 厚 4.8
192	ワニのミイラのマスク	ギリシア・ローマ時代（紀元前 332-起源 200 年）	漆喰	長 37.5 × 幅 27.5 × 厚 1
193	ネコのミイラ	ギリシア・ローマ時代（紀元前 332-紀元 200 年）	ミイラ、リネン（亜麻布）	幅 10 × 高 47.5 × 奥行 9
194	ネコのミイラ棺	末期王朝時代（紀元前 712-332 年）（推定）	ブロンズ（青銅）、ガラス	高 47.5
195	トキの小像	新王国時代、第 18 王朝（紀元前 1550-1307 年）	木材、金箔、ブロンズ（青銅）	長 15 × 高 12.5
196	トキのミイラ	ローマ時代（1-2 世紀）	ミイラ、リネン（亜麻布）	長 40.5 × 幅 17.5 × 高 12.5

5. 高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。 スタジオジブリ・レイアウト展

会 期：2011年2月26日(土)～5月22日(日) [予定]

＊東日本大震災による臨時休館のため3月12日～中断

会 場：企画展示室 A-1・2・3、B

休館日：2月28日(月)、3月7日(月)

観覧料：一般・大学生 1,200(1,000) 円／中・高校生 900(700) 円／
小学生 600(400) 円

＊()内は前売および20名以上の団体料金

観覧者数：8,831名(2011年3月11日まで)

担 当：宮武 弘、増淵鏡子、伊藤 匡

主 催：福島民友新聞社、福島県立美術館

共 催：福島中央テレビ

後 援：県小学校長会、県中学校長会、県高等学校長協会、
県私立中学高等学校協会、県全私立幼稚園協会、県PTA 連合会、
県文化振興事業団、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、
県商工会連合会、読売新聞東京本社、Teny テレビ新潟、
宮城テレビ、ふくしま FM

協 力：EPSON、ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン

企画制作協力：スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館

協 賛：ダイユーエイト、リオン・ドール コーポレーション

【概要】

「となりのトトロ」「千と千尋の神隠し」などの優れたアニメーション映画制作で知られるスタジオジブリ。ジブリアニメ制作の核となる「レイアウト」1,300点あまりを展示し、その魅力を紹介した。本展は福島民友新聞社、福島中央テレビの3者による実行委員会方式で開催された。

アニメーション制作における「レイアウト」とは、背景とキャラクターの位置関係や動きの指示、カメラワークや撮影処理に至るまで、そのカットで表現されるすべての要素を描き込んだ、映画の設計図にあたるものである。アニメーション映画をテーマとする企画展は当館として初めての開催となったが、国民的人気を誇るジブリアニメを紹介する展覧会だけに、初日より多数の観覧者が訪れ、会場は賑わいを見せた。

本展は福島民友新聞社、福島中央テレビの3者による実行委員会方式で開催された。

しかし、会期12日目を迎えた3月11日に発生した東日本大震災の被害によって美術館は翌日より臨時休館。これにともない、本展会期も一時中断されることとなった。



B2 ポスター



チラシ



カタログ表紙

□印刷物

- ・ポスター 2 種 (B1/B2)、チラシ 2 種 (A4 縦 / 横)、観覧券、案内ハガキ

- ・図録 (29.8 × 23cm 408 頁)

図版：カラー 377 頁

本文：はじめに／展示物「レイアウト」について／用語解説／

作品年表／作品リスト

「レイアウトはアニメーション映画制作のキ・ポイント」

高畑 勲 (映画監督)

「レイアウト変遷史」大塚康生 (アニメーター)

「映画『ゲド戦記』を制作しながら学んだ、絵コンテとレイアウトの重要性」宮崎吾郎 (映画監督)

「ジブリアニメの二つの遠近法」藤森照信 (建築史家、建築家)

「24 分の 1 コマの核」行定勲 (映画監督)

「動画の卵」山口 晃 (画家)

「宮崎駿のレイアウトと『アルプスの少女ハイジ』の革命」

小黒祐一郎 (ライター、編集者)

□関連主要記事 (2011 年 3 月 31 日まで)

- ・「本紙 115 周年事業ジブリ展 来月 4 日前売り開始」『福島民友』
2010 年 11 月 11 日
- ・「会場づくり本格化 福島で 26 日開幕」『福島民友新聞』
2011 年 2 月 17 日
- ・「体験コーナー準備着々 トトロケーション設置」『福島民友新聞』
2 月 21 日
- ・「ポニョの看板お目見え JR 福島駅東口に設置」『福島民友』
2 月 22 日
- ・「『千と千尋』の世界完成」『福島民友』年 2 月 23 日
- ・「ショップ準備万端」『福島民友』2 月 24 日
- ・「あす待望の開幕 準備万全でお出迎え」『福島民友』2 月 25 日
- ・「ジブリの魅力に迫る レイアウト展きょう開幕」
「感動 ジブリの世界観 レイアウト展の内覧会」
『福島民友』2 月 26 日
- ・「ジブリの『設計図』展示」『読売新聞 (福島県版)』2 月 26 日
- ・「スタジオジブリ・レイアウト展開幕」『福島民友』2 月 27 日
- ・「初の日曜日に多くの来場者」『福島民友』2 月 28 日
- ・「福島でジブリ展 高畑勲、宮崎駿の両監督作品 1300 点」
『毎日新聞 (福島県版)』3 月 4 日
- ・「ジブリの秘密公開 『ナウシカ』など 1300 点」『河北新報』3 月 8 日
- ・「県立美術館休館 ジブリ展も中断」『福島民友』3 月 13 日



開会式 (2/25)



特別内覧会 (2/25)



展示風景



特設グッズ売り場 (エントランスホール)

普及事業

◆館内解説

当館では、随時要請に応じて、以下のような館内解説を行っている。また、常設展における解説シートの作成、ギャラリートークなどとの連携により、効果的な美術館ガイダンスをめざしている。

□団体解説

学校教育や学習センター等の社会教育活動の活発化に伴い、団体で美術館を訪れる機会も増えている。そのほとんどが展覧会や館内の案内・解説を希望するため、学芸員が交替で対応している。通常は他の展覧会鑑賞者への配慮から、展示室外での解説を行っている。内容は当館の概要、および代表的な収蔵品の解説、コレクション展ならびに企画展の解説案内が中心である。

4月12日～3月11日の開館期間での団体総数は170件、のべ6,559人。そのうち解説を行った団体数は96件、のべ4,543人であった。

□質問電話

当館では、展示室の各所に「質問電話」を設置し、展示品や美術全般についての観覧者からの質問に答えている。学芸員が直接応答するユニークなホットライン・サービスである。

◆鑑賞講座

国内外のさまざまな時代の美術について、多様な視点から作家・作品を解説し、楽しみながら美術への関心を高める講座である。前年度に引き続き、館長・酒井哲朗による近代日本美術史講座を開講した。

館長講座「近代の日本美術を語る」（事前申込制・30名参加）

	開催日時	テーマ
第58回	4月17日	秋田県立近代美術館の名品
第59回	5月15日	明治美術の諸相 主題をめぐって
第60回	6月19日	明治美術の諸相 其の二
第61回	7月17日	明治美術の諸相 其の三
第62回	8月21日	明治美術の諸相 其の四
第63回	9月18日	大正期の美術―藝術と人生 其の一

	開催日時	テーマ
第64回	10月16日	大正期の美術―藝術と人生 其の二
第65回	11月20日	大正期の美術―藝術と人生 其の三
第66回	12月18日	大正期の美術―藝術と人生 其の四
第67回	1月15日	大正期の美術―藝術と人生 其の五
第68回	2月19日	大正期の美術―藝術と人生 其の六
※第69回（3月）は震災による臨時休館のため中止。		

◆キッズ・レクチャー

「アート・キューブ」を使ってコレクション展を楽しむ小学生対象の美術鑑賞講座。年2回開催。

日 程：2010年6月 6日(日)「ポーシャンおじさんの庭を探検」 … 小学生8名、保護者7名

2011年2月13日(日)「コレクション展を楽しもう！」 … 小学生4名、保護者4名

案 内：橋本淳也、吉村有子（当館主任学芸員）



◆博物館実習の受け入れ

博物館学芸員資格取得に必要な「博物館実習」について、当館での受講希望の学年を毎年受け入れている。今年度は下記の日程に基づき、当館学芸員が講義・指導を行った。

2010年度博物館実習 日 程：2010年7月27日(火)～8月1日(日)（計6日間）

実習生：6大学 計9名受講

◆実技教室

実技教室は、実制作の体験を通して、表現の喜びを味わい、美術について理解を深めるための、子供から大人まで様々な年齢・対象に応じた実技・実習プログラムである。それぞれの対象に応じた美術の本来的な創作の体験・過程を重視し、リラックスしてあれこれ思いをめぐらしながら取り組めることを何よりも大切にして、十分な時間を設定したプログラムを実施している。

美術館では通常、以下の5種類の各種教室・講座を行っている。一般初心者を対象に、じっくりと作品制作に取り組める「実技講座」、美術の様々な技法を紹介・体験する「技法講座」、親子で美術に親しむことを目的とした「親子の美術教室」、小学生を対象とした「わんぱくミュージアム」、中学生から一般まで気軽に創作を体験できる「一日創作教室」である。

また、2010年度は特別に厚生労働省の「安心こども基金」を県の9月補正予算に組み込んだ「子どもの創造力アップ事業」として「親子で安心・手作りアート教室」を開催した。

＜実技講座＞	
①「裸婦を描く」	受講者数 12 名
講師：北折 整氏（東北生活文化大学生生活美術科教授） 日程：2010年5月30日(日)・6月6日(日)・13日(日)・20日(日)（4回連続） 概要：ルネッサンスから印象派の裸婦の作例を画集で見て参考にした後、裸婦モデルの様々なポーズのクロッキーを経て、F 15号のキャンバスに固定ポーズを見ながら油彩やアクリルなどで描いた。	
②「失われた画術—エンカウスティーク：ミイラ達の絵画技法」	受講者数 9 名
講師：赤木範陸氏（画家、横浜国立大学教育人間科学部准教授） 日程：2010年10月9日(土)・10日(日)・16日(土)・17日(日)（4回連続） 概要：古代ローマからエジプトに伝承された2,000年前の蜜蝋を使ったエンカウスティークという絵画技法を扱い易く改良した技法でF 8号の画面に、身近な静物や動物を描いたり、古い絵の模写などをした。	
③「木彫で作る身近な生き物」	受講者数 8 名
講師：新井 浩氏（福島大学人間発達文化学類教授） 日程：2010年10月30日(土)・31日(日)・11月7日(日)・14日(日)・21日(日)・28日(日)（6回連続） 概要：身近な生き物をモチーフに、米ヒバ材（12cm角、長さ25cm）を素材に材木の形状、木目の方向で生じる強度の違いを考慮して彫刻のアイディアを練り、面の組み立て、立体の凹凸など彫刻における造形性を意識しながら制作した。	

＜技法講座＞	
①「紙で作るポップなオブジェ」	受講者数 13 名
講師：安座上真紀子氏（造形作家） 日程：2010 年 8 月 28 日(土)・29 日(日)（2 回連続） 概要：様々な色、厚み、テクスチャーの異なる紙やスチレンボード、両面テープを材料に工夫しながら、ティーポット、ハイヒール、スノードームなどの日常をとりまくものを題材にした紙のオブジェを作った。	

＜親と子の美術教室＞	
①「紙でつくる夢の家—私がハウプランナーだったら」	受講者数 9 組 21 名
講師：三浦浩喜氏（福島大学人間発達文化学類教授） 日程：2010 年 5 月 5 日(木) 概要：こんな家に住みたい！そんな思いをこめた私だけの家を、紙の切断、折り、接着等ペーパークラフトの基本を踏まえながら作った。さらに蛍光ペンを塗ったり蛍光カラーの色紙を貼って仕上げ、暗い部屋に並べてブラックライトを当て街の夜景を楽しんだ。	
②「ビックリ工作連発大会」	受講者数 7 組 16 名
講師：芳賀 哲氏（角田幼稚園長） 日程：2010 年 9 月 26 日(日) 概要：牛乳パックや厚紙、ストローなど身近な材料を使ってブーメランや竹とんぼ、紙パズル、ペープサート、フリスビー、コマ、シンバル人形など、簡単に作って遊べる珍しいおもちゃ作りを楽しんだ。	
③「金属でつくる X'mas キャンドルスタンド」	受講者数 7 組 20 名
講師：佐々木里恵氏（金属造形作家、「空工房」主宰） 日程：2010 年 12 月 23 日(木) 概要：融点が低く柔らかで銀色に輝くスズを熱して溶かし、木槌や金槌で叩いて伸ばしたり、鏡のように磨いたりして手作りのキャンドルスタンドを仕上げ、エントランスホールで手作りのロウソクを灯して鑑賞した。	

＜わんぱくミュージアム＞	
① 胸さわぎの夏休み展関連ワークショップ&ファイヤー・パフォーマンス「ラッキードラゴンとトラやんの夏休み」	受講者数 13 名
講師：橋本淳也（当館主任学芸員）、大学生ボランティアスタッフ 日程：2010 年 8 月 6 日(金) 概要：講堂でヤノベケンジ作の絵本「ラッキードラゴンのおはなし」のスライド上映と朗読、展示室の作品鑑賞をした後、自分だけのラッキードラゴンを発泡スチロールと、水中モーターを組み合わせて作り、途中パフォーマンスを見てから美術館の池に浮かべて遊んだ。	

②県立美術館・図書館にアクアマリンがやってくる！関連ワークショップ「アートな水族館」	受講者数 21 名
講師：橋本淳也（当館主任学芸員） 日程：2010 年 11 月 20 日(土) 概要：アクアマリンの移動水族館で熱帯魚やヒトデなど海に棲む生き物をさわって楽しんだ後、それぞれが思い浮かべる夢の魚を文章にしてから絵に描き、発泡スチロールの板に貼って切り抜きエントランスホールの壁に展示した。	

＜一日創作教室＞	
①「超軽量紙粘土で作る彫刻のスピードレシピ」	受講者数 12 名
講師：久慈伸一（当館主任学芸員） 日程：2010 年 7 月 18 日(日) 概要：乾きが速く重量が軽い超軽量紙粘土は即興性を生かして短時間に彫刻を作るのに適している。美術館の彫刻を鑑賞した後、粘土で人物の彫刻や仮面、動物の顔、人形、きのこのオブジェなど心材を工夫しながら仕上げた。	
②「スクラッチボードによる表現」	受講者数 5 名
講師：久慈伸一（当館主任学芸員） 日程：2010 年 12 月 2 日(日) 概要：厚紙に白色塗料を塗り、黒く表面処理したスクラッチボード（画面 30.5 × 22.9cm）を針等でスクラッチ（引っ掻く）して、白と黒の限られた要素で絵画空間を意識的に構築することを目標に、自由な構想の風景や動物等の作品を制作した。	

＜親子で安心・手作りアート教室＞	
①「糸のこで作る木のおもちゃ」	受講者数 5 組 11 名
講師：中井秀樹氏（木のおもちゃ作家） 日程：2011 年 2 月 6 日(日) 概要：サルにバナナ、楽器に音符など関連性のあるものを組み合わせ、釣りゲームして遊べる木のおもちゃを、ブナ材の合板やたこ糸を材料にして電動糸のこやドリルを使って作った。	
②「七宝で作るアートな動物」	受講者数 6 組 16 名
講師：春田幸彦氏（七宝彫金造形作家） 日程：2011 年 3 月 6 日(日) 概要：厚さ 0.5mm の銅板に動物や魚、鳥などをデザインした下絵の輪郭を写し、金切りばさみで切って、折り曲げて造形し、七宝絵の具を塗って窯で焼き上げて仕上げた。	

◆学校連携事業

□先生のための美術館入門（事前申込み制）

美術鑑賞教育の新たな展開を模索する目的で、先生を対象に広く参加者を募り、より実践的な普及・研究活動を目指して開催している。教師用手引き書『教師のためのやさしい美術館ガイドブック「美術館を楽しもう！」』をもとに美術館の利用方法・状況を紹介。また鑑賞用補助教材「アート・キューブ」やワークシートなどを使用した鑑賞活動例を報告し、その効果を検証している。そして、企画展を鑑賞しギャラリートークや講演会を通して内容と見どころを解説した。

学校の窓口である先生を通して、子供たちの鑑賞活動を啓発するとともに、学校・美術館における美術や美術教育に関する幅広い情報交換が行なわれる機会となっており、団体見学などの当館事業への参加につながるケースも少なくない。

日 時：企画展開催期間中の1日 2時間程度

場 所：美術館講義室・展示室

対 象：小・中・高校教師

内 容：教師用ガイドブックによる美術館利用方法の紹介及び鑑賞用教材の使用実践報告と検証。

企画展をギャラリートーク・講演会などとあわせて鑑賞。

講 師：企画展担当学芸員、学校連携担当学芸員

経 費：交通費は参加者の自己負担とし、企画展の観覧料を免除する。

教師用手引き書と「アート・キューブ」ガイドブック、パンフレットを無償配布する。

【2010年度の開催概要】

2010年 7月22日(木) 「胸さわぎの夏休み展」 参加人数：53名 ※福島市小教研図工部会共催

2010年 8月 5日(木) 「胸さわぎの夏休み展」 参加人数：40名 ※福島市中教研美術部会共催

2010年 11月18日(木) 「古代エジプト 神秘のミイラ展」 参加人数：11名 ※福島県教育センター共催

□学校連携共同ワークショップ

現在活躍中の作家を講師に招き、学校を会場に子供たちと創作活動を行なう出張ワークショップである。子供たちが作家との交流や作品制作を通して「美術」を肌で感じ、美術や美術館により親しんでもらうことを目的に開催している。学校の通常の1～2時間単位の授業とは異なり、活動に集中する十分な時間と環境を確保できるように半日～1日の時間を設定している。また、学校ではあまり取りあげられていない題材や素材、技法などを紹介し新鮮な体験となるように配慮している。さらに、美術館も学校を訪問することで、児童・生徒の美術館への来館を促すとともに、地理的に美術館を利用しづらい地域の学校へも事業の還元・普及をはかるという狙いもある。

2010年度は、企画展「胸さわぎの夏休み」に関連した2つのワークショップを開催した。企画展期間中、子供たちの作品を館に移送して展示した。夏休みを利用して、参加者が家族や友人らと遠方からも来館する姿が数多くみられた。

日 程：4月～5月：広報、参加校募集期間

6月 ：受講通知・日程調整、

代表者会議（講師・担当教諭各校1名・担当学芸員、於：美術館講義室）、内要調整・準備

6月～7月：ワークショップ開催 各学校半日～2日

7月～8月：紹介展示（於：美術館企画展示室・休憩室）

場 所：各学校（教室・視聴覚室など）

対 象：県内中学校2校・高校2校 各40名程度

経 費：材料費のみ各学校で準備

【2010 年度「学校連携共同ワークショップ」概要】

①ベジタブル・ウェポン プロジェクト

講師：小沢 剛氏（「胸さわぎの夏休み」展出品作家、現代美術家）

- (1) 6月29日(火)、7月6日(火) 対象：双葉郡榑葉町立榑葉中学校2年生27名 担当：廣川 豪 教諭
 (2) 7月5日(月)、7月14日(水) 対象：福島市立福島第四中学校美術部25名 担当：高萩弘一 教諭

「胸さわぎの夏休み」展出品作「ベジタブル・ウェポン」同様、野菜の銃をつくる行為を通して生じる「出来事」を体感するワークショップを開催した。

初日は、前半「美術って何だろう？アートに何ができるのか？」という問いかけに始まり、小沢氏のこれまでの活動を紹介した。後半は「ベジタブル・ウェポン」をスライドで見ながら、世界各地で制作された作品についてのエピソードが語られ、続いて今回の手順（①モデルを探し交渉する。②モデルに料理を一品提案してもらう。③料理に使う野菜などの食材を準備。④食材を組み合わせて銃の形を作る。⑤モデルが食材でできた銃を持ち、撮影する。⑥銃を解体、調理してみんなで食べる。）が説明された。次回までの1～2週間の間に、この手順にしたがって宿題形式で各自が制作することとし、「モデルを撮影した写真」「各工程の記録写真」「料理のレシピ」など、制作中のドキュメントを4つ切り画用紙1枚にレイアウトして仕上げた。

2日目は、生徒たちがまとめた作品を発表した。モデルになった家族や友人の反応、初めて作る郷土料理や制作の感想など、ユニークでほのぼのとした作品とエピソードが数多く発表され、家族や友人の普段見ることのなかった新しい一面に気づいたとの報告も多かった。

生徒たちにとって美術とは「絵画や彫刻などの作品をつくる事」という固定概念があったが、今回の体験を通して美術への視野の広がりを感じることができたワークショップになった。

②わくわくドキドキ世界一決定戦！

企画：イチハラヒロコ氏（「胸さわぎの夏休み」展出品作家、現代美術家）

講師：箭内新一氏（京都造形大学講師、現代美術家）、武田俊彦氏（京都造形大学講師、現代美術家）

- (1) 7月8日(木) 対象：福島県立明成高等学校3年生63名 担当：伊藤靖幸 教諭
 (2) 7月9日(金) 対象：福島県立福島西高等学校1～3年生13名 担当：赤城修司 教諭

言葉や文字を使って制作するイチハラ氏企画の「言葉をつくる、言葉で遊ぶワークショップ」を開催した。

前半は、大阪出身の武田氏による「擬音で道案内」。「があ～行って、ギョーで曲がってドーン行っただとこ」の様に大阪弁特有の道案内をまず紹介し、これを福島の方言で置き換えて実際に校舎内を道案内する試みを行った。声に出すことで更に感情が込められ、ニュアンスも変化する面白さを感じると同時に、普段触れることの少なくなった土地の言葉の魅力を再認識する機会となった。

後半は、箭内氏による「わくわくドキドキ世界一決定戦！」（言葉の戦いなんて他にやっていないので勝てば即世界一という意味）。平仮名、片仮名限定で「わくわく」「ドキドキ」のように2回くり返すオリジナルな「言葉」を生み出すワークショップ。5～6人グループに分かれて、5分間で自分の知っている限りのくり返す言葉をA4用紙に書き出した。次に、今までに聞いたことのないくり返す言葉を2分間でできるだけ多く考えて書き出した。一人一つの言葉に絞り「どんな時にどんな使い方をする言葉か。」を考え、グループ内で討議して代表の言葉を決めた。最後に代表作品の作者が大きな声で読み上げてグループ対抗の勝ち抜き戦を行った。場内の拍手の大きさと勝敗を決し、学校代表の「言葉」を決定した。8月1日に当館を会場に開催したワークショップ「わくわくドキドキ世界一決定戦！FINAL」に進出し公募作品と世界一の座を競いあった。

普段気にもとめずに使っている「言葉」を素材に遊び心をフル活用して表現する面白さと、オリジナルのものを生み出す難しさの一端を感じさせてくれるワークショップとなった。

・紹介展示

会期：7月17日(土)～8月29日(月)

※「わくわくドキドキ世界一決定戦！」作品は8月1日(火)～29日(月)

会場：美術館企画展示室・休憩室

内容：企画展「胸さわぎの夏休み」展と会期をあわせて、ワークショップ概要、活動記録写真、全生徒作品を展示した。



榑葉中学校



福島第四中学校



福島明成高校



福島西高校

◆美術館への年賀状展

福島県立美術館の新春恒例の事業として、県内の小中学生から寄せられた手作り年賀状をすべて当館エントランスホールに展示した。

作品の傾向は、干支の「卯」やお正月の風物をモチーフにした作品、明るく鮮やかな色づかいの作品が多かった。技法も工夫されていて、水彩絵の具・色鉛筆・ペンなどの様々な描画材を組み合わせで作った作品、スタンプや版画による作品、布や糸や色画用紙などを貼り込んだ貼り絵・コラージュによる作品、スクラッチ技法で描かれた作品などバラエティーに富んでいた。

また「なわとびがとべるようになりたい」「50m 泳げるようにがんばる」など、新年の目標やメッセージが書かれており、作品に込めた子供達の気持ちが率直に感じられた。また、授業などで作った作品をまとめて送付する学校の割合が高かった。

会 期：2011 年 1 月 10 日(月)～ 30 日(日)

応募数：小学生 710 通／中学生 10 通／学年不明その他 3 通 総計 723 通

学 年	小学 1 年	小学 2 年	小学 3 年	小学 4 年	小学 5 年	小学 6 年	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年
枚 数	358 通	102 通	25 通	70 通	137 通	18 通	8 通	1 通	1 通



展示風景



◆館外での活動

□講演／講義／委員等

- ・福島民友新聞社「ふるさとふくしまフォト・コンテスト」審査委員長：伊藤 匡
- ・第 64 回県展運営委員会委員：伊藤 匡
- ・斎藤清画伯顕彰協議会特別幹事：伊藤 匡
- ・福島市写真美術館運営委員：久慈伸一（2006 年度～継続）
- ・智恵子のまち夢くらぶ主催 智恵子講座'10「光太郎の彫刻と美」講師：久慈伸一 2010 年 10 月 11 日
- ・日本陶磁協会賞推薦委員：佐治ゆかり（2009 年度～継続）
- ・秋田県立近代美術館「洋画の KIRAKIRA 福島県立美術館名品展」ギャラリートーク講師：堀 宜雄
2010 年 6 月 26 日
- ・東北芸術工科大学大学院「文化財保存学特講」非常勤講師：堀 宜雄 2010 年 10 月～2011 年 1 月
- ・東京都写真美術館「芸術写真の精華」展図録執筆：堀 宜雄 2011 年 3 月 8 日発行
- ・歴史春秋社『信夫』執筆：堀 宜雄、増渕鏡子 2010 年 10 月発行
- ・小杉放庵記念日光美術館「小杉放庵と喜多方美術倶楽部の人びと展」ギャラリートーク講師：増渕鏡子
2010 年 5 月 1 日
- ・福島大学「芸術による地域創造研究所」プロジェクト客員研究員：増渕鏡子、橋本淳也（2009 年度～継続）
- ・東白川郡小学校教育研究会図画工作研究部実技研修会講師：橋本淳也 2010 年 7 月 23 日
- ・西会津国際芸術村「第 5 回西会津国際芸術村公募展」審査員：橋本淳也 2010 年 9 月 20 日

◆その他の事業

□福島県立図書館との連携事業「アートな おはなしかい」

県立図書館での絵本の読み聞かせと、美術館常設展示室での「アート・キューブ」を使った鑑賞ワークショップを組み合わせた事業。

日時：2010年7月31日(日) 午前(10時～11時30分)と午後(14時～15時30分)の2回開催

参加者：午前の回31名／午後の回18名

案内：真柴 毅氏(アート・キューブ開発者、福島県立本宮高等学校教諭)、
富岡進一氏(郡山市立美術館学芸員)、佐藤真理恵氏・小林沙織氏(福島県立図書館副主任司書)、
橋本淳也・吉村有子(当館主任学芸員)

□アクアマリンふくしま、県立図書館との連携事業

「県立美術館・図書館にアクアマリンがやってくる！」(福島県・いきいき地域文化活力創出事業)

県立美術館、図書館、アクアマリンふくしまの3館による連携事業。アクアマリンふくしまで前年に行った大漁旗コンクール「小名浜国際大漁旗デザイン展」の入選作品60点を美術館・図書館前庭に展示するとともに、アクアマリンの移動水族館「アクアラバン」による水槽やタッチプールの展示、発泡スチロール板で魚を作るワークショップ、図書館での移動図書館、読み聞かせなど様々なイベントを行った。

主催：福島県立美術館、福島県立図書館 協力：アクアマリンふくしま

会場：福島県立美術館、福島県立図書館 担当：増渕鏡子(当館主任学芸員)

〈美術館事業〉

- ・「大漁旗展示」11月20日(土)～12月5日(日) 美術館・図書館前庭
- ・「アクアマリン移動水族館」11月20日(土)、21日(日) 10:00-16:00 美術館・図書館前庭 参加400名
- ・美術館ワークショップ「アートな水族館」11月20日(土) 10:00-14:00 美術館エントランスホール 参加21名
講師：橋本淳也(当館主任学芸員)

〈図書館事業〉

- ・移動図書館「水の生き物の本 大漁まつり」11月20日(土)、21日(日) 10:00-16:00
- ・読み聞かせ「海のおはなし」11月20日(土) 14:00-
- ・図書館内展示「水の生き物の本」11月13日(土)～28日(日)



大漁旗展示



移動水族館



ワークショップ

□学生ボランティア

2008年度から、図書整理作業の補助として福島大学の学生・卒業生に活動をしてもらっていたが、本年度は「胸さわぎの夏休み」展関連作業の補助ということで、時期と作業内容を絞って協力をしてもらった。参加者は20名。作品展示、撤去の補助、関連事業のアシスタント、展覧会広報活動、展覧会に合わせて開催した学校連携協同ワークショップアシスタントなどが主な活動内容であった。募集にあたっては、渡邊晃一准教授(福島大学人間発達文化学類)の支援をいただき、美術に携わる学生の参加がほとんどであった。

現存作家との協働、展覧会の裏側を知り、参加するという経験は学生にとって意味のあるものだったと思われるし、若い人たちをターゲットにした展覧会を運営する美術館にとっても広報等の面で広がりを持つことができ、有意義な活動であった。

◆広報活動

- ・美術館案内パンフレット、ミュージアムカレンダー、美術館ニュース等を館内で配布。
- ・企画展ごとにポスター、チラシ等を配布。
- ・県発行の広報誌に事業案内を掲載。
- ・その他、随時広報活動を行った。

□ 2010 年度 新聞掲載記事一覧

【常設展示】

- ・「新コレクション紹介 県立美術館で内覧会」『福島民友』2010 年 4 月 17 日
- ・「新収蔵ルノワールやルオー きょうから初披露」『福島民報』4 月 17 日
- ・「ルノワールら一流作品展示 25 周年の県立美術館」『毎日新聞（福島県版）』4 月 17 日
- ・「25 年目の贈りもの展開幕 新購入の 162 点公開」『福島民報』4 月 18 日
- ・「新収集の名画に見入る 常設展が開幕」『福島民友』4 月 19 日
- ・「＜みんなのひろば＞ルノワールなど県美が一挙展示」『福島民報』4 月 28 日
- ・「＜窓＞素晴らしい絵画 購入英断に感謝」『福島民友』10 月 26 日

【教育普及】

- ・「自分だけの家ができた!! 県立美術館が親子教室」『福島民報』2010 年 5 月 8 日
- ・「＜奥の細道＞アートなおはなしかい」『福島民友』8 月 1 日
- ・「親子一緒におもちゃ工作 県立美術館教室」『福島民報』10 月 14 日
- ・「小中学生応募の手作り年賀状展」『毎日新聞（福島県版）』2011 年 1 月 11 日
- ・「個性光る年賀状 723 通 福島・県立美術館」『福島民友』1 月 12 日
- ・「一枚の年賀状に真心込めて はり絵、コラージュも 県立美術館への 723 通」『福島民報』1 月 14 日
- ・「小中学生の手作り年賀状」『読売新聞（福島県版）』1 月 16 日

【友の会・協力会】

- ・「8 月の巨大ロボ展示支援 県立美術館協力会の総会」『福島民報』2010 年 5 月 27 日
- ・「県立美術館に DVD 贈る 友の会が総会」『福島民報』5 月 31 日
- ・「益金で DVD 贈る 県立美術館友の会」『福島民友』6 月 6 日
- ・「県立美術館協力会に 30 万円 斎藤清画伯顕彰協が寄付」『福島民報』6 月 16 日
- ・「斎藤清顕彰協が寄付 30 万円送る 県立美術館協力会へ」『福島民友』6 月 25 日
- ・「県立美術館友の会 23 日にアートバザー」『福島民友』11 月 19 日
- ・「23 日アートバザー 書籍やグッズ並ぶ 県立美術館友の会」『福島民報』11 月 21 日
- ・「アートバザーに作品や図録 500 点」『毎日新聞（福島県版）』11 月 24 日

【震災関連報道】

- ・「県立美術館休館 ジブリ展も中断」『福島民友』2011 年 3 月 13 日
- ・「東日本地震 美術・博物館が損壊 展覧会中止も相次ぐ」『日本経済新聞』3 月 19 日
- ・「文化センターなど県 6 施設 再開めど立たず」『福島民報』3 月 26 日

【その他】

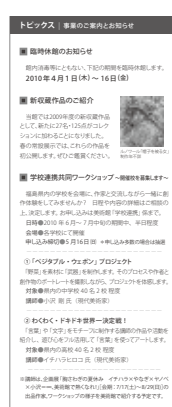
- ・「県教委『教育ネットワーク』 666 施設が一時接続不能 学校や美術館」『福島民友』2010 年 8 月 20 日
- ・「福大生がマップ作製 県立美術館周辺散策しませんか」『福島民友』9 月 3 日
- ・「県立美術館もっと親しんで 福島大の学生 周辺マップ作成」『福島民報』9 月 3 日
- ・「県立美術館・図書館にアクアマリンがやってくる!」『福島民報』11 月 12 日
- ・「アクアマリンが来る! 20 日から 県立美術館、図書館に」『福島民友』11 月 17 日

- ・「海の生き物に歓声 県立美術・図書館で移動水族館」『福島民友』11月21日
- ・「県立美術館、図書館、アクアマリン 3館連携企画スタート」『福島民報』11月21日
- ・「県立美術館運営協新委員など承認 県教委」『福島民報』12月18日
- ・「県立美術館連協委員 10人を決める」『福島民友』12月18日
- ・「福島大 美術館で英語学習 他校にノウハウ提供」『福島民報』2011年1月13日
- ・「＜奥の細道＞イングリッシュ アートバス」『福島民友』1月15日
- ・「海外気分、英会話バスツアー 美術館展示品 英語で解説」『福島民報』1月15日
- ・「レストラン『ミュゼ・ドウ・カナール』30周年の節目祝う」『福島民友』2月15日
- ・「入館者数が大幅増 22年度の県立美術館」『福島民報』2月17日
- ・「日本画『女二題』に染み 顔や腕、黒く 予算不足で補修できず」『福島民報』2月26日

◆出版発刊

□ 2010 年度刊行物一覧

	出版物名	規格	配布方法	内容
1	ミュージアム・カレンダー	B5判・四つ折り	無償	年間事業計画
2	美術館ニュース（年6回発行）	A4判・三つ折り	無償	2か月ごとの事業紹介
3	移動展リーフレット	A3判・二つ折り	無償	出品作品紹介
4	2008 年度年報	A4判・90頁	無償	事業活動報告
5	2009 年度年報	A4判・102頁	無償	事業活動報告



『美術館ニュース 150 号』



『2008 年度年報』

◆ホームページ

福島県立美術館ホームページは 1999 年 10 月 21 日に開設。2003 年 3 月 7 日、サーバ移行にともなう URL 変更を経て現在に至っている。展覧会や各種事業の紹介、所蔵品の解説等を掲載し、ウェブ上で利用者に提供している。

□ 2010 年 1 月～ 12 月のアクセス状況

リクエスト成功件数 *1	6,422,959
上記の日別平均	17,597
ページリクエスト成功件数 *2	433,831
上記の日別平均	1,118

- *1：アクセスしたユーザーが、正常にデータを読み込むことができた件数。サーバ上にあるファイルすべてを対象とする。
- *2：「リクエスト成功件数」と異なり、サーバ上のファイルのうち HTML ファイルのみ対象とした件数（ページビュー）。

調査研究

◆調査研究事項

- | | | | |
|---------------|--------------|----------|------------|
| (1)作家調査 | (2)作品調査 | (3)技法調査 | (4)美術史調査 |
| (5)保存関係調査 | (6)教育普及調査 | (7)展覧会調査 | (8)美術館運営調査 |
| (9)県内外の展示施設調査 | (10)美術館利用者動向 | | |

◆重点調査事項

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。当館では県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

2010年度は県内の美術支援者と作家との関係調査を重点的に行った。

◆企画展アンケート結果

アンケート記入方式：会期中毎日、展示室内に置かれたアンケートに観覧者が任意に記入。
数値は%で示し、1%未満は四捨五入した。

展覧会名	秋田県立近代 美術館名品展	アンドレ・ ポーシャン展	胸さわぎの 夏休み展	古代エジプト 神秘のミイラ展	追悼・伊砂利彦 回顧展
会 期 (開催日数)	4/17-5/16 (27 日間)	5/29-7/14 (39 日間)	7/17-8/29 (49 日間)	9/18-12/5 (43 日間)	1/15-2/13 (39 日間)
1- 性別					
女性	65.0	71.0	59.8	62.8	60.7
男性	35.0	29.0	40.2	37.2	39.3
2- 年齢					
10 歳未満	0.7	2.7	10.4	16.6	3.6
10 歳代	3.6	19.5	21.9	28.5	3.6
20 歳代	5.7	13.7	16.4	10.7	10.7
30 歳代	10.0	9.2	13.8	11.1	7.1
40 歳代	12.4	12.2	16.9	12.7	21.4
50 歳代	22.7	16.0	12.8	9.9	21.4
60 歳代	28.8	19.5	5.7	6.2	25.0
70 歳以上	16.1	7.3	2.1	4.4	7.1
3- 居住地					
県北	52.1	55.7	53.9	52.4	43.3
県中・県南	17.4	18.7	13.3	19.2	13.3
会津	5.4	4.2	4.4	8.7	0
浜通り	5.5	4.6	3.9	9.8	6.7
県外	19.6	16.8	24.5	10.0	36.7
4- 仕事					
勤めている	36.7	34.6	41.7	29.8	46.7
自営	7.3	5.8	4.9	3.7	16.7
主婦・主夫	27.2	17.3	8.9	8.6	16.7
学生・生徒・児童	5.9	23.8	35.2	40.4	6.7
就労はしていない	18.0	9.6	6.0	15.7	6.7
その他	5.0	8.8	3.4	1.8	6.7
5- 来館交通手段					
公共交通機関	18.2	25.7	15.8	8.0	6.7
タクシー	71.1	0.8	2.3	0.3	3.3
観光バス	0.4	7.3	2.3	0.7	0
自家用車・バイク	1.2	53.6	68.1	83.1	83.3
自転車・徒歩	8.5	9.6	11.1	7.8	6.7
その他	0.6	3.1	0.3	0.2	0

展覧会名	秋田県立近代 美術館名品展	アンドレ・ ポーシャン展	胸さわぎの 夏休み展	古代エジプト 神秘のミイラ展	追悼・伊砂利彦 回顧展
6- 来館人数					
1 人	33.2	35.6	29.5	12.4	33.3
2 人	44.5	32.6	32.4	29.1	36.7
3～5 人	18.4	14.9	30.8	50.5	16.7
6～9 人	3.3	1.5	3.4	3.8	13.3
10 人以上	0.6	15.3	3.9	4.2	0
7- 展覧会情報入手方法					
ポスター	13.4	19.7	17.0	15.7	3.1
美術館ニュース	9.2	7.4	8.0	3.6	12.5
美術館に来て	12.7	11.4	15.7	2.2	31.3
県政番組・県の情報誌	2.4	1.3	1.2	2.0	0
テレビの番組	6.6	10.0	1.2	16.4	0
テレビ CM	4.5	2.3	1.0	33.3	0
ラジオ	0.5	0.3	0.2	0.9	0
美術雑誌・全国情報誌	1.0	0	0	0.3	0
新聞・地域情報誌	19.1	11.4	7.0	12.8	6.3
折り込みチラシ	0.6	0.7	1.5	1.5	0
当館のホームページ	4.7	2.7	9.2	0.7	9.4
インターネット	7.8	6.7	6.5	7.4	12.5
友人・知人に聞いて	11.6	14.0	19.2	7.4	18.8
その他	5.9	12.0	12.2	1.5	6.3
8- 展覧会情報入手場所					
この美術館で	30.2	24.4	31.9	12.5	53.3
他の美術館・博物館で	4.6	2.6	3.0	1.7	6.7
学校で	2.6	13.9	14.3	11.3	0
職場で	6.3	6.4	6.8	3.5	3.3
街頭で	2.2	3.0	3.5	2.7	0
銀行や病院で	1.2	0.8	0.3	0.7	0
役所や公民館で	5.7	4.9	1.6	2.6	0
家で	34.6	30.8	23.8	61.8	23.3
その他	12.5	13.2	14.9	3.2	13.3
9- 展覧会の評価					
たいへんよい	43.7	37.9	51.2	50.8	70.0
よい	46.5	38.3	36.6	31.3	20.0
普通	9.4	22.0	8.2	13.2	10.0
あまりよくない	0.4	1.5	1.9	3.1	0
悪い	0	0.4	2.1	1.6	0
10- 来館回数					
はじめて	14.7	23.2	30.5	51.9	23.3
数年に 1 回	9.8	16.3	19.7	20.2	20.0
年 1 - 2 回程度	27.9	23.6	21.1	16.8	16.7
年 3 - 5 回程度	36.3	26.6	21.6	7.9	16.7
年 6 - 9 回程度	8.5	8.0	5.5	1.7	6.7
年 10 回以上	2.8	2.3	1.6	1.4	6.7
11- 企画展・常設展以外での当館の利用					
講演会	14.2	11.9	14.9	12.3	20.0
美術鑑賞講座	11.2	12.7	9.0	38.5	10.0
ギャラリートーク	15.9	10.4	12.8	8.5	10.0
映画会	6.1	6.7	8.0	3.1	0
実技講座	5.5	6.7	8.0	2.5	5.0
レストラン	39.6	44.8	39.9	29.9	45.0
その他	7.5	6.7	7.4	5.3	10.0
記入枚数					
記入枚数	2,120	267	384	2,593	30

◆常設展アンケート結果

アンケート記入方式：会期中毎日、展示室出口に置かれたアンケートに観覧者が任意で記入。
数値は%で示し、1%未満は四捨五入した。

展覧会名	25年目の贈りもの	コレクション展Ⅰ	コレクション展Ⅱ	コレクション展Ⅲ
会 期 (開催日数)	4/17-7/4 (69 日間)	7/10-10/3 (75 日間)	10/5-12/26 (72 日間)	1/5-3/11 (57 日間)
1- 作品数				
多い	21.6	29.2	34.8	12.3
適当	68.0	55.4	52.7	69.1
少ない	10.3	15.4	12.5	18.5
2- 展示の仕方				
大変良い	22.0	27.4	27.0	16.3
良い	32.0	34.1	35.0	37.5
普通	33.7	30.7	27.2	41.3
あまり良くない	9.3	6.8	8.2	3.8
悪い	3.1	1.0	2.6	1.3
3- 展示内容				
大変良い	23.0	25.8	24.1	21.5
良い	36.1	36.1	32.3	48.1
普通	24.1	30.6	32.7	25.3
あまり良くない	12.4	5.5	7.8	3.8
悪い	4.5	2.1	3.1	1.3
4- テーマ展示				
大変良い	—	—	—	—
良い	—	—	—	—
普通	—	—	—	—
あまり良くない	—	—	—	—
悪い	—	—	—	—
5- 企画展は見るか				
これから見る（すでに見た）	68.6	79.2	94.5	90.0
見ない	31.4	20.8	5.5	10.0
6- 性別				
女性	64.9	56.6	56.0	54.5
男性	35.1	43.4	44.0	45.5
7- 年齢				
10 代未満	2.9	13.3	20.0	0
10 代	25.4	34.9	35.6	18.9
20 代	14.3	8.3	9.3	23.0
30 代	7.5	9.7	8.7	10.8
40 代	10.7	16.9	10.7	17.6
50 代	15.4	7.2	7.9	13.5
60 代	15.4	7.2	4.6	10.8
70 代以上	8.6	2.5	3.2	5.4
8- 住まい				
福島市内	44.0	35.6	38.2	43.0
中通り	27.5	26.8	31.2	17.7
会津	3.4	6.0	10.1	2.5
浜通り	4.1	8.5	8.5	5.1
他県	21.0	23.2	12.1	31.6
9- 何人で来館したか				
1 人	34.1	18.5	13.8	33.8
2 人	30.0	35.2	21.1	35.1
3～5 人	18.3	36.9	52.2	15.6
6～9 人	2.1	4.5	4.7	2.6
10 人以上	6.9	0	0.4	13.0
20 人以上	8.6	4.9	7.9	0
10- 年間利用回数				
初めて	39.0	51.9	55.5	28.2
数年に1 回	17.1	20.0	20.3	16.7
年1～2 回程度	18.8	16.1	12.7	19.2
年3～5 回程度	16.4	8.8	4.8	23.1
年6 回以上	8.6	3.2	6.8	12.8
記入枚数	293	299	523	82

収 集

◆美術作品および美術資料の収集

□収集方針

収集の対象は、明治（近代）以降の優れた美術作品とし、美術史の流れを知る上で欠かせない優れた古美術も対象としている。具体的な方針としては、以下の4つを掲げている。

- (a) 福島県の出身もしくはゆかりのある作家、作品
- (b) 日本美術の流れを展望するにふさわしい作品
- (c) 海外の優れた美術
- (d) その他当館の収蔵作品としてふさわしい作品や美術資料

□収蔵作品数一覧（2011年3月31日現在）

種 別	購入点数	受贈点数	移管点数	合 計
海 外（絵画・版画・彫刻）	422	10	0	432
日 本 画	76	101	116	293
洋 画	109	281	98	488
素描・下絵	34	33	11	78
版 画	268	477	40	785
写 真	20	343	0	363
立 体	14	21	48	83
工 芸	76	39	33	148
書	0	1	36	37
美術資料	0	23	53	76
合 計	1,019 点	1,329 点	435 点	2,783 点

□2010年度収蔵作品

分野	作家名	点数
日 本 画	齋藤 隆	1 点
"	酒井 三良	1 点
洋 画	大岩 オスカル	1 点
"	小川 千襲	1 点
"	加藤 学	2 点
"	高橋 克之	4 点
"	西村 榮悟	2 点
"	村上 善男	2 点
"	山中 現	5 点
"	吉井 忠	1 点
版 画	小川 千襲	5 点
"	長谷川 雄一	5 点
"	丸山 浩司	1 点
"	山中 現	24 点
彫 刻	北郷 悟	1 点
美術資料	小川千襲関係資料	1 件（2 点）
"	山中 現	1 件
合 計		58 点

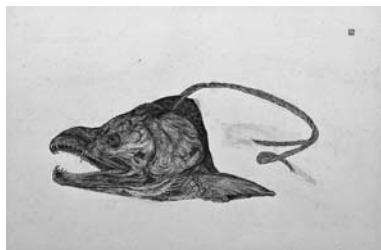
□新収蔵作品一覧

1. 齋藤 隆 (1943-)

鮭首ノートⅡ

1993 年
和紙・墨
59.4 × 88.0cm

齋藤隆氏寄贈



2. 酒井 三良 (1897-1969)

田家晩秋図

1924 年
紙本墨画淡彩
134.2 × 30.8cm

小川三郎氏寄贈

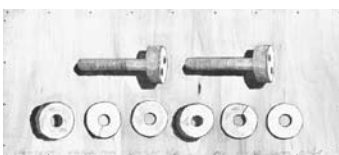


3. 大岩オスカル (1965-)

入れ歯

1991 年
合板・鉛筆、アクリル
140.0 × 45.0cm (6 枚)、
91.5 × 40.0cm (2 枚)、
91.5 × 170.5cm (2 枚)

大岩オスカル幸男氏寄贈



4. 小川 千甕 (1882-1971)

越後瀬波海岸の松林

1919 年
板・油彩
23.8 × 33.0cm

小川三郎氏寄贈

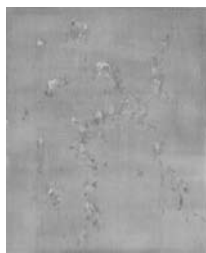


5. 加藤 学 (1961-)

無題

1996 年
麻カンヴァス・アクリル
162.0 × 130.3cm

加藤学氏寄贈

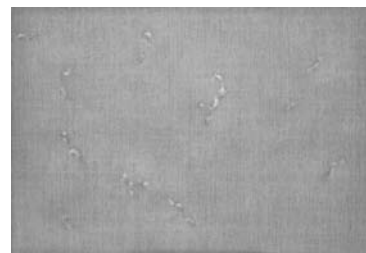


6. 加藤 学 (1961-)

無題

1998 年
麻カンヴァス・アクリル
112.1 × 162.1cm

加藤学氏寄贈



7. 高橋 克之 (1967-)

門の木 1

2009 年

パネル・油性ペンキ、水性ペンキ、アクリル、油彩
116.7 × 90.9cm 高橋克之氏寄贈



8. 高橋 克之 (1967-)

門の木 2

2009 年

パネル・油性ペンキ、水性ペンキ、アクリル、油彩
116.7 × 90.9cm 高橋克之氏寄贈



9. 高橋 克之 (1967-)

門の木 4

2009 年

パネル・油性ペンキ、水性ペンキ、アクリル、油彩
116.7 × 90.9cm 高橋克之氏寄贈

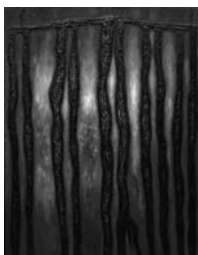


10. 高橋 克之 (1967-)

門の木 6

2009 年

パネル・油性ペンキ、水性ペンキ、アクリル、油彩
116.7 × 90.9cm 高橋克之氏寄贈



11. 西村 榮悟 (1927-)

遠い崖

1987 年

カンヴァス・油彩
125.0 × 158.0cm 西村榮悟氏寄贈



12. 西村 榮悟 (1927-)

草の風景

1989 年

カンヴァス・油彩
130.5 × 162.0cm 西村榮悟氏寄贈

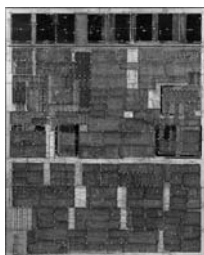


13. 村上 善男 (1933-2006)

津軽・赤倉山系大石神社越後屋千代吉帰還之圖・冬圖

1997 年

布・和紙、紐、アクリリック・カラー
227.4 × 181.7cm 村上美智子氏寄贈

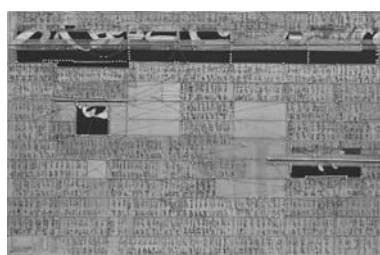


14. 村上 善男 (1933-2006)

鹽景之内赤倉山赤一文字圖

1999 年

布・和紙、紐、アクリリック・カラー
145.5 × 227.3cm 村上美智子氏寄贈

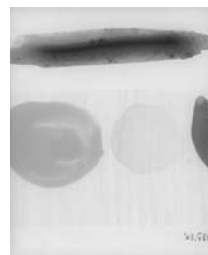


15. 山中 現 (1954-)

風の配列

2003 年

ガラス・アクリル絵具、油彩
14.5 × 11.8cm 山中現氏寄贈

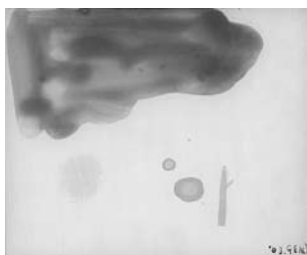


16. 山中 現 (1954-)

冬の日

2003 年

ガラス・アクリル絵具、油彩
11.8 × 14.5cm 山中現氏寄贈

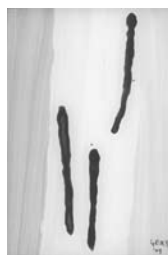


17. 山中 現 (1954-)

ここから

2009 年

ガラス・アクリル絵具、油彩
14.0 × 9.3cm 山中現氏寄贈



18. 山中 現 (1954-)

水のように

2009 年

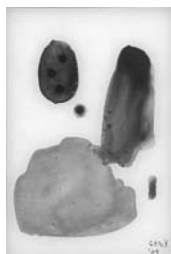
ガラス・アクリル絵具、油彩
9.4 × 14.0cm 山中現氏寄贈



19. 山中 現 (1954-)

ミドリノヒカリ

2009 年
ガラス・アクリル絵具、油彩
14.0 × 9.3cm 山中現氏寄贈



20. 吉井 忠 (1908-1999)

あだたら山

1949 年
カンヴァス・油彩
65.2 × 80.5cm 加藤好子氏寄贈



21. 小川 千甕 (1882-1971)

西洋風俗新大津絵 1. マルケンの少女

1914-15 年
紙・版画、着色
64.0 × 30.2cm 小川三郎氏寄贈



22. 小川 千甕 (1882-1971)

西洋風俗新大津絵 2. 巴里美人

1914-15 年
紙・版画、着色
63.5 × 30.0cm 小川三郎氏寄贈



23. 小川 千甕 (1882-1971)

西洋風俗新大津絵 5. 海水浴場所見

1914-15 年
紙・版画、着色
63.0 × 30.0cm 小川三郎氏寄贈



24. 小川 千甕 (1882-1971)

西洋風俗新大津絵 8. 南伊太利の飾り馬

1914-15 年
紙・版画、着色
63.5 × 30.2cm 小川三郎氏寄贈



25. 小川 千甕 (1882-1971)

西洋風俗新大津絵 17. 村の娘

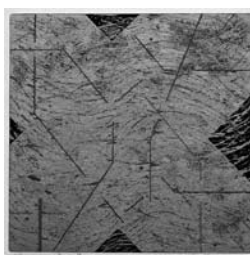
1914-15 年
紙・版画、着色
64.0 × 30.0cm 小川三郎氏寄贈



26. 長谷川 雄一 (1945-)

風の譜

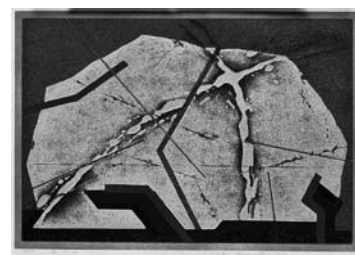
1990 年
紙・木版
47.3 × 48.4cm 6/20 長谷川雄一氏寄贈



27. 長谷川 雄一 (1945-)

或る日

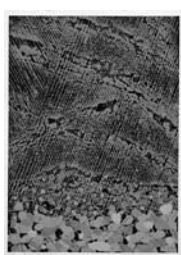
1995 年
紙・木版
35.0 × 50.8cm 7/16 長谷川雄一氏寄贈



28. 長谷川 雄一 (1945-)

雨の中の草花たち

2008 年
紙・木版
52.7 × 37.9cm 2/20 長谷川雄一氏寄贈



29. 長谷川 雄一 (1945-)

秋の夜の物語

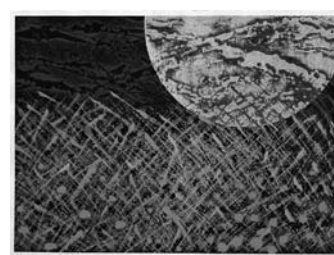
2008 年
紙・木版
51.8 × 36.4cm 15/20 長谷川雄一氏寄贈



30. 長谷川 雄一 (1945-)

月あかり

2008 年
紙・木版
50.6 × 69.5cm A.P. 長谷川雄一氏寄贈



31. 丸山 浩司 (1953-)

field of the dark 09-c

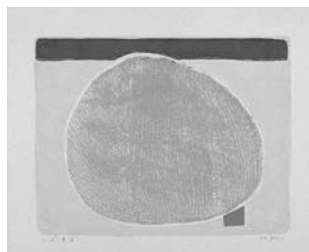
2009 年
紙・木版、油性絵具 (モノプリント)
52.0 × 80.0cm 丸山浩司氏寄贈



32. 山中 現 (1954-)

石の夢Ⅱ

1989 年
和紙・木版
33.4 × 42.8cm H.C. 山中現氏寄贈



33. 山中 現 (1954-)

浜辺の夢

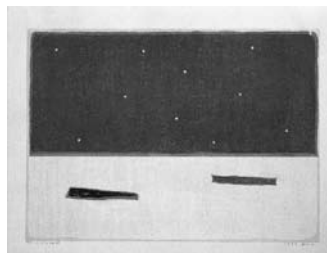
1989 年
和紙・木版
47.4 × 33.9cm A.P. 山中現氏寄贈



34. 山中 現 (1954-)

二つの時間

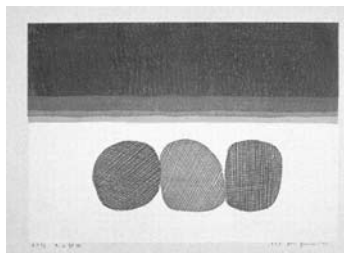
1994 年
和紙・木版
49.9 × 69.1cm T.P. 山中現氏寄贈



35. 山中 現 (1954-)

冬の静物

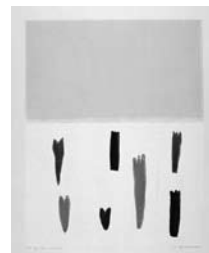
1999 年
和紙・木版
33.5 × 47.7cm A.P. 3/3 山中現氏寄贈



36. 山中 現 (1954-)

みどりのかたち

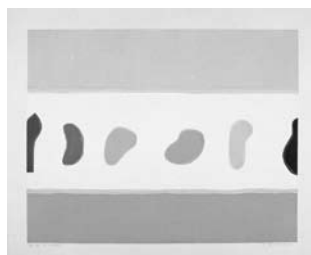
2000 年
和紙・木版
62.8 × 49.3cm A.P. 1/3 山中現氏寄贈



37. 山中 現 (1954-)

六つのかたち

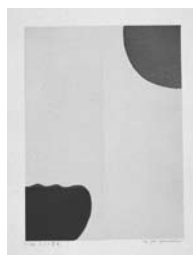
2000 年
和紙・木版
49.5 × 63.1cm A.P. 1/3 山中現氏寄贈



38. 山中 現 (1954-)

二つの茶色

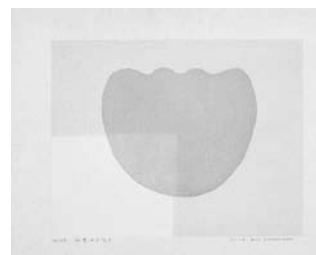
2002 年
和紙・木版
30.5 × 22.4cm 21/35 山中現氏寄贈



39. 山中 現 (1954-)

水色のかたち

2002 年
和紙・木版
22.9 × 29.2cm 16/35 山中現氏寄贈



40. 山中 現 (1954-)

星の信号

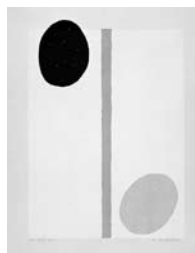
2005 年
和紙・木版
52.0 × 45.0cm 4/20 山中現氏寄贈



41. 山中 現 (1954-)

星座のために

2006 年
和紙・木版
51.0 × 36.4cm 13/35 山中現氏寄贈



42. 山中 現 (1954-)

星の行方

2006 年
和紙・木版
48.9 × 36.5cm 18/25 山中現氏寄贈



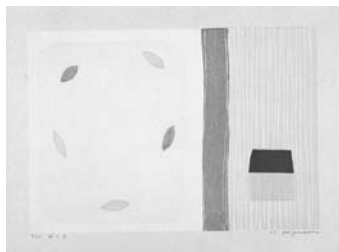
43. 山中 現 (1954-)

風の日

2008 年
和紙・木版

24.6 × 35.4cm 9/35

山中現氏寄贈



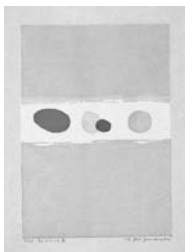
44. 山中 現 (1954-)

もうひとつの赤

2008 年
和紙・木版

22.7 × 16.0cm 9/45

山中現氏寄贈



45. 山中 現 (1954-)

夜よりほかに

2008 年
和紙・木版

22.9 × 16.0cm 9/45

山中現氏寄贈



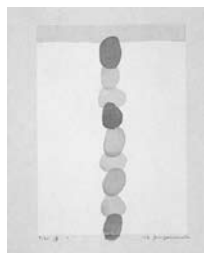
46. 山中 現 (1954-)

連

2008 年
和紙・木版

23.3 × 16.0cm 9/45

山中現氏寄贈



47. 山中 現 (1954-)

影について

2009 年
和紙・木版

48.5 × 36.3cm 1/25

山中現氏寄贈



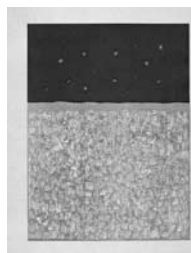
48. 山中 現 (1954-)

星宿

2009 年
和紙・木版

48.6 × 36.2cm 1/25

山中現氏寄贈



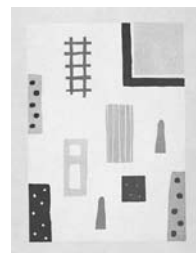
49. 山中 現 (1954-)

そのほかに

2009 年
和紙・木版

34.7 × 24.8cm 1/35

山中現氏寄贈



50. 山中 現 (1954-)

遠くまで

2009 年
和紙・木版

27.0 × 35.2cm 1/35

山中現氏寄贈



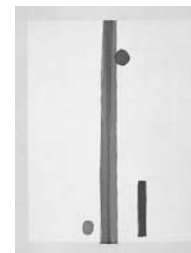
51. 山中 現 (1954-)

時の柱

2009 年
和紙・木版

48.8 × 36.3cm 1/25

山中現氏寄贈



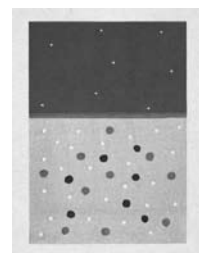
52. 山中 現 (1954-)

光の海で

2009 年
和紙・木版

22.8 × 16.1cm 1/45

山中現氏寄贈



53. 山中 現 (1954-)

路の途中で

2009 年
和紙・木版

22.9 × 16.1cm 1/45

山中現氏寄贈



54. 山中 現 (1954-)

物語のはじまり

2009 年
和紙・木版

68.3 × 50.3cm 1/20

山中現氏寄贈



55. 山中 現 (1954-)

ヒカリノカタチ

(山中現展特装版図録用版画)

2009 年

和紙・木版

9.7 × 9.8cm A.P. 1/5

山中現氏寄贈



56. 北郷 悟 (1953-)

空から—風

2008 年

テラコッタ、木

100.0 × 93.0 × 154.0cm 北郷悟氏寄贈



57.

平福百穂書簡小川千鶴宛

大正 6 年 3 月 3 日

田代蘇陽はがき小川千鶴宛

昭和 19? 年 3 月 12 日 小川三郎氏寄贈

58. 山中 現 (1954-)

《ヒカリノカタチ》版木一組 (4 枚)

2009 年 木

17.0 × 15.0cm、17.0 × 15.2cm、17.0 ×

15.4cm、17.0 × 15.7cm 山中現氏寄贈

◆二次資料の収集

□図書資料 (2010 年度受け入れ点数)

分類	冊
辞書・事典・年鑑・図書目録	19
画集・美術全集・所蔵品図録	83
展覧会図録	691
研究書・技法書	116
年報・紀要・報告書	326
美術雑誌	345
その他 (美術教科書など)	77
計	1,657 冊

◆保存環境調査の実施

□虫菌害モニタリングと環境測定の実施

調査者：関東港業（株）梶原勝吉 立会・記録：堀 宜雄（当館主任学芸員／保存担当）

仕様概要：2009 年度の仕様から褪色をとりやめた。詳細は 2003、4 年度年報参照。

- ・展示室、収蔵庫、および荷解き室、さらに一般来館者スペースにいたる 5842.7m² について、虫菌害、酸アルカリ度、等 3 項目にわたり調査し、展示保存環境が清浄に保たれているかを確認する。
- ・とくに虫菌害については、2002 年度を最後にガス燻蒸を行っていないため、総合的虫害管理（Integrated Pest Management）の考え方にに基づき、トラップなどをもちいて入念に行い、被害の有無を調べている。

調査項目	調査場所・機材・方法等	1 回目 2010.7/21-8/6	2 回目 2010.9/24-10/7	備 考
1. 昆虫生息調査	収蔵部門 B35/G6/P6/C6 企画展示室 B27/G3/P3/C3 常設展示室 B17/G4/P4/C4 搬入口等 B22/G3/P3/C3 研究一般部門 B15/G4/P4/C4 B- バグトラップ（誘因材なし） フェロモントラップ： G- ガチョン P- パセニウム C- ニューセリコ	捕獲されたもの： チャタテ…収 14/ 企 1/ 常 2/ 他 44 ハエ目…収 1/ 企 27/ 常 21/ 搬 288/ 他 92 クモ…収 2/ 企 3/ 常 17/ 搬 22/ 他 10 カツオブシムシ幼虫…常 A:1・休 1/ 企画 A1:1 ホソヒラタムシ…常 B:1 コメツキムシ…常 A:1 ゴミムシ…常 A:1・常 B:1 ゴキブリ…常 B:1・常 D:3 ガ…常 A:1・常 D:4 ゲジ…8/ カマドウマ…6 ワラジムシ…2/ トビムシ…1	捕獲されたもの： チャタテ…収 11/ 企 0/ 常 1/ 他 4 ハエ目…収 0/ 企 4/ 常 5/ 搬 19/ 他 29 クモ…収 0/ 企 2/ 常 4/ 搬 2/ 他 7 カツオブシムシ幼虫…0 タバコシバンムシ…常 C:1 コメツキムシ…0 ゴミムシ…常 A:1 ゴキブリ…常 A:1 ガ…3/ ゲジ…2/ カマドウマ…2/ ワラジムシ…0/ トビムシ…0	文化財加害中としては、カツオブシムシ幼虫、ホソヒラタムシ、タバコシバンムシが発見された。追跡調査したが、捕獲されず、外部進入と考えられる。2 回目採取時期は気温が低くなり、加害生物が休止期に入る時期と考えられる。
2. 浮遊菌調査	展示室・収蔵庫 -13 カ所 ホール、搬入口 -3 カ所 館外 -2 カ所 機材：RCS エアサンプラー（ゲンゼ産業）	1 立米あたり浮遊菌数： 収蔵庫…平均 12.6 展示室…平均 12.6 その他館内…平均 67.0 館 外…平均 112.5	—	収蔵庫内の浮遊菌数は 0、前室、一時保管庫で浮遊菌が採取された。収蔵庫・展示室は清浄環境といえる。
5. アルカリ性物質調査	展示室・収蔵庫 -14 カ所 ホール、搬入口 -3 カ所 館外 -2 カ所 機材：環境モニター（文化財虫害研究所） 2.0 未満は酸性、上回るとアルカリ性	収蔵庫…1.0 ～ 2.0 展示室…2.0 ～ 2.3 その他館内…2.0 館 外…1.0	—	収蔵庫の酸性環境の改善はなされていない。

考 察：

1 回目は高温多湿の時期であったが、昨年（7/13-8/1）と比較すると、浮遊真菌、昆虫捕獲数で大幅に下回っている。企画展などでの入館者数の大幅な増減があったわけでもなく、単に気候の問題と考えた方が説明がつくと思われる。

タバコシバンムシ、カツオブシムシ幼虫といった文化財加害中が発見されたが、外部進入による一過性のもので、その後の捕獲はみられない。

収蔵庫環境は、カビなどの菌害はないと考えられるが、酸性環境、チャタテムシの生息、空調制御不足という例年の懸案は解決されていない。

◆美術作品等の修復

当館では長期的な計画に基づき、毎年定期的な収蔵作品の修復を行い、より良好な状態を維持できるようつとめている。2010年度は、日本画・池田遙邨の《大漁》の応急処置修復と、2009年度購入のフランス絵画3点の額装を行った。

修復・額装者の選定にあたっては、美術作品の修復・額装が高度な専門性と技術を要するため、識者の意見や他館での実績を加味して選考した者各2名ずつによる見積合わせとした。見積価格の多寡とともに、当館提出の仕様書に即して、具体的にどのような修復・額装を行うつもりであるかを意見交換して実施者を選定した。作業は当館で行い、その記録を報告書に反映した。本稿はそれによる。

・記録：堀 宜雄（当館主任学芸員）

□修復作品と概要

1. 池田遙邨《大漁》 1932年 絹本着色 屏風二曲一隻 204.6 × 214.5cm

修復者：半田昌規（半田九清堂）

修復概要：絵具の剥落、“うき”がみられるため、剥落どめの応急処置を行う。

処置：剥落のおそれのある部分9カ所について、天然兎膠10%水溶液を面相筆で塗布し、上からおもりでおさえて再接着を行った。

応急処置後の知見と考察：

当初、この作品の材質技法について、海面の深い藍色を描くため、支持体の絹ほぼ全面に藍色に彩色された和紙が貼られていると考えられていた。そして画中的のおびたしい見物人や漁師、船などは、はっきりとした段差があり顔料が塗られている。しかし、紙と思われていた群青の部分は、分厚く塗られた絵具層であると結論づけられた。まるで紙を切り抜いたようにみえた群衆部分は、染織の型染めで糊などによるマスキングを施すような要領で群青の絵具をのせず、マスキングをはがしたのち新たに色をさしたものであると思われる。遙邨がどこで技法を学び、この作品に用いたのか等考察すべきことがあるが、本稿では修理概要とその所見紹介にとどめ、機会を改めて考察したい。



修復処置前<左>と処置後<右>



修復処置作業（於：福島県立美術館）

2. カミーユ・コロ《ヴィル・ダブレー》 49.8 × 65.1cm カンヴァス・油彩

3. ジョルジュ・ルオー《超人》 104.3 × 74.1cm カードボード・油彩

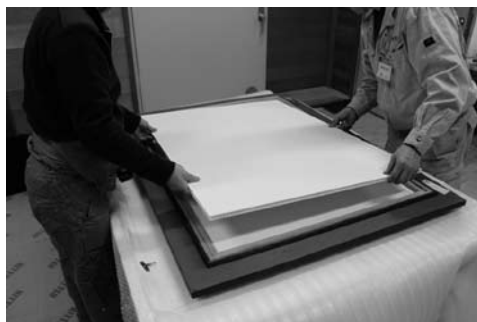
4. オーギュスト・ルノワール《帽子を被る女》 30.0 × 25.5cm カンヴァス・油彩

額修理：飯塚 深（並木木工所）

修理概要：グレージング（ガラス等の装着）がない（2,3）、写り込みのあるアクリルガラスである（4）ため、低反射合わせガラス（schött 社ミロガードプロテクト）を装着するとともに、額構造の補強を行った。また、ルオーの額は、縁の金箔の反射がきつく、鑑賞上著しく不都合であるため、いわゆる金の「よごし」をほどこした。



額処置前<左>と処置後<右>



額装作業（於：福島県立美術館）

◆美術品の貸出

□ 2010 年度貸出作品一覧（※は寄託作品）

No.	作家名	作品名	展覧会名	貸出先	会期
1	マルク・シャガール	版画集《死せる魂》(96 点組)	シャガール版画展—《死せる魂》と《サーカス》	いわき市立美術館	2010/4/10-5/16
2	相田 直彦	花	「日光×会津 小杉放庵と喜多方美術倶楽部の人びと」展	小杉放庵記念日光美術館	2010/4/17-5/30
3	相田 直彦	都会の昼時			
4	赤城 泰舒	土堀			
5	赤城 泰舒	温泉場風景（飯坂）			
6	石井 柏亭	果樹園の午後			
7	石井 柏亭	水車場			
8	小川 芋銭	於那羅合戦			
9	春日部たすく	電柱のある風景			
10	春日部たすく	植木畑風景			
11	春日部たすく	流れ			
12	小杉 放庵	水荘訪客			
13	酒井 三良	雪に埋もれつつ正月はゆく			
14	酒井 三良	左義長			
15	酒井 三良	村芝居			
16	*小川 芋銭	鍾馗図			
17	山本 丘人	月夜の噴煙	生誕 110 年記念「山本丘人 魂の叙情詩」展	茨城県天心記念五浦美術館	2010/4/24-5/30
18	クロード・モネ	ジヴェルニーの草原	洋画のキラキラ 福島県立美術館所蔵名品展	秋田県立近代美術館	2010/6/26-8/1
19	カミーユ・ピサロ	エラニーの菜園			
20	ポール・ゴーギャン	ブルターニュの子供			
21	ベン・シャーン	W.P.A. サンデー			
22	ベン・シャーン	農民にたずねよ			
23	ベン・シャーン	スイミングプール			
24	ベン・シャーン	恐怖の夜の町			
25	ベン・シャーン	警告！…インフレーションは不況を意味する			
26	ベン・シャーン	反動の魔手を打ち砕け			
27	ベン・シャーン	我々は平和を望んでいる			
28	ベン・シャーン	扉 1（版画集《リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには》より）			
29	ベン・シャーン	小さな草花のたたずまい（同上）			
30	ベン・シャーン	少年の日の想い出を（同上）			
31	ベン・シャーン	海そのものの姿（同上）			
32	ベン・シャーン	死者の傍らで（同上）			
33	ベン・シャーン	一篇の詩の最初の言葉（同上）			
34	アンドリュウ・ワイエス	松ぼっくり男爵			
35	アンドリュウ・ワイエス	そよ風			
36	アンドリュウ・ワイエス	冬の水車小屋			
37	吉田 博	小出雲村月出			
38	三宅 克己	湯ヶ野の冬			
39	丸山 晚霞	溪流（飛騨蒲田の激湍）			
40	安井曾太郎	ターブルの上			
41	村山 槐多	庭園の少女			
42	村山 槐多	樹木（けやき）			
43	岸田 劉生	自画像			
44	岸田 劉生	静物（白き花瓶と台皿と林檎四個）			
45	木村 莊八	樹の下で遊んでいる子供			
46	清水 登之	十四番街の地下鉄駅			
47	万 鉄五郎	庫			
48	恩地孝四郎	自画像 D			
49	国吉 康雄	婦人と子供			
50	関根 正二	裸婦			

51	関根 正二	牛舎
52	関根 正二	自画像
53	関根 正二	菊川橋
54	関根 正二	風景
55	関根 正二	裏の娘
56	関根 正二	一本杉の風景
57	関根 正二	神の折り
58	前田 寛治	裸婦
59	小出 梢重	けしの花
60	石井 柏亭	水車場
61	寺田 政明	谷中風景
62	川口 軌外	柘榴
63	長谷川利行	浅草の女
64	松本 竣介	赤い建物
65	松本 竣介	駅
66	渡部 菊二	勤労の娘たち
67	瑛 九	建物
68	山川 忠義	吠上の柿
69	斎藤 与里	裏磐梯
70	吉井 忠	麦の穂を持つ女
71	吉井 忠	雪の安達太良山
72	菅井 汲	Y A R I
73	脇田 和	窓
74	野地 正記	みどり・天使
75	野地 正記	無題（かお）
76	恩地孝四郎	母と子
77	恩地孝四郎	ポエム No.2 山の属
78	恩地孝四郎	「氷島」の著者 萩原朔太郎像
79	山口 源	能役者
80	斎藤 清	凝視（花）
81	斎藤 清	六月
82	斎藤 清	会津の冬（16）
83	斎藤 清	会津の冬（5）
84	斎藤 清	会津、福島
85	斎藤 清	会津の家（G）
86	斎藤 清	会津の冬（51）
87	斎藤 清	会津の冬（63）麻生
88	斎藤 清	会津の冬（73）坂下七折峠
89	清宮 質文	虜囚の窓
90	清宮 質文	火屋の中
91	清宮 質文	深夜の蠟燭
92	駒井 哲郎	束の間の幻影
93	駒井 哲郎	思い出
94	駒井 哲郎	鳥と果実
95	長谷川 潔	狐と葡萄（ラ・フォンテーヌ寓話）
96	長谷川 潔	メキシコの鳩
97	長谷川 潔	セーデルの実のある静物画
98	浜口 陽三	14のさくらんぼ
99	浜口 陽三	白菜
100	浜口 陽三	西瓜
101	浜田 知明	風景
102	浜田 知明	初年兵哀歌（歩哨）
103	浜田 知明	副校長D氏像
104	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(1)
105	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(2)
106	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(3)
107	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(6)
108	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(10)
109	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(17)

110	高橋 由一	栗子山昔時景			
111	上野山清貢	ムッシュOの肖像			
112	赤城 泰舒	土堀			
113	関根 正二	姉弟			
114	野田 英夫	牛乳ワゴン			
115	麻生 三郎	家族			
116	日和崎尊夫	KALPA X			
117	日和崎尊夫	KALPA 夜			
118	古賀 春江	赤い風景	「新しい神話が始まる。古賀春江の全貌」展	石橋財団石橋美術館	2010/7/3-9/5
				神奈川県立近代美術館葉山	2010/9/18-11/23
119	ヘンリー・ムア	母と子：腕	「ヘンリー・ムア—生命のかたち」展	石橋財団ブリヂストン美術館	2010/7/31-10/17
120	*岩橋 英遠	土	「『日本画』の前衛 1938-1949」展	京都国立近代美術館	2010/9/3-10/13
				東京国立近代美術館	2011/1/8-2/13
121	百瀬 寿	NE.Blue.Blue.Blue and Blue	百瀬寿展	岩手県立美術館	2011/9/11-11/23
122	クロード・モネ	ジヴェルニーの草原	「モネとジヴェルニーの画家たち」展	北九州市立美術館	2010/10/9-11/28
				Bunkamura ザ・ミュージアム	2010/12/7-2011/2/17
123	若松光一郎	北国の記念碑	若松光一郎 律動する色彩展	いわき市立美術館	2010/11/3-12/15
124	若松光一郎	浮遊			
125	若松光一郎	オートノミー3			
126	若松光一郎	コンポジション 30.8.82			
127	若松光一郎	ポリフォニックな情景			
128	大山 忠作	母子像	福島県立美術館移動美術館 日本と世界の名作展	天栄村生涯学習センター	2010/11/3-11/28
129	斎藤 清	野仏（田代）(3)			
130	斎藤 清	会津の冬、高田、下馬場			
131	斎藤 隆	貌（7点組）			
132	酒井 三良	沖繩風俗			
133	室井東志生	僚			
134	結城 天童	阿武隈川源流			
135	石井 柏亭	水車場			
136	斎藤 与里	裏磐梯			
137	関根 正二	神の祈り			
138	吉井 忠	麦の穂を持つ女			
139	ジョルジュ・ルオー	親代々の旅芸人（版画集《流れる星のサーカス》より）		天栄村ふるさと伝承館	2010/11/3-11/28
140	ジョルジュ・ルオー	ピエロ（同上）			
141	ジョルジュ・ルオー	眠れよい子よ（同上）			
142	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(4)			
143	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(8)			
144	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(10)			
145	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(12)			
146	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(18)			
147	マルク・シャガール	少年時代の思い出(4)			
148	マルク・シャガール	少年時代の思い出(8)			
149	トマス・ハート・ベントン	日曜日の朝			
150	トマス・ハート・ベントン	麦を収穫する			
151	ベン・シャーン	飛ぶ鳥の姿（版画集《リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには》より）			
152	ベン・シャーン	少年の日の思い出を（同上）			
153	斎藤 清	凝視（二匹の猫）			
154	斎藤 清	柿の会津（2）			
155	斎藤 清	赤い実（A）			
156	斎藤 清	会津の冬（26）			
157	斎藤 清	霊峰（19）野の仏			
158	斎藤 清	地の幸			
159	佐藤 朝山	麝香猫			
160	橋本堅太郎	慈光			
161	麻生 三郎	家族	麻生三郎展	東京国立近代美術館	2010/11/9-12/19
				京都国立近代美術館	2011/1/5-2/20
				（愛知県美術館	2011/4/29-6/12）

運営・組織

◆観覧者数一覧（2011年3月31日現在）

展 覧 会 名			開 催 期 間	有 料													無料		観覧者 総計		
				個 人				団 体				前売券 で入館	プレイ ガイド 当日券	年間観覧券				有料 合計		無料 ・ 招待等	
				一般・ 大学	高校	小・中	小計	一般・ 大学	高校	小・中	小計			一般・ 大学	高校	小・中	小計				
常 設 展	第1期～第4期	4.17～3.11 (273日間)	4,873			4,873	631			631					925			925	6,429	3,410	9,839
	特集展示 ＊内数 「伊砂利彦回顧展」	1.15～2.13 (26日間)	809			819	28			28					128			128	975	110	1,085
	移動美術館（天来村ふる さと文化伝承館ほか） ＊合計に含めず	11.3～28 (23日間)																		1,850	1,850
	企画観覧券で - 常設展を観覧	通 年																		28,001	28,001
	免除者 (100/100) 学校教育活動	通 年																		大学 67	67
	免除者 (100/100) 学校引率者	通 年																		179	179
	免除者 (50/100) 県又は市町村主催	通 年	27			27	251			251								278	18	296	
	無料入館	5.5 (こどもの日)																		309	309
	〃	8.21 (県民の日)																		266	266
	〃	9.20 (敬老の日)																		684	684
	〃	11.3 (文化の日)																		2,344	2,344
	小中高無料入館 小	通 年																		5,853	5,853
	小中高無料入館 中	通 年																		1,011	1,011
	小中高無料入館 高	通 年																		1,210	1,210
	小中高無料入館 準ず	通 年																		2	2
	小 計			4,900			4,900	882			882				925			925	6,707	43,354	50,061
企 画 展	1 秋田県立近代 美術館名品展	4.17-5.16 (27日間)	2,581	16	58	2,655	60			60				323	2		325	3,040	931	3,971	
	2 アンドレ・ ポーシャン展	5.29-7.4 (32日間)	2,489	25	132	2,646	635	98	321	1,054				236	1	4	241	3,941	1,268	5,209	
	3 胸さわぎの 夏休み展	7.17-8.29 (38日間)	2,330	140	481	2,951	246	21	49	316				150	2	5	157	3,424	1,323	4,747	
	4 古代エジプト ※ 神秘のミイラ展	9.18-12.5 (70日間)	(一般) 33,995	(大・高) 1,426	5,022	40,443	(一般) 806	(大・高) 47	582	1,435	12,482		545	3	19	567	54,927	9,773	64,700		
	5 スタジオジブリ・ ※ レイアウト展	2.26-3.11 (12日間)	4,489	(高・中) 327	(小) 402	5,218	104	(高・中) 1	(小) 291	396	1,868	90	140	1	9	150	7,722	1,109	8,831		
	小 計			45,884	1,934	6,095	53,913	1,851	167	1,243	3,261	14,350	90	1,394	9	37	1,440	73,054	14,404	87,458	
その他の無料入館			年賀状展入場者数																973	973	
			教育普及事業／講演会／コンサート／館長講座／博物館実習参加者／内覧会の入場者数																1,874	1,874	
合 計			50,784	1,934	6,095	58,813	2,733	167	1,243	4,143	14,350	90	2,319	9	37	2,365	79,761	60,605	140,366		

※実行委員会形式で開催した「古代エジプト 神秘のミイラ展」および「スタジオジブリ・レイアウト展」では通常の企画展と異なる料金区分としたため、「ミイラ展」では大学生の有料観覧者数を高校生欄に、「ジブリ展」では中学生の有料観覧者数を高校生欄にそれぞれ繰り入れて集計した。

◆ 2010 年度決算内訳

歳入

科目（款・項・目・節）	予算額（千円）
使用料及び手数料	9,741
└ 使用料	9,741
└ 行政財産使用料	967
└ 土地使用料	48
└ 建物使用料	919
└ 教育使用料	8,774
└ 美術館使用料	8,774
財産収入	1,593
└ 財産売払収入	1,593
└ 物品売払収入	1,593
諸収入	17,579
└ 雑入	17,579
計	28,913

歳出

科目（款・項・目・節）	最終予算額（千円）
教育費	193,143
└ 教育総務費	8,058
└ 事務局費	7,994
└ 報酬	7,344
└ 職員手当（子ども手当）	280
└ 共済費	370
└ 賃金	0
└ 財務管理費	64
└ 交際費	60
└ 使用料及び賃借料	4
└ 社会教育費	185,085
└ 美術館費	185,085
└ 報酬	73
└ 報償費	1,047
└ 旅費	2,788
└ 需用費	63,966
└ 食糧費	71
└ 役務費	12,837
└ 委託料	78,894
└ 使用料及び賃借料	6,978
└ 工事請負費	0
└ 備品購入費	7,901
└ 負担金・補助及び交付金	10,601
└ 公課費	0
労働費	1,630
└ 雇用対策費	1,630
└ 緊急対策費	1,630
└ 共済費	216
└ 賃金	1,414
└ 委託料	0
計	194,773

◆関係法規

A 福島県立美術館条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、県民の美術に対する知識及び教養の向上を図るため、福島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館は、福島市森合字西養山1番地に置く。

(業務)

第3条 美術館において行う業務は、次のとおりとする。

- 1 美術館及び美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 2 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 3 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 4 前3号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 美術館の展示品(以下「展示品」という。)を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 1 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 2 物品を販売し、又は頒布しないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 3 展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 4 所定の場所以外において、喫煙および飲食を行わないこと。
- 5 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 6 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項。

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 1 前条の規定に違反した者。
- 2 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、または汚損するおそれのある者。
- 3 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者。

(職員)

第9条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所用の職員を置く。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附則 (平成11年12月24日条例第92号)
この条例は、平成12年4月1日から施行する。
附則 (平成15年3月24日条例第52号)
この条例は、平成15年4月1日から施行する。

別表(第4条関係)

区 分	普通観覧料の額 (一人あたり)		特別観覧料の額	年間観覧料の額 (同一人が有効期間内に利用する場合)
	個人	団体		
一般(大学生を含む)	260円	210円	その都度知事が定める額	3,600円の範囲内で知事が定める額
高校生及びこれに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	2,160円の範囲内で知事が定める額
中学生及び小学生	—	—	その都度知事が定める額	1,440円の範囲内で知事が定める額

備考

- 1 「普通観覧料」とあるのは常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは特別の企画による展示品を観覧する場合(常設展の展示品を併せて観覧する場合を含む。)の観覧料をいい、「年間観覧料」とあるのは年間利用に係る普通観覧料及び特別観覧料をいう。
- 2 「団体」とあるのは、二十人以上の団体をいう。

B 福島県立美術館運営協議会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、福島県立美術館(以下「美術館」という。)の適正な運営を図るため、福島県立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員会の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

C 福島県立美術館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

福島県立美術館条例(昭和59年福島県条例第33号)第5条、第6条ただし書及び別表の規定による知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附則 この規則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

D 福島県立美術館条例施行規則

(休館日)

第 1 条 福島県立美術館（以下「美術館」という。）の定期の休館日は、次のとおりとする。

一 月曜日。ただし、その日が祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（次号において「休日」という。）に当たるときを除く。

二 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日になるとときを除く。

三 1 月 1 日から同月 4 日まで。

四 12 月 28 日から同月 31 日まで。

2 美術館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

(開館時間)

第 2 条 美術館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。ただし、館長は、必要があるとみとめるときは、これを臨時に変更することができる。

(観覧手続)

第 3 条 館長は、福島県立美術館条例（昭和 59 年福島県条例第 33 号。以下「条例」という。）第 4 条の規定により観覧料を納入した者（年間観覧料を納入した者（以下「年間観覧者」という。）を除く。）に対し、観覧券（第 1 号様式）を公布するものとする。

(年間観覧者に係る入館手続)

第 3 条の 2 館長は、年間観覧者に対し年間観覧券（第 1 号様式の 2）を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から最初に到来する 3 月 31 日までとする。

2 年間観覧者は、入館する際に有効な年間観覧券を提示するものとする。

3 年間観覧券の利用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の免除及びその手続)

第 4 条 館長は、条例第 5 条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免除する額
一 大学生、（これに準ずる者として福島県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める者を含む。）及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生（これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。）の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
二 県又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の百分の五十に相当する額（引率者にあつては全額）
三 国民の祝日に関する法律第二条に定めるこどもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額

四 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
五 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める金額

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の前の第 3 号又は第 4 号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第 1 号又は第 2 号に該当する場合にあつては観覧しようとする日の 3 日前まで、第 5 号に該当する場合にあつては 10 日前までに観覧料免除申請書（第 2 号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（第 3 号様式）を交付するものとする。（観覧料の返還）

第 5 条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

一 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき。（観覧しようとする者が年間観覧者であるときを除く。） 全額

二 その他やむを得ない理由があると認めるとき。 教育長が別に定める額

2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（第 4 号様式）に観覧料を添えて、館長に提出しなければならない。

(美術品等の特別利用)

第 6 条 美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等を学術上の研究その他のため特に利用しようとする者は、館長の承認をうけなければならない。

(教育長への委任)

第 7 条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附則 この規則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

附則（平成 14 年 3 月 26 日 教育委員会規則第 13 号）

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附則（平成 15 年 3 月 24 日 教育委員会規則第 2 号）

この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

第 1 号様式（第 3 条関係）

観覧券 (観覧者の区分) (金額) 福島県立美術館	観覧券 (観覧者の区分) (金額) 福島県立美術館
------------------------------------	------------------------------------

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第 1 号様式の 2（第 3 条の 2 関係）

年間観覧券	(交付番号) (観覧者の区分) (有効期間)
ご利用に際して 1 福島県立美術館が主催する展覧会のみ有効です。 2 下記に署名されたご本人以外の方は使用できません。 3 後購入後の紛失などによる再発行はいたしません。 (氏 名) (学校名) (学年) 福島県立美術館	

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

E 福島県立美術館収集評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 福島県立美術館に収蔵する美術品及び資料（以下「美術品等」という。）の収集及び評価について審議するため、福島県立美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織等)

第2条 委員会は5人以内の委員をもって構成し、委員は学識経験者のうちから福島県立美術館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は委員会を代表し会務を掌理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第4条 委員会は、必要のつど館長が招集する。

2 委員会は、美術品等の収集及び評価について審議し、その結果を館長に報告するものとする。

3 委員会は、必要に応じ職員その他の者を出席させて意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、福島県立美術館において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附則 この要綱は、昭和55年4月1日から施行する。

改正 昭和59年4月1日、昭和61年4月1日

F 福島県立美術館における美術品等の貸出し及び写真撮影に関する取扱要領

1 趣旨

(1) この要領は、財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例（昭和39年福島県条例第22号）第7条、福島県財務規則（昭和39年福島県条例第17号。以下「財務規則」という。）第156条、福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号）第7条及び福島県立美術館条例施行規則（昭和59年福島県教育委員会規則第12号）第7条の規定により、福島県立美術館（以下「館」という。）が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料（以下「美術品等」という。）の貸出し及び写真撮影等（以下「撮影」という。）の取り扱いに関する基準及び手続きを定めるものとする。

(2) 美術品等が福島県美術品等取得基金（以下「基金」という。）所有のものであるときは、昭和59年12月28日付59教財第513号、福島県教育庁財務課長通知により、美術品等の貸出しの手続きは館長の依頼により基金管理者が行うものとするが、美術品等の貸出しの基準及び撮影については、この要領を準用するものとする。

2 美術品の貸出し

(1) 貸出しの基準

ア 美術品等の貸出しは、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、その他館長が特に必要と認めたも

のに対して行うものとする。

イ 美術品等の貸出期間は、1年を超えてはならない。

ウ 美術品等の利用目的及び管理上の理由から貸出しをすることが適当でないと認めるときは、貸出しを行わないものとする。

(2) 貸出しの手続き

ア 学芸課は、美術品等の貸出しをする場合には、貸出しを受けようとする者（以下「借受者」という。）から物品借受申請書（財務規則第102号様式。以下「申請書」という。）を提出させるものとする。ただし、借受者の利用目的が展覧会の展示である場合には、次の書類を提出させなければならない。

(ア) 展覧会の趣旨及び企画内容を明記した書類

(イ) 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の貸出しを承認する旨の書類

(ウ) その他必要と認める書類

イ 学芸課は、借受者から申請書の提出を受けたときは、美術品等の利用目的、利用期間及び利用場所等について十分に検討を加え、貸出しの適否を審査するものとする。

ウ 学芸課は、この要領2の(2)のイの審査の結果、美術品等の貸出しをすることが適当と認めたときは、物品貸付調書（財務規則第10号様式）により当該貸出しについて館長の決裁を受けるとともに、総務課に關係書類を送付するものとする。

エ 総務課は、この要領2の(2)のウの書類の送付を受けたときは、速やかに福島県教育庁生涯学習領域（以下「生涯学習領域」という。）に対し美術品等の貸出しについて必要な措置の請求（別紙様式第1号）をしなければならない。

オ この要領2の(2)のアからエまでの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

(3) 貸出しの決定

ア 総務課は、生涯学習領域から美術品等の貸出しについて必要な措置が完了した旨の通知を受けたときは速やかに学芸課に対して、その旨連絡するとともに關係書類を送付するものとする。

イ 学芸課は、この要領2の(3)のアの通知を受けたときは借受者に対して、貸出し承認の通知（別紙様式第2号）をするものとする。

ウ 美術品等が基金所有のものであるときは、当該美術品等の貸出しの決定及び借受者に対する貸出し承認の通知は、基金管理者が行うものとする。

エ 美術品等の貸出しは、無料とする。

(4) 貸出しの条件

美術品等の貸出しをする場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等は利用目的以外の用途に利用しないこと。

イ 美術品等の利用権を第3者に譲渡しないこと。

ウ 美術品等は常に善良な管理者の注意をもって管理保管すること。

エ 美術品等の棄損・亡失等が生じた場合は、速やかにその旨を館に報告し、その指示により損害を賠償し、又はこれを原状に回復すること。

オ 美術品等の輸送、その他貸出しに要する経費は、借受者が負担すること。

カ 図録作成等のため美術品等の写真撮影をする場合は、この要領3により別途手続を行うこと。

キ 美術品等の搬出または搬入に対して借受者は責任者を立会させること。

ク その他必要と認めること。

(5) 美術品等の引渡し

ア 館長（物品管理者）は、美術品等の貸出しを実行するときは、当該美術品等の現状を確認し、総務課長（物品取扱員）に対し、貸付物品払出通知書（財務規則第 102 号様式）により、その引渡しを指示するものとする。

イ 総務課長（物品取扱員）は、館長（物品管理者）から貸出し美術品等の引渡しの指示を受けたときは、借受者に対して当該美術品等の受領を証する書面と引換えに、これを引渡すものとする。

ウ 総務課長（物品取扱員）は、美術品等を引渡したときには物品貸付台帳（財務規則第 140 号様式）に所定の事項を記載し整理するものとする。

エ 美術品等の引渡し場所は原則として館とする。

（6）美術品等の貸付引受け

この要領 2 の（5）のアからエまでの規定は、貸出しを行った美術品等が返納された場合の受入れの手続きについて準用する。この場合「美術品等の貸出しを実行」とあるのは「貸出しを行った美術品等を引受け」と、「貸付物品払出通知書」とあるのは「貸付物品受入通知書」と、「引渡し」とあるのは「引受け」とそれぞれ読み替えるものとする。

3 美術品等の撮影

（1）撮影承認の基準

ア 美術品等の撮影は国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認めたものに対して承認するものとする。

イ 撮影により損傷を生ずるおそれがある美術品等は撮影を認めないものとする。

ウ 撮影の時期が美術品等の管理上、適当でないと認められる場合は、その時期を変更し、若しくは撮影を認めないものとする。

（2）撮影承認の手続

ア 学芸課は、美術品等の撮影の承認をする場合には、撮影を希望する者（以下「撮影者」という。）から美術品等撮影承認願（別紙様式第 3 号。以下「承認願」という。）を提出させるものとする。

イ 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の撮影を承認する旨の書類を承認願に添付させるものとする。

ウ 学芸課は、撮影者から承認願の提出を受けたときは、撮影の目的、場所、時期、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。

エ 学芸課は、この要領 3 の（2）のウの審査の結果、美術品等の撮影を承認することが適当と認めたときは、当該撮影の承認について館長の決裁を受けるものとする。

オ 美術品等の撮影料は無料とする。

（3）撮影承認の通知

学芸課は、この要領 3 の（2）のエにより撮影承認の決定をしたときは、撮影者に対して撮影承認の通知（別紙様式第 4 号）をするものとする。

（4）撮影の条件

美術品等の撮影を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等の撮影は館の職員の指示に基づいて行うこと。

イ 撮影により美術品等を損傷させないこと。

ウ 撮影した写真等は、撮影承認を受けた目的以外に使用しないこと。

エ 撮影の目的が著作権法の適用を受けることとなる場合は、必要に応じ、あらかじめ著作権者の了承を得ること。

オ 撮影承認を受けた美術品等の写真を出版物に掲載したときは、当該出版物を館に提出すること。

カ その他必要と認めること。

（5）補則

ア 撮影の場所は、原則として館とする。

イ 撮影が美術品等の管理上適当でないと認めるときは、館が所有する原版の使用を認めるものとする。

ウ 過去に撮影した写真等の撮影承認の目的外使用については、この要領の適用を受けるものとする。

エ 館所有の原版を複写して使用する場合は、当該複写版をすべて提出することとする。

オ 館所有の原版を使用する際、誤って損傷、亡失させたときは、再撮影に係わる実費を当該申請者に請求することができるものとする。

4 適用

この要領は昭和 60 年 2 月 9 日から適用する。

（平成 9 年 9 福美第 65 号により一部改正）

G 福島県立美術館美術作品等寄託要領

（趣旨）

1 この要領は、福島県立美術館（以下「館」という。）における美術作品および美術資料（以下「美術品等」という。）の寄託に関し、必要な事項を定めるものとする。

（寄託の申し出）

2 福島県立美術館長（以下「館長」という。）は、美術品等の所有者に依頼して寄託を受けようとする場合には、寄託同意書（別記様式第 1 号）によって所有者の同意を得なければならない。

（2）館長の依頼によらないで美術品等の寄託をしようとする者は、寄託申請書（別記様式第 2 号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

（受託）

3 館長は、所有者の合意、もしくは所有者からの申込みのあった美術品等の寄託が館の事業のため必要があると認めたときは、これを無償で受託することができる。

（受け入れおよび返還）

4 館長は、所有者から帰宅された美術品等を受領したときは、所有者に対して受託証書（別記様式第 3 号）を交付するものとする。

（2）所有者は寄託した美術品等（以下「寄託品」という。）の返還を受けようとするとき、返還を受けようとする日の一ヶ月以上前に返還申請書（別記様式第 4 号）を館長に提出しなければならない。

（3）館長は、この要領 4 の（2）により、所有者に対して寄託品の返還をしようとするときは、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

（4）寄託品の返還を受けようとする者が所有者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を館長に提出しなければならない。

（寄託期限）

5 美術品等の寄託期間（以下「寄託期間」という。）は 2 年とする。ただし、特別な理由があるとき、館長はこの期間を短縮することができる。

（寄託期間の更新）

6 館長は所有者の得て寄託期間を更新することができる。

（2）寄託期間の経過後、所有者から寄託品の返還の請求がない場合は、寄託期間を更新したものとしみなす。

（3）館長は、この要領 6 の（1）および（2）により寄託期間を更新したときは、所有者に対し更新した受託証書を交付するものとする。

(所有者の変更等)

7 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称もしくは住所等に変更があったときは、所有者(所有者が変更した場合は変更後の所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等を証する書類を受託証書に添えて館長に提出し、受託証書の書き換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

8 所有者は、受託証書を亡失し、または著しく破損したときは、これらの事実を証するにたる書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(寄託品輸送経費等の負担)

9 所有者は寄託品の搬入または返還に要する経費等を負担するものとする。ただし、館長が特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(寄託品の展示等)

10 館は、寄託品について、展示、研究および撮影等を行い、その結果を公刊することができる。

(2) 館職員以外の者がこの要領10の(1)の行為をしようとするときは、「福島県立美術館における美術品等の貸出しおよび写真撮影等に関する取扱要領」に定めるところにより、所定の手続きを経なければならない。

(寄託品の保存)

11 館長は、寄託品の保存管理およびその取扱いについては、館に所蔵する美術品に準じて行う。

(2) 館は、寄託品を亡失し、または損傷した場合は、その補償をするものとする。ただし、天災、その他不可抗力による場合は、この限りでない。

(その他)

12 この要領に定めるもののほか、美術品等の寄託に関し必要な事項は、館長が定める。

この要領は、昭和60年4月1日より施行する。

◆施設・整備

建築の概要

設計 大高建築設計事務所
 施工 鹿島建設株式会社仙台支店（建築・外観）
 敷地面積 60,500m²
 建築面積 6,471.5m²
 延床面積 9,680.7m²
 建物構造 鉄筋コンクリート造（一部S造・2階建）
 総工費 約49億円（本体、外構含む）

設備の概要

電気設備

- 1- 受変電設備：受電力 1,100W
- 2- 動力設備
- 3- 電灯・コンセント・照明（調光設備：各展示室、調光装置：講堂・講義室各1台）
- 4- 自家発電機設備
- 5- 避雷針
- 6- 電気時計
- 7- 火災報知設備
- 8- 防火扉・防煙設備
- 9- 拡声設備
- 10- インターホン設備
- 11- ITV 設備
- 12- 防犯設備
- 13- ビデオ設備
- 14- 蓄電池設備
- 15- 電話設備

空気調和設備

- 1- 熱源設備：
 展示室・収蔵庫系統＝空気熱源スクルーヒートポンプ、120RT＋熱回収ヒートポンプ 30RT 組合せ制御方式、冷水槽 300m³、温水槽 250m³
 一般系統・図書館系統＝灯油だき冷温水発生器 150RT 2台
- 2- 空調設備：単一ダクト方式
 展示室4系統、収蔵庫3系統、ケース内4系統、一般系統7系統（一部フロアコイル併用）
- 3- 換気設備：50系統
- 4- 排煙設備：機械排煙6系統
- 5- 床暖房：2系統
- 6- 自動制御設備：中央監視盤、温湿度監視盤

給排水衛生設備

- 1- 熱源：都市ガス（厨房・実習室・工作修復室）／他は全て電器煮沸器を使用
- 2- 消化系：ハロン消火設備（収蔵庫3系統：共用機械室）／消火栓設備（消火ポンプ1台、屋内消火栓14台、動力ポンプ1台）
- 3- 燻蒸設備：ガスによる殺虫滅菌剤で燻蒸後吸着装置通過、規定濃度以下にして大気放出
- 4- 給水：受水槽 45t（加圧給水）／直結給水
- 5- 排水：屋内は汚水・雑排水の分流式（外部で合流後、市下水道公共マスに接続）

昇降機設備

- 1- 乗用エレベーター：油圧式、750kg 11名乗り 1台
- 2- 荷物用エレベーター：油圧式、最大積載量 3t 1台
- 3- 乗用エレベーター：油圧式、600kg 9名乗り 1台

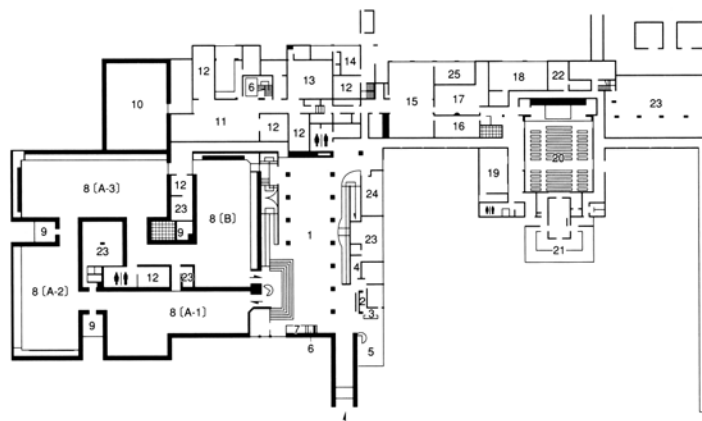
内部仕上の概要

- 1- エントランスホール
 床：御影石バーナー仕上げ（一部長尺塩ビシート張）
 壁：栓練付石綿ケイカル板
 天井：栓練付石綿ケイカル板
 その他：一部床暖房設備
- 2- 収蔵庫
 床：パーケットブロック、ぶな素地
 壁：米杉、矢羽根板張
 天井：米杉、本実目透張
 その他：収納棚、絵画収納ラック
- 3- 企画展示室
 床：長尺塩ビシート張
 壁：合板捨張の上に準不燃合板、特注クロス張
 天井：栓練付パネル
 その他：大型可動壁（幅 8,770mm × 高 3,770mm、11枚）
 固定ケース前可動壁：（幅 1,600mm × 高 4,050mm、延長約 72m）
 固定ケース：（A-2、A-3、B：総延長 72.3m）
- 4- 常設展示室
 床：タフテッドループカーペット
 壁：常設 A- 栓練付ケイカル板
 常設 B- 大理石空積、水磨き仕上げ
 常設 C・D- くるみ練付ケイカル板
 天井：常設 A- 栓練付パネル
 常設 B・C・D- くるみ練付パネル
 その他：固定ケース（常設 A、16.2m）
- 5- 講堂
 床：タイルループカーペット
 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
 天井：ビニールクロス張
 その他：座席数：246（うち車椅子席 4）／ステージ：幅 12m × 奥行 3.2m
- 6- 講義室
 床：タイルカーペット
 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
 天井：岩綿吸音板
- 7- 実習室
 床：エポキシ系塗床
 壁：モルタル金ゴテ VP
 天井：岩綿吸音板
- 8- 軽食喫茶室
 床：長尺塩ビシート張
 壁：くるみ練付パネル、粒状岩綿吸音材（一部）
 その他：テーブル 44席
- 9- その他
 搬出入口：ホイストクレーン 2.8t／テーブルリフター
 写真室：電動スクリーン

◆施設配置図

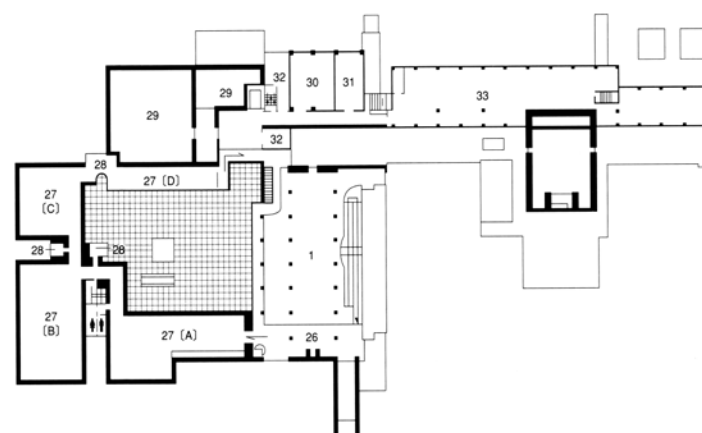
1階

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. エントランスホール | 14. 警備室 |
| 2. 受付案内 | 15. 事務室 |
| 3. ブックショップ | 16. 応接室 |
| 4. ロッカー室 | 17. 研究図書室 |
| 5. 図書コーナー | 18. 実習室 |
| 6. エレベーター | 19. 講義室 |
| 7. ビデオコーナー | 20. 講堂 |
| 8. 企画展示室 | 21. 軽食喫茶室 |
| 9. 休憩室 | 22. 中央監視室 |
| 10. 収蔵庫 A | 23. 機械室 |
| 11. 荷解梱包室 | 24. 館長室 |
| 12. 倉庫 | 25. 副館長室 |
| 13. 写真室 | |



2階

- | |
|-------------|
| 26. ロビー |
| 27. 常設展示室 |
| 28. 休憩室 |
| 29. 収蔵庫 B・C |
| 30. 工作修復室 |
| 31. 会議室 |
| 32. 倉庫 |
| 33. 機械室 |



◆部門別専有面積（* は県立図書館と共用）

サービス部門 1223.8m ²	
エントランスホール	817.3m ²
受付案内	(ホールに含む)
ブックショップ	(ホールに含む)
ロッカー室	(ホールに含む)
図書コーナー	(ホールに含む)
ロビー	202.1m ²
*軽食喫茶室	179.0m ²
授乳室・救護室	25.4m ²
展示部門 3064.4m ²	
企画展示室 A (A-1,2,3)	1380.8m ²
企画展示室 B	431.1m ²
(企画展示室合計 1811.9m ²)	
常設展示室 A	403.1m ²
常設展示室 B	359.1m ²
常設展示室 C	143.8m ²
常設展示室 D	132.8m ²
(常設展示室合計 1038.8m ²)	
展示用具室	141.2m ²
展示用具室 2	72.5m ²
収蔵部門 1365.3m ²	
収蔵庫 A	280.2m ²
収蔵庫 B	368.7m ²
収蔵庫 C	105.1m ²
一時保管庫	51.8m ²
収蔵庫前室	57.6m ²
搬出入口	65.7m ²
荷解梱包室	188.8m ²
梱包倉庫	77.7m ²

荷扱入控室	29.6m ²
燻蒸室	33.3m ²
工作修復室	106.8m ²
普及部門 654.6m ²	
*講堂	498.6m ²
講義室	73.9m ²
実習室 (準備室含む)	82.1m ²
研究部門 187.2m ²	
研究図書室	88.7m ²
写真室	98.5m ²
管理部門 1832.7m ²	
応接室	48.0m ²
副館長室	34.0m ²
事務室 (総務課・学芸課)	174.0m ²
会議室	73.3m ²
館長室	43.2m ²
事務機械室	16.0m ²
警備室	54.7m ²
更衣室	8.7m ²
受付控室	15.4m ²
給湯室	4.4m ²
倉庫	33.0m ²
*機械室	1266.4m ²
車庫	61.6m ²
その他 (化粧室・廊下・階段等) 1330.8m ²	

◆福島県立美術館友の会 活動報告

美術を愛好する人達が集い、会員相互の親睦を深めるとともに、美術館活動に協力することを目的とした福島県立美術館友の会が2003年4月に発足した。7年目を迎えた今年は、会員による様々な自主活動が展開された。

○ギャラリートーク①「美のふるさと 秋田県立近代美術館名品展」

日時：4月24日(土) 14:00-

場所：講義室、企画展示室

講師：堀 宜雄（当館主任学芸員）

参加者：20名

○ミュージアム・コンサート「華麗なるチェンバロの響き」

日時：5月28日(金) 16:00-17:00

内容：コンサート、解説

演奏：村木洋子氏（チェンバロ奏者）

林 裕希氏（解説 チェンバロ制作者）

場所：エントランスホール、ミュゼ・ドウ・カナール

参加者：100名

○春の研修旅行「奈良の古寺と仏像展」

日時：5月29日(土)

場所：新潟県立近代美術館、北方文化博物館

参加者：会員29名、酒井哲朗（当館館長）、佐治ゆかり（当館主任学芸員）

○第8回福島県立美術館友の会通常総会

日時：5月30日(日) 13:00-

場所：美術館講堂

議事：1. 会報の発行

2. 研修旅行の実施

3. 美術鑑賞講座の実施

4. 美術実技講座の開催

5. 美術映画鑑賞会の開催

6. ミュージアム・コンサートの共催

7. 友の会ホームページの運営

8. 福島県立美術館が実施する事業への協力

9. その他、友の会の目的に沿った事業の実施

○ギャラリートーク②「アンドレ・ボーシャン展」

日時：6月5日(土) 14:00-

場所：美術館講義室、企画展示室

講師：吉村有子（当館主任学芸員）

参加者：10名

○美術映画鑑賞会①「カラヴァッジョ 天才画家の光と影」（2007年／伊・仏・西・独合作）

日時：6月5日(土)～11日(金)

場所：フォーラム福島

○「胸さわぎの夏休み展」内覧会、アーティストトーク、レセプション

日時：7月16日(金) 15:00-

場所：企画展示室（作家解説）、ミュゼ・ドウ・カナール（友の会主催レセプション）

○友の会会員のための実技講座①「スクラッチボードに描く」

日時：9月11日(土) 10:00-16:30

講師：久慈伸一（当館主任学芸員）
場所：美術館実習室
参加者：7名

○ギャラリートーク③ 「古代エジプト 神秘のミイラ展」

日時：9月30日(休) 14:00-
場所：美術館講義室、企画展示室
講師：佐治ゆかり（当館主任学芸員）
参加者：40名

○秋の研修旅行 「宮城県美術館と瑞巖寺」

日時：11月14日(日)
場所：松島、瑞巖寺、宮城県美術館「長谷川燐二郎展」、東北福祉大学芹沢銈介工芸美術館
参加者：会員17名、酒井哲朗（当館館長）、荒木康子（当館主任学芸員）

○美術映画鑑賞会② 「セラフィヌの庭」(2008年／仏・白・独合作)

日時：11月20日(土)～26日(金)
場所：フォーラム福島

○第2回アート・チャリティー・バザー

日時：11月23日(火)(祝) 11:00-15:00
場所：福島大学如春荘
来場者：約50名

○美術映画鑑賞会③ 「レオニー」(2010年／日・米合作)

日時：2011年1月8日(土)～28日(金)
場所：フォーラム福島

○友の会会員のための実技講座②「アクリル技法Ⅱ～風化した絵肌を表現する～」

日時：1月22日(土)・23日(日)
講師：久家三夫氏（郡山女子短期大学部教授、春陽会会員）
場所：美術館実習室
参加者：10名

○ギャラリートーク④ 「追悼・伊砂利彦回顧展」

日時：1月29日(土) 14:00-
場所：1階企画展示室
講師：佐治ゆかり（当館主任学芸員）
参加者：10名

○記念コンサート「追悼・伊砂利彦回顧展～音とわたちの出会い・青柳いづみこのドビュッシー」

日時：2月6日(日) 14:00-
内容：コンサート、親睦会
演奏：青柳いづみこ氏（ピアノ）
場所：企画展示室 A-1、ミュゼ・ドゥ・カナール
参加者：200名

○福島県立美術館友の会「会報」第11号発行

日時：2011年3月
内容：平成22年度の活動／美術館を知ろうー福島県内編ー／美術館を支える人々／投稿エッセイ／編集後記／平成23年度企画展概要 他

◆福島県立美術館協力会 活動報告

社会の変化とともに美術館の役割や美術館に対する県民の意識もまた変化しており、単に鑑賞するだけの施設でなく、県民がより豊かな生活を送るための学習の場、いわゆる生涯学習時代の文化拠点、憩いの場としての役割が美術館には求められるようになってきている。

こうした趨勢を踏まえて、多くの県民が広く美術に親しみ、美術を楽しむことができる機会を提供することにより、本県美術文化の振興と心豊かな県民の育成に寄与することを目的に「福島県立美術館協力会」が設立され、2004年6月7日付けで特定非営利活動法人（NPO 法人）として認証を受けた。

2011年3月31日現在の会員数は35名（団体17件、個人18名）である。

○協力会の主な活動

- ・美術についての教養を高め、美術を楽しむための活動（美術に関する講演会、講座、研修旅行、コンサート等）
- ・実制作の体験を通して、表現の喜びを味わい、美術に親しむための活動（実技講座、ワークショップ等）
- ・展覧会に関する各種資料、ミュージアム・グッズの作成頒布活動

○特典

- ・会員証の交付
- ・企画展、常設展の優待
- ・展覧会図録の配布
- ・美術館ニュース等の送付
- ・企画展内覧会への招待
- ・協力会各種事業への招待 など

○2010年度の事業活動

- ・理事会（2010年5月26日）
- ・総会（5月26日）
- ・「アンドレ・ボーシャン展」オープニング・コンサート（5月28日）
- ・「胸さわぎの夏休み展」ワークショップ（6月29日～7月9日）
- ・「胸さわぎの夏休み展」ラッキードラゴン・コンサートおよびファイヤー・パフォーマンス（8月6日）
- ・「追悼・伊砂利彦展」ミュージアム・コンサート（2011年2月6日）
- ・ボランティアによる活動支援（通年）
- ・コロ「ヴィル・ダヴレー」およびルノワール「帽子を被る女」絵はがきの作成・販売
- ・イチハラヒロコ恋みくじの販売 など



「アンドレ・ボーシャン展」オープニング・コンサート

◆委員会等・組織図

□美術館運営協議会

1. 委員名簿

氏名	所属	任期
久保恵美子	福島県中学校教育研究会美術専門部総務、福島市立西信中学校教諭	2003.1.1-
松本 良子	福島県高校教育研究会美術工芸部会、福島県立川俣高等学校教諭	2007.1.1-
富田 孝志	財団法人福島県文化振興事業団理事長、福島県文化センター館長	2009.1.1-
草野 拓郎	福島県市町村社会教育委員連絡協議会副会長、福島県放課後子どもプラン推進委員会委員長	2010.1.1-
酒井 昌之	福島県美術協会副会長、福島県総合美術展運営委員	2007.1.1-
佐々木光政	日本放送協会福島放送局長	2009.1.1-
遠藤 久美	蔵のまちアートぶらりー実行委員会事務局長	2009.1.1-
雪山 行二	和歌山県立近代美術館長	2003.1.1-
辻 みどり	国立大学法人福島大学行政政策学類教授（専門：比較地域文化論）	2005.1.1-
阿部 泰宏	株式会社福島フォーラム総支配人（公募による委嘱）	2003.1.1-

2. 協議会の開催

日時：2011 年 2 月 16 日(水) 13:30-14:30

会場：美術館会議室

- 議事：1) 2010 年度事業実施の概要について
 2) 2011 年度事業計画（案）の概要について
 3) 県立美術館の運営等について

□収集評価委員会

1. 委員名簿

氏名	所属	任期
村田 哲朗	町田市立国際版画美術館長	1996.11.21-
真室 佳武	東京都美術館長	1996.11.21-
尾崎 正明	京都国立近代美術館長	2003.12.1-
長谷川三郎	前宮城県美術館長	2005.12.1-
山梨 俊夫	神奈川県立近代美術館長	2005.12.1-

2. 委員会の開催

日時：2011 年 2 月 1 日(火) 14:00-15:30

会場：美術館会議室

- 議事：1) 2009 年度収集作品の報告
 2) 2010 年度収集候補作品について

□他館との連携

1. 加盟団体

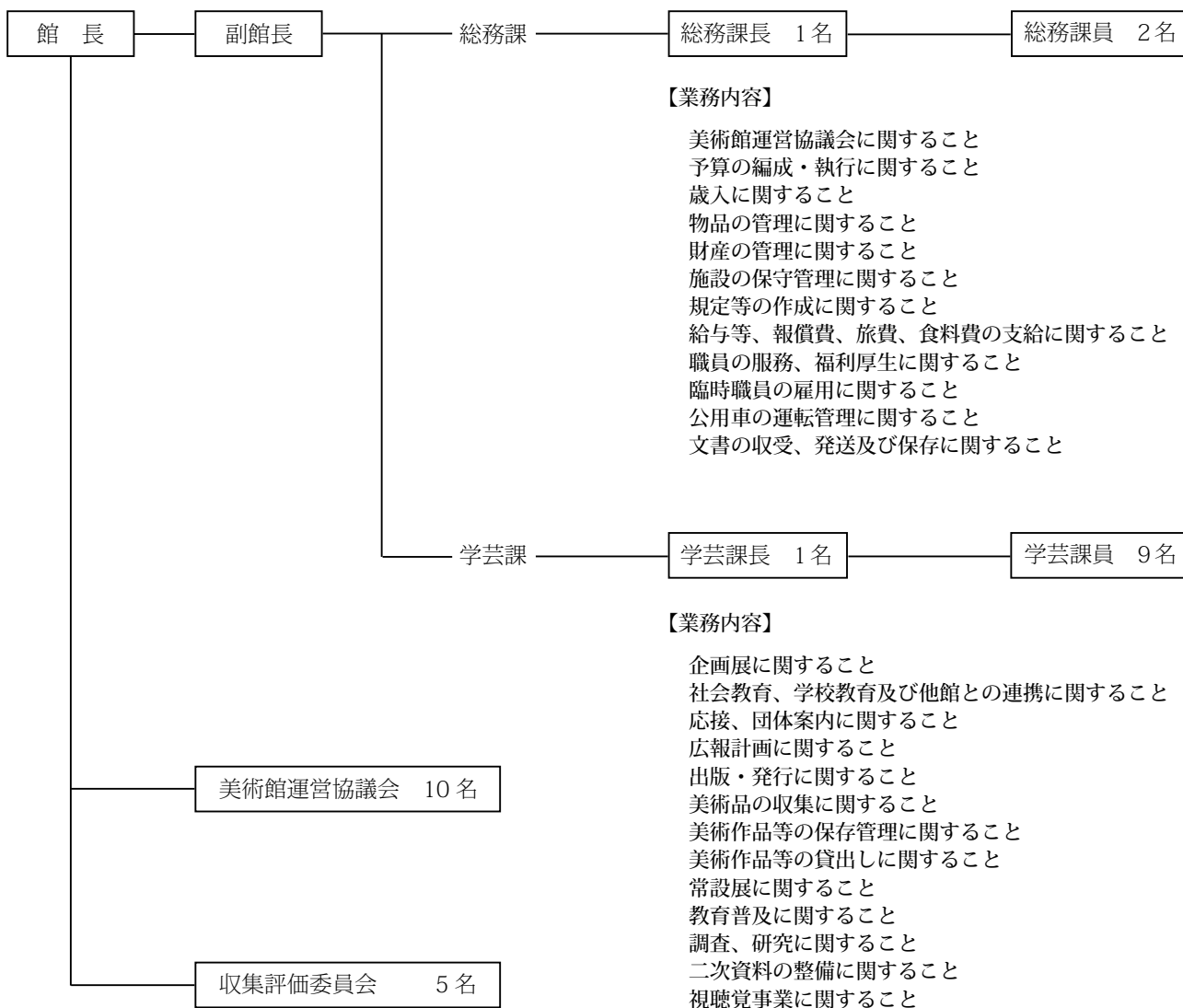
全国美術館会議（理事）、美術館連絡協議会（理事）、日本博物館協会（会員）、日本博物館協会東北支部（監事）、東北地区博物館協会（監事）、東北美術館会議（会員）、福島県博物館連絡協議会（理事）

2. 公務視察等の受入れ

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1) 公務視察受入 | 0 件 |
| 2) アンケート回答・調査協力等 | 1 件（国立国会図書館関西館） |
| 3) 体験学習 | 1 件（福島市立信夫中学校 2 年 計 3 名） |

□組織図・職員名簿

1. 組織図



2. 職員名簿（2011年3月31日現在）

館長	酒井 哲朗	(2000.4.1-)
副館長	眞壁 眞	(2008.7.1-)
総務課長	菅野 知行	(2009.4.1-2011.3.31)
総務課 主査	大和 恵子	(2008.4.1-)
総務課 同	伊藤 恵美	(2007.4.1-)
学芸課長	伊藤 匡	(文化施設整備室 1983.4.1-)
学芸課 主任学芸員	久慈 伸一	(文化施設整備室 1982.4.1-)
学芸課 同	佐治ゆかり	(1984.4.1-)
学芸課 同	荒木 康子	(1990.4.1-)
学芸課 同	堀 宜雄	(1989.4.1-)
学芸課 同	吉村 有子	(1990.7.1-)
学芸課 同	宮武 弘	(1992.4.1-)
学芸課 同	増渕 鏡子	(1993.4.1-)
学芸課 同	橋本 淳也	(2005.4.1-)
学芸課 学芸員	佐藤 香里	(2007.4.1-2011.3.31)

□利用案内

1. 開館時間 9:30～17:00（最終入館は 16:30 まで）
※夜間開館を行うことがあります。
2. 休館日 1) 月曜日（祝祭日をのぞく）
2) 祝祭日の翌日（土日をのぞく）
3) 年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
※都合により臨時休館を行うことがあります。
3. 観覧料 1) 常設展 一般・大学生：260 円（210 円）／高校生以下：無料
※（ ）内は 20 名以上の団体料金
2) 企画展 その都度料金が変わります。
※企画展の料金で常設展もご覧になれます。
※企画展のみの観覧券は発行していません。
※ふくしま教育週間（11 月 1 日～7 日、ただし休館日は除く）中は、小・中・高校生は企画展料金も無料。
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展料金が無料
（それぞれ第 1 種または 1 級の方は付き添いの方も無料）
4. 常設展無料 1) 子供の日（5 月 5 日）、県民の日（8 月 21 日）、敬老の日（9 月第 3 月曜）、文化の日（11 月 3 日）
2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
（それぞれ第 1 種または 1 級の方は付き添いの方も無料）
3) 小・中・高校生（団体の場合、引率者も無料）
5. 常設展減額免除 常設展料金無料 ・大学生が、学校活動の一環で観覧するとき
常設展料金半額 ・公民館や公共団体が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき
※事前申請が必要です。いずれも引率者は無料となります。
6. 年間観覧券 常設展示・企画展示ともに、購入より一年間有効（一般・大学生 3,000 円／高校生 1,800 円／小・中学生 1,200 円）

□交通案内

1. J R 福島駅（東口）より 電車：福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車、徒歩 3 分
バス：9 番バス乗り場より、福島交通もりん 2 コース「県立美術館入口」下車、徒歩 4 分
タクシー：約 5 分
2. 自家用車で 東北自動車道・福島飯坂 I C より約 15 分、福島西 I C より約 20 分
※駐車場 150 台収容

福島県立美術館年報 平成 22 年度・2010

2013 年 3 月 19 日 発行

編集・発行 福島県立美術館
〒960-8003 福島市森合字西養山 1 番地
電 話 024-531-5511
ファックス 024-531-0447
ホームページ <http://www.art-museum.fks.ed.jp/>

印 刷 キング印刷株式会社

